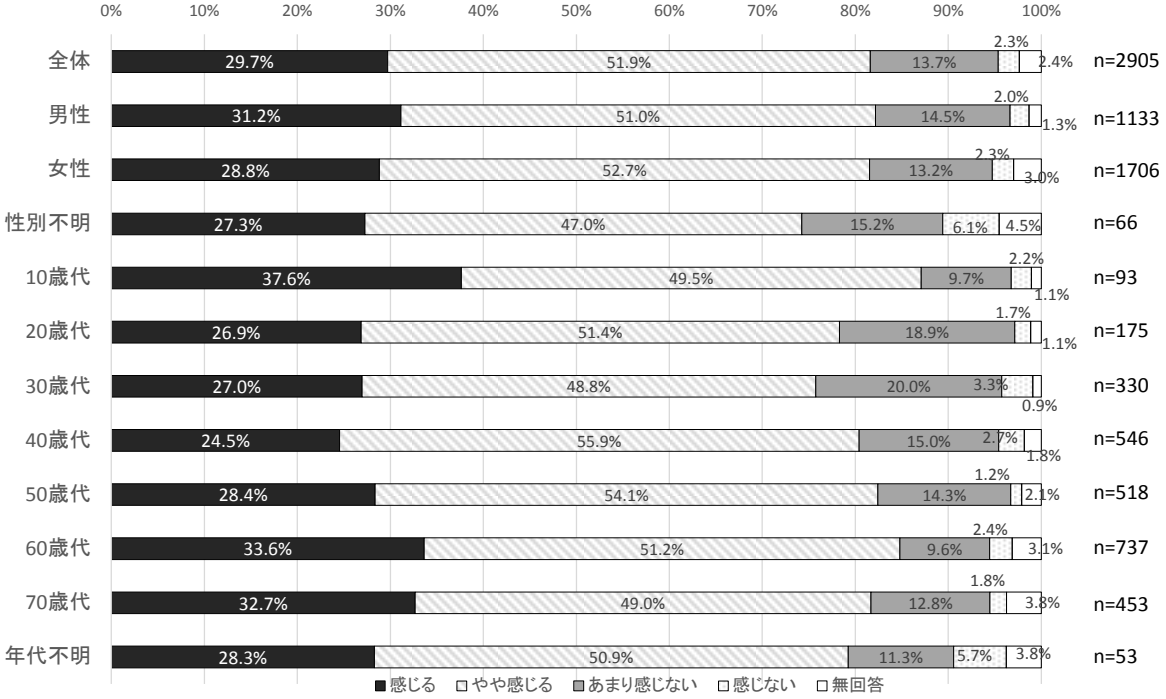
Ⅱ．項目別調査結果

■（前橋市の政策）について

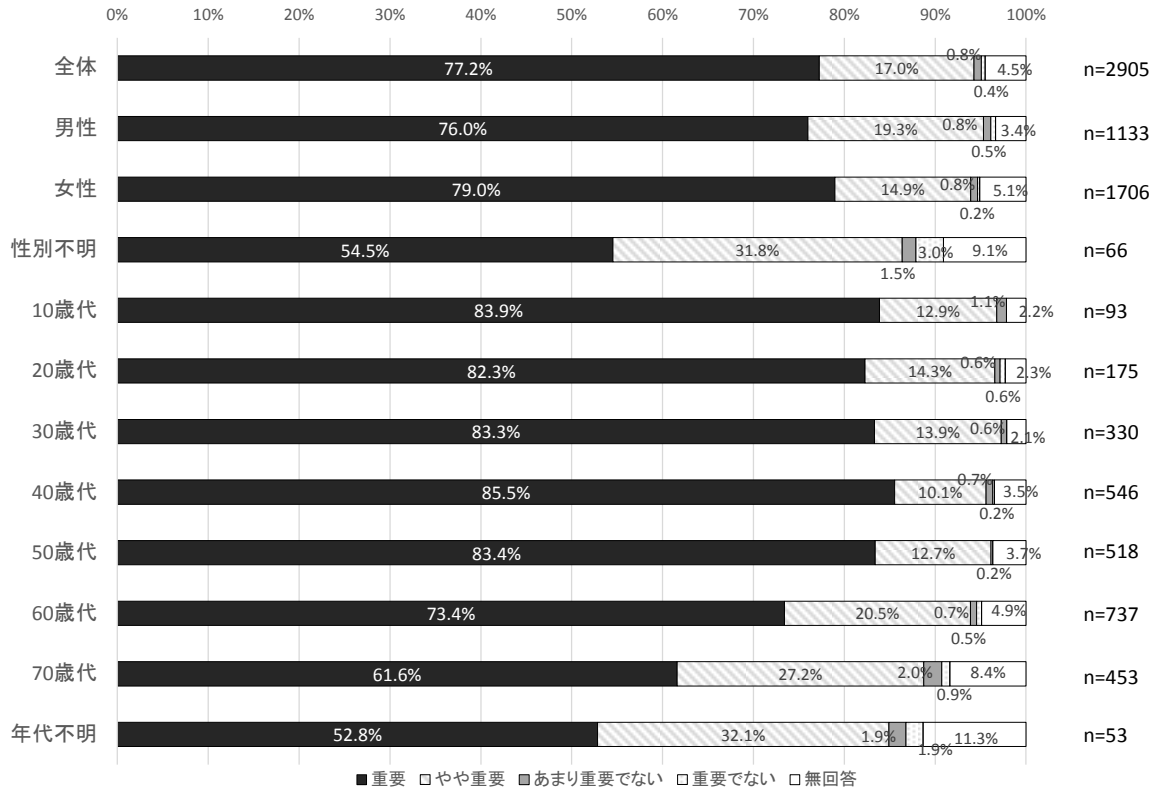
【問１】次の（１）～（３７）について、日々の生活におけるあなたの満足度とあなたが考える重要度について教えてください。

（１）災害や事故、犯罪などが少なく、安心して生活できる（満足度）



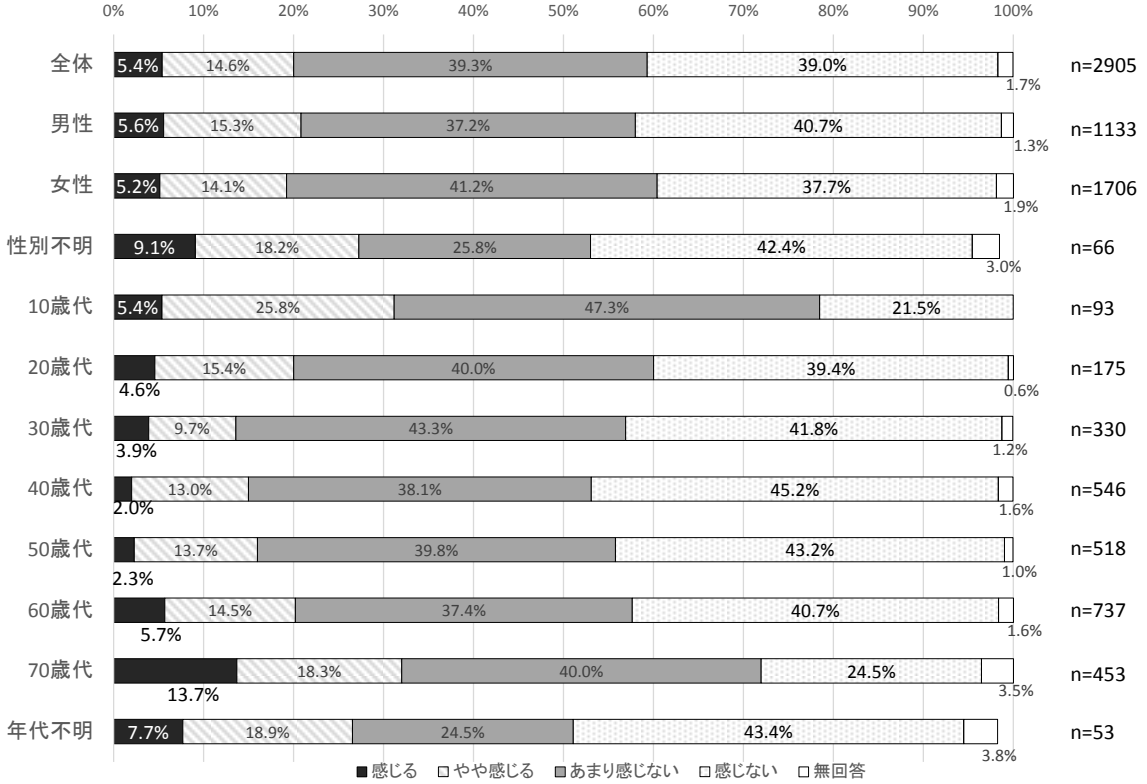
◆全体では「やや感じる」が最も多く、「感じる」と合わせると81.6%だった。
◆「やや感じる」は女性の方が高く、52.7%だった。
◆「やや感じる」の割合が最も高かったのは40歳代で55.9%。最も低かったのは30歳代で48.8%だった。

（１）災害や事故、犯罪などが少なく、安心して生活できる（重要度）



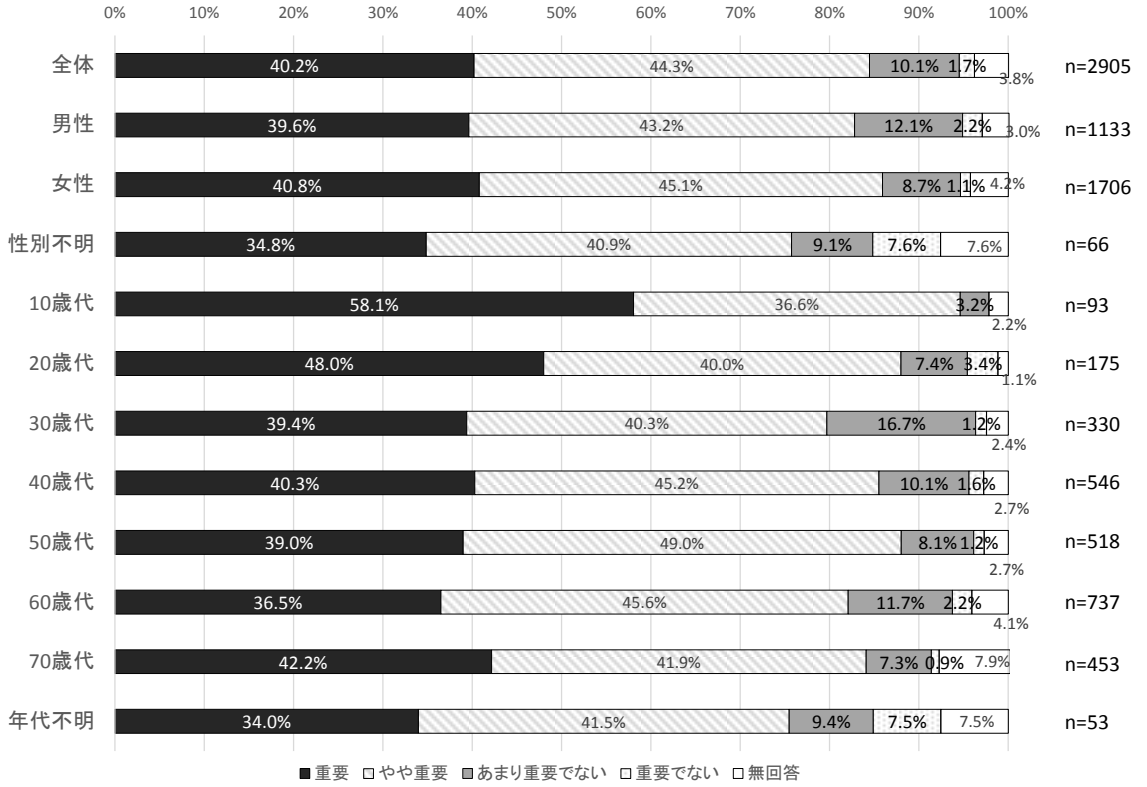
◆全体では「重要」が最も多く、「やや重要」と合わせると94.2%だった。
◆「重要」は女性の方が高く、79.0%だった。
◆「重要」の割合が最も高かったのは40歳代で85.5%。最も低かったのは70歳代で61.6%だった。

（２）鉄道やバスなどの公共交通機関が便利である。（満足度）



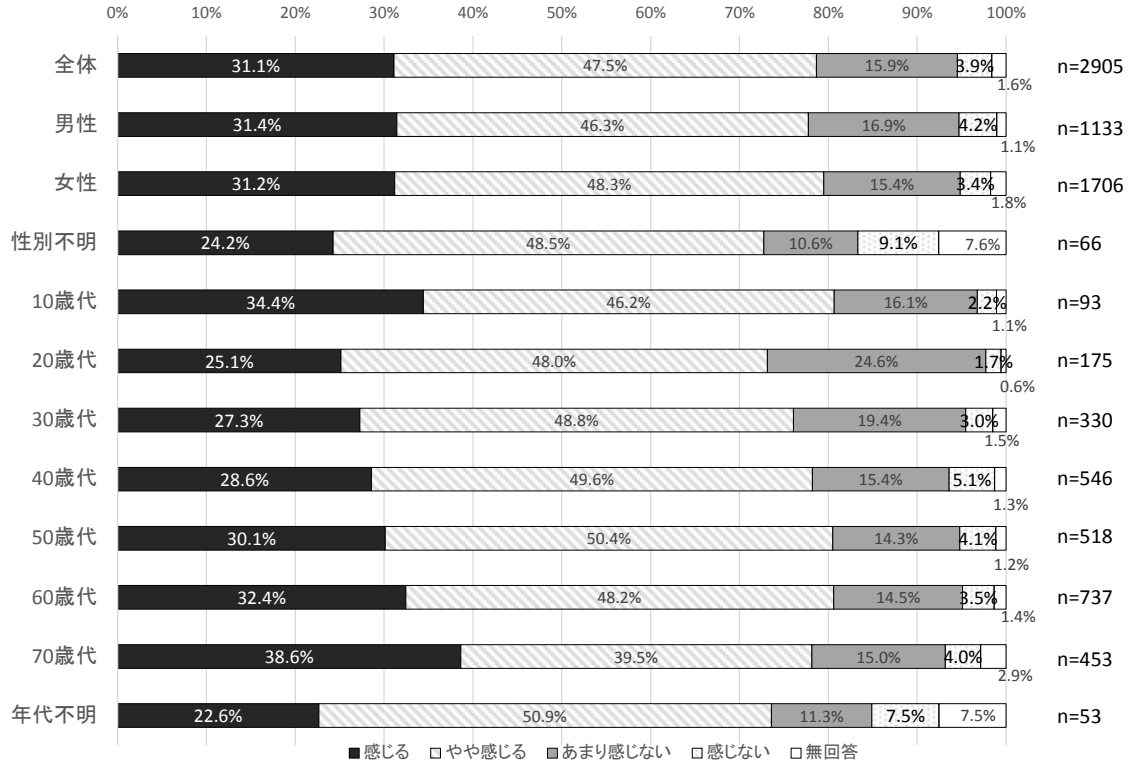
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると78.3%だった。
◆「あまり感じない」は女性の方が高く、41.2%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは10歳代で47.3%。最も低かったのは60歳代で37.4%だった。

（２）鉄道やバスなどの公共交通機関が便利である。（重要度）



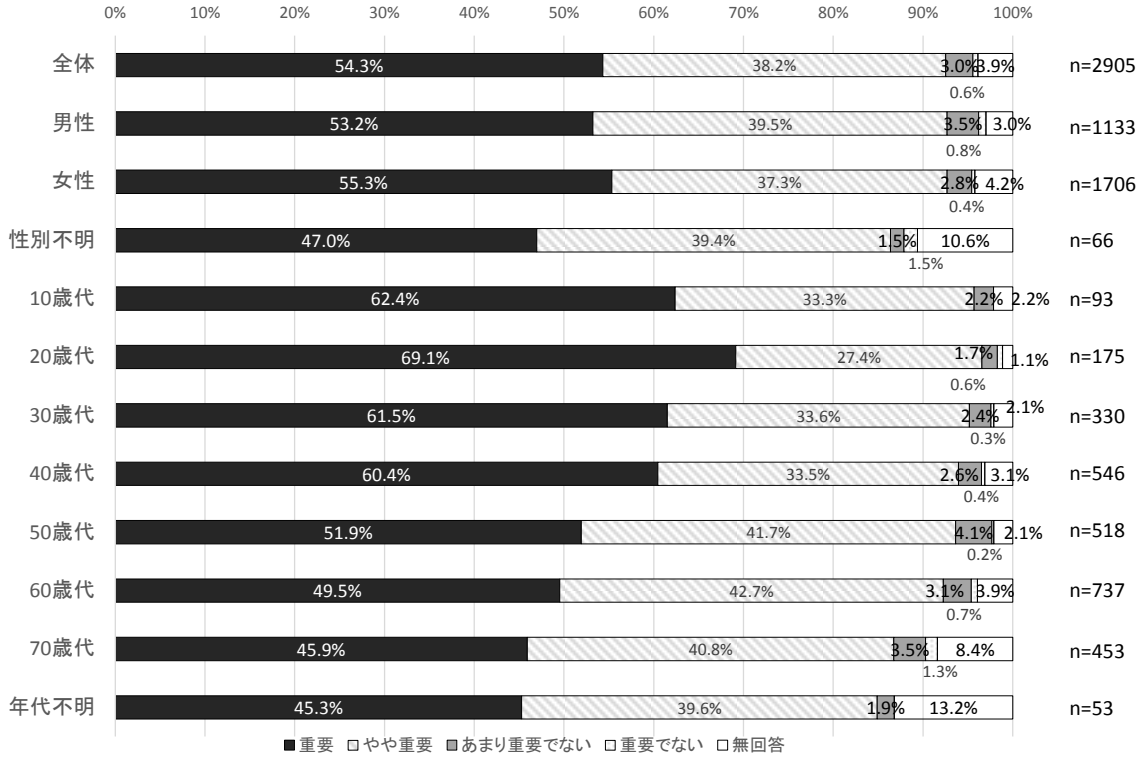
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると84.5%だった。
◆「やや重要」は女性の方が高く、45.1%だった。
◆「やや重要」の割合が最も高かったのは50歳代で49.0%。最も低かったのは10歳代で36.6%だった。

（３）道路が整備されており、自動車等での移動が便利である。（満足度）



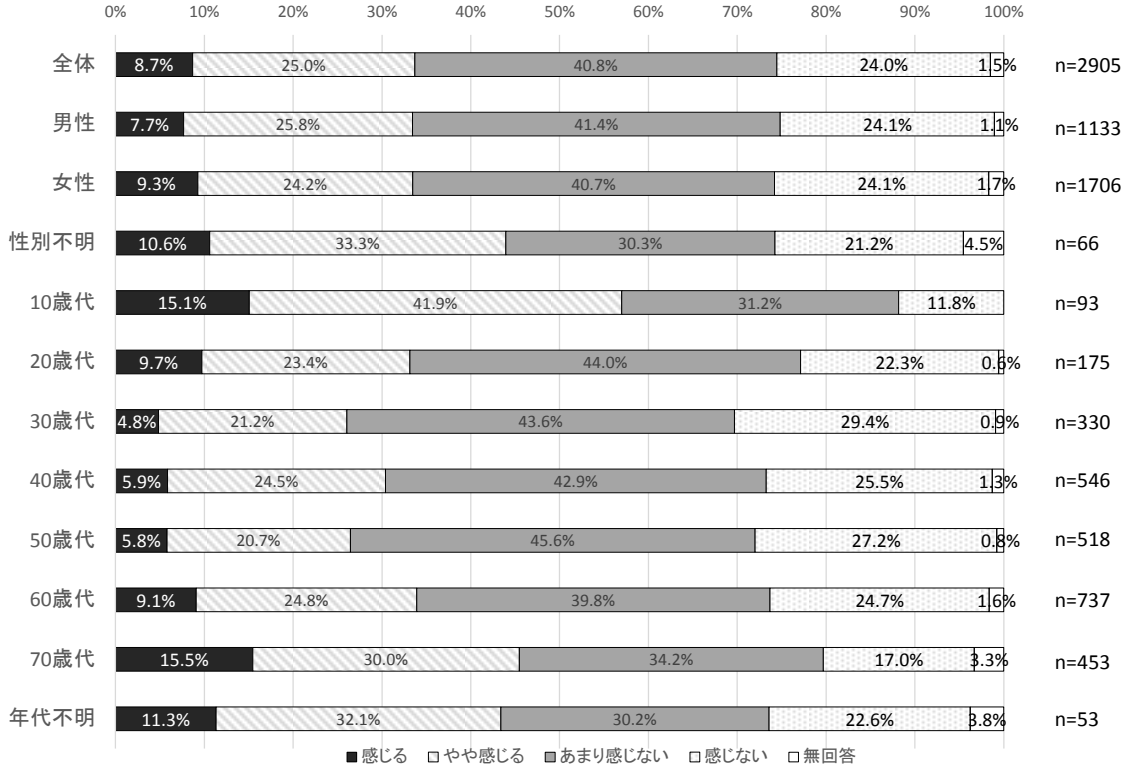
◆全体では「やや感じる」が最も多く、「感じる」と合わせると78.6%だった。
◆「やや感じる」は女性の方が高く、48.3%だった。
◆「やや感じる」の割合が最も高かったのは50歳代で50.4%。最も低かったのは70歳代で39.5%だった。

（３）道路が整備されており、自動車等での移動が便利である。（重要度）



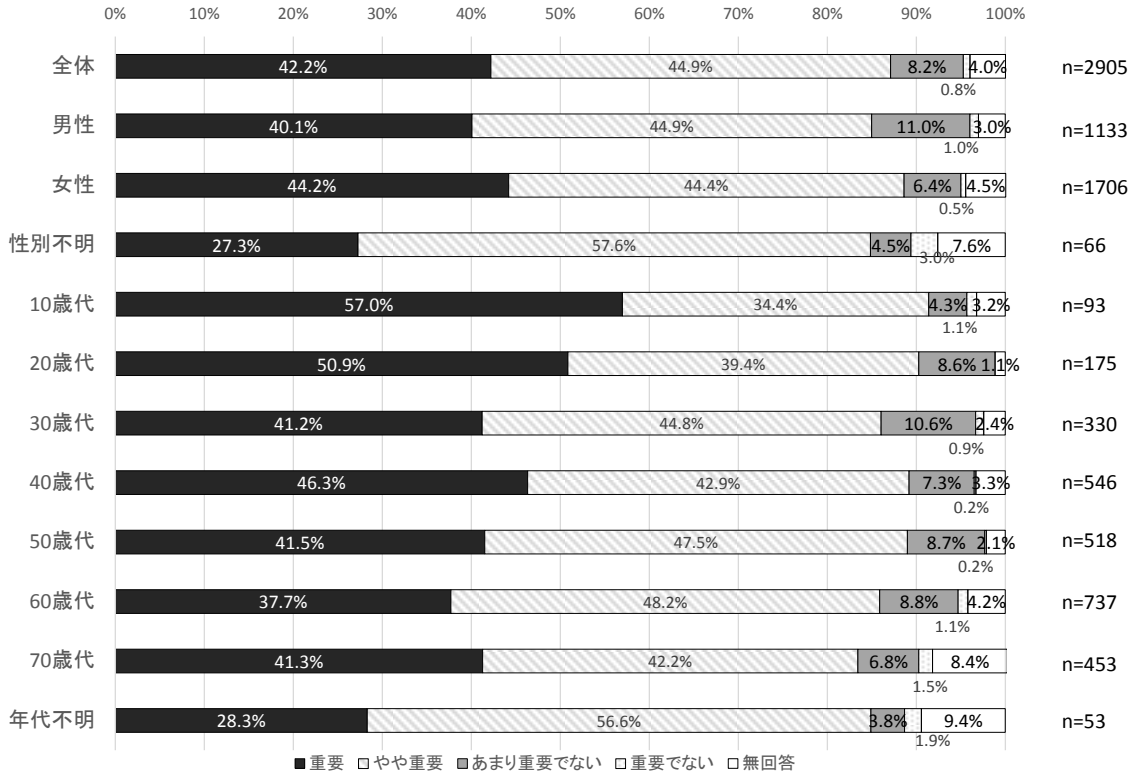
◆全体では「重要」が最も多く、「やや重要」と合わせると92.5%だった。
◆「重要」は女性の方が高く、55.3%だった。
◆「重要」の割合が最も高かったのは20歳代で69.1%。最も低かったのは70歳代で45.9%だった。

（４）徒歩や自転車で生活しやすい都市環境である。（満足度）



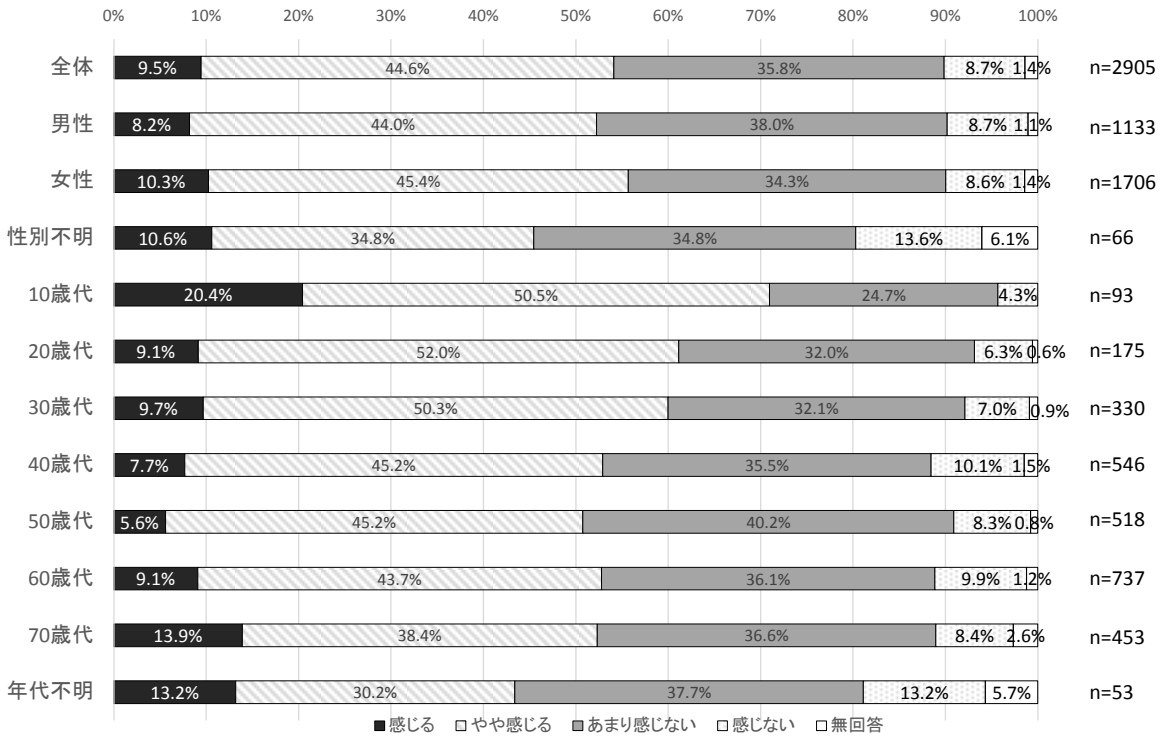
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると64.8%だった。
◆「あまり感じない」は男性の方が高く、41.4%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは50歳代で45.6%。最も低かったのは10歳代で31.2%だった。

（４）徒歩や自転車で生活しやすい都市環境である。（重要度）



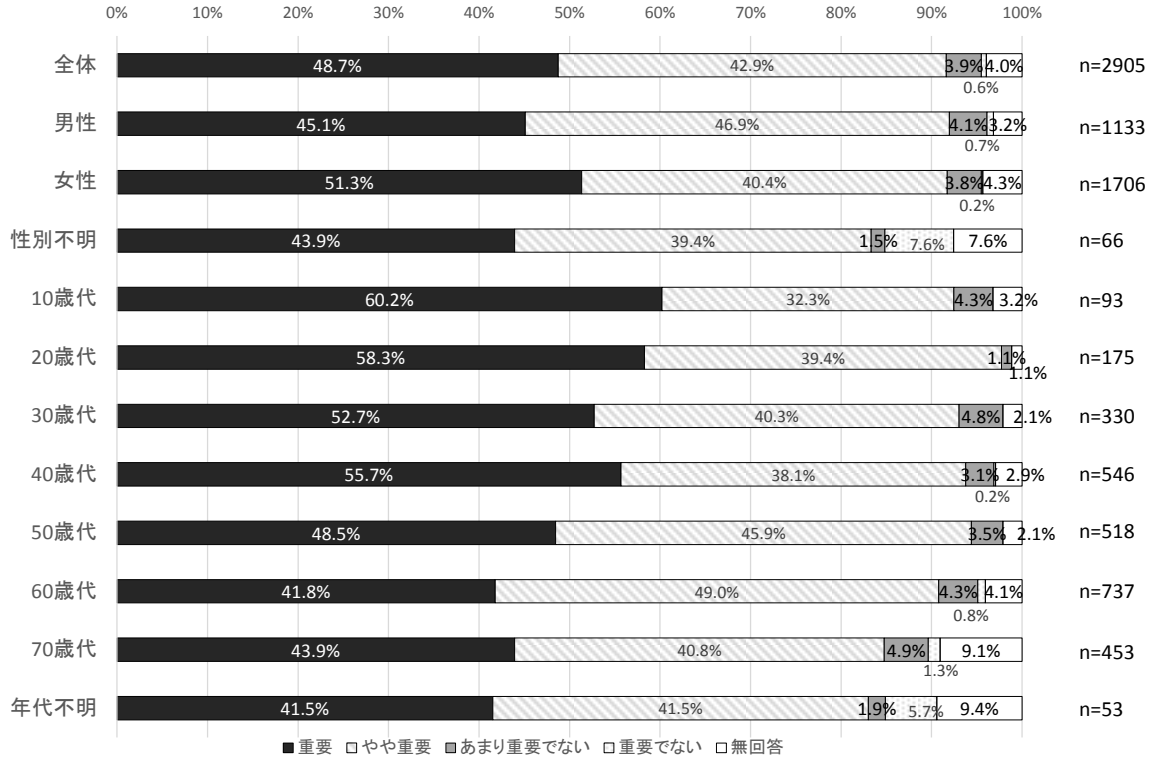
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると87.1%だった。
◆「やや重要」は男性の方が高く、44.9%だった。
◆「やや重要」の割合が最も高かったのは60歳代で48.2%。最も低かったのは10歳代で34.4%だった。

（５）毎日の生活の中で、快適さや利便さ、暮らしやすさなど、魅力的な住環境が整っている。（満足度）



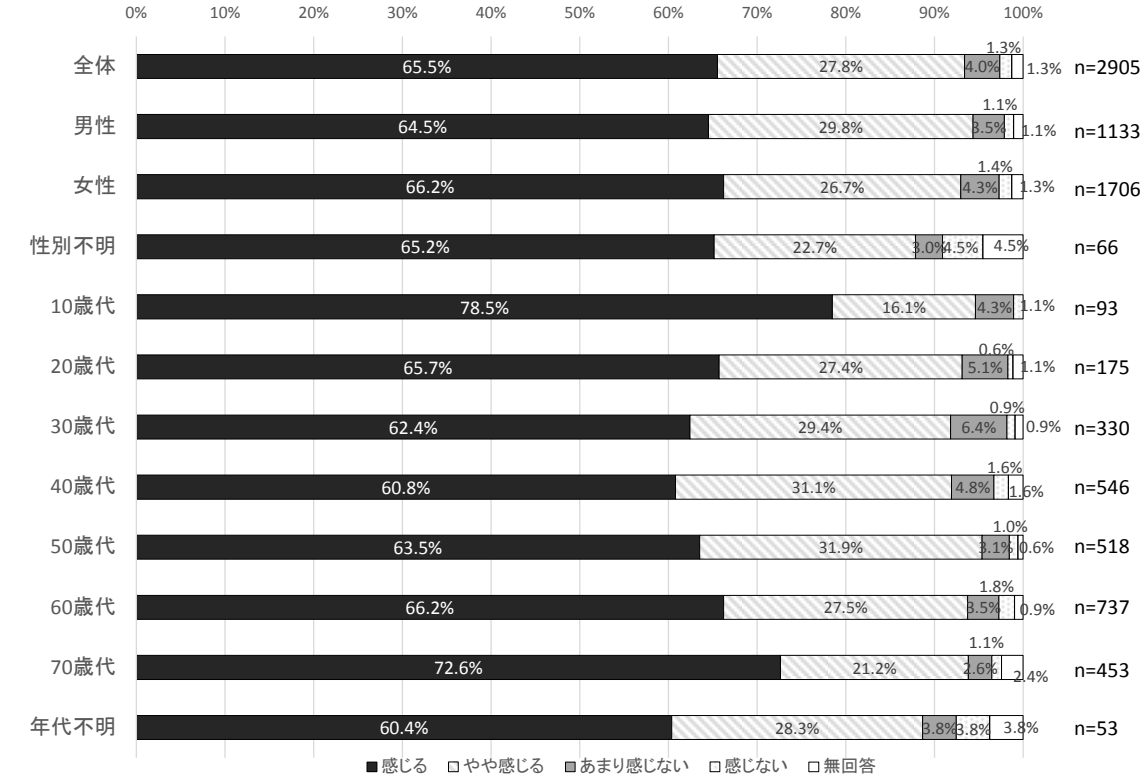
◆全体では「やや感じる」が最も多く、「感じる」と合わせると54.1%だった。
◆「やや感じる」は女性の方が高く、45.4%だった。
◆「やや感じる」の割合が最も高かったのは20歳代で52.0%。最も低かったのは70歳代で38.4%だった。

（５）毎日の生活の中で、快適さや利便さ、暮らしやすさなど、魅力的な住環境が整っている。（重要度）



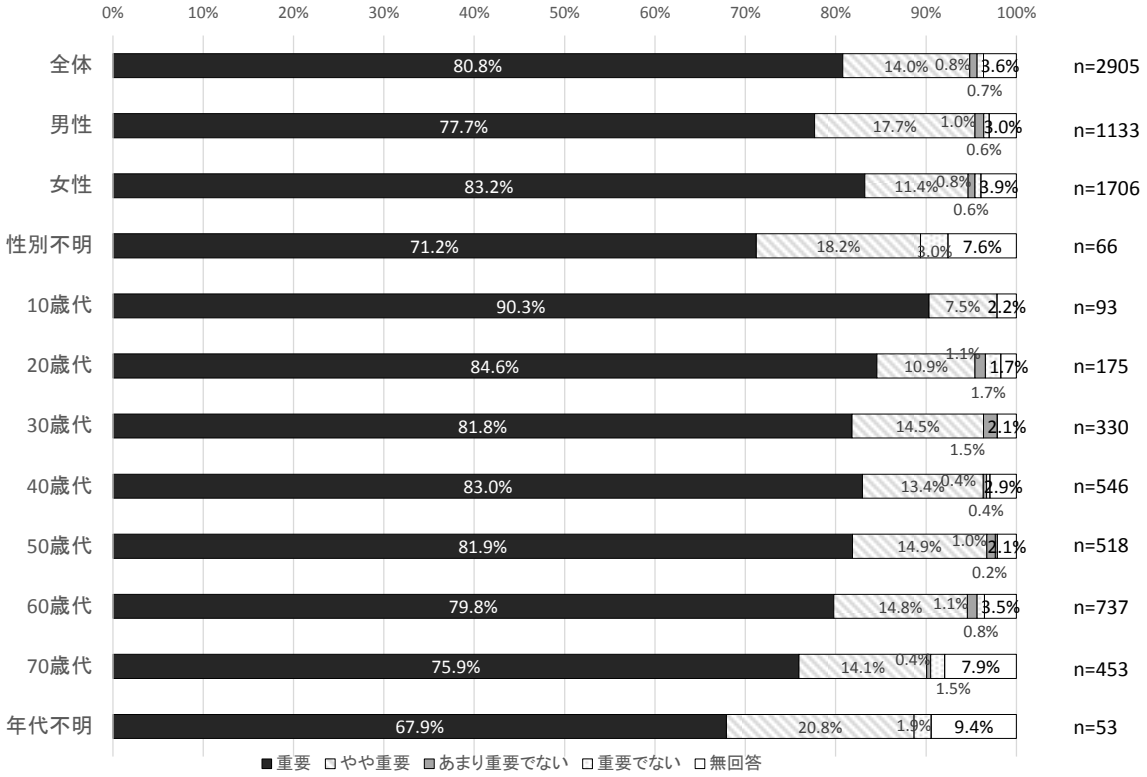
◆全体では「重要」が最も多く、「やや重要」と合わせると91.6%だった。
◆「重要」は女性の方が高く、51.3%だった。
◆「重要」の割合が最も高かったのは10歳代で60.2%。最も低かったのは60歳代で41.8%だった。

（６）安心して水を使えて、衛生的な環境で生活している。（満足度）



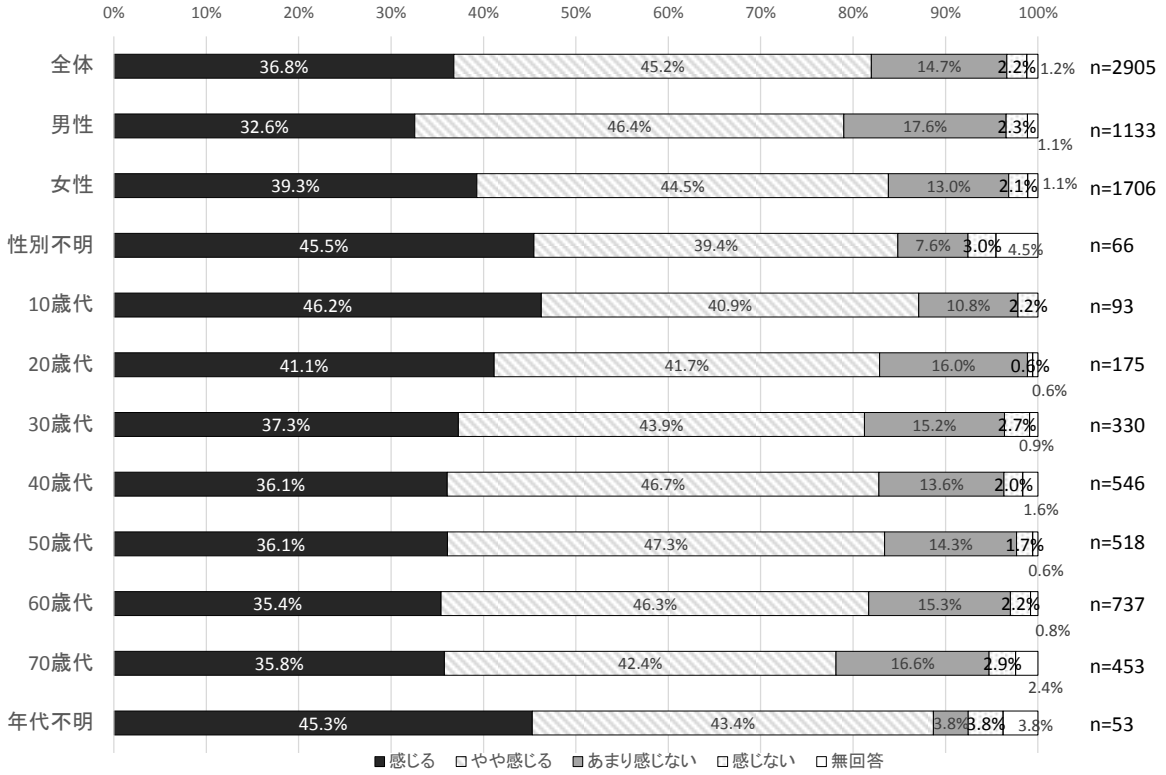
◆全体では「感じる」が最も多く、「やや感じる」と合わせると93.3%だった。
◆「感じる」は女性の方が高く、66.2%だった。
◆「感じる」の割合が最も高かったのは10歳代で78.5%。最も低かったのは40歳代で60.8%だった。

（６）安心して水を使えて、衛生的な環境で生活している。（重要度）



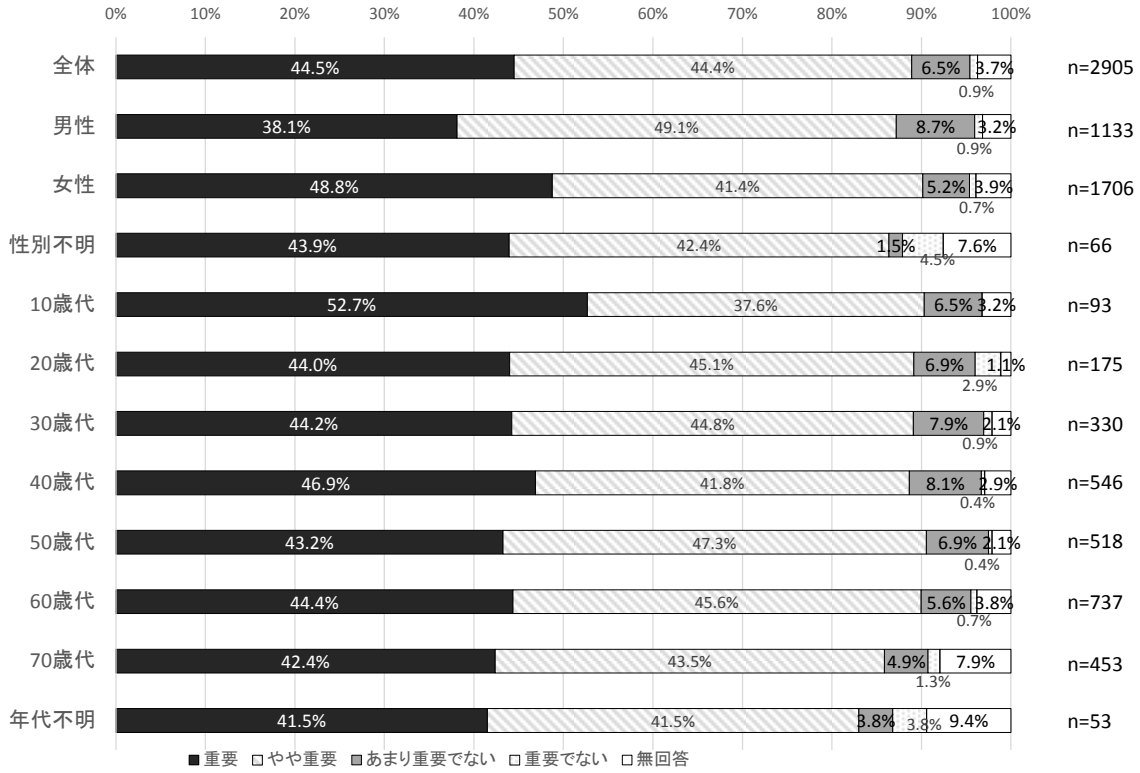
◆全体では「重要」が最も多く、「やや重要」と合わせると94.8%だった。
◆「重要」は女性の方が高く、83.2%だった。
◆「重要」の割合が最も高かったのは10歳代で90.3%。最も低かったのは70歳代で75.9%だった。

（７）緑が多く、自然環境に恵まれており、やすらぎがある。（満足度）



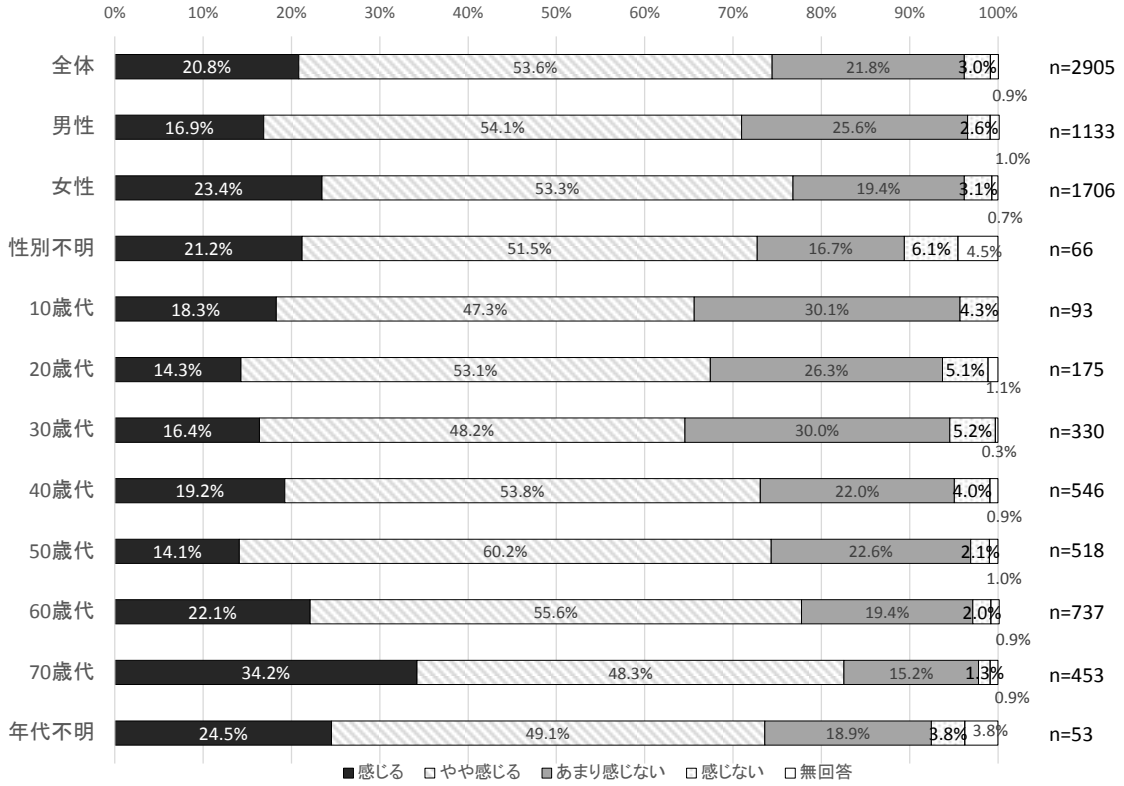
◆全体では「やや感じる」が最も多く、「感じる」と合わせると82.0%だった。
◆「やや感じる」は男性の方が高く、46.4%だった。
◆「やや感じる」の割合が最も高かったのは50歳代で47.3%。最も低かったのは10歳代で40.9%だった。

（７）緑が多く、自然環境に恵まれており、やすらぎがある。（重要度）



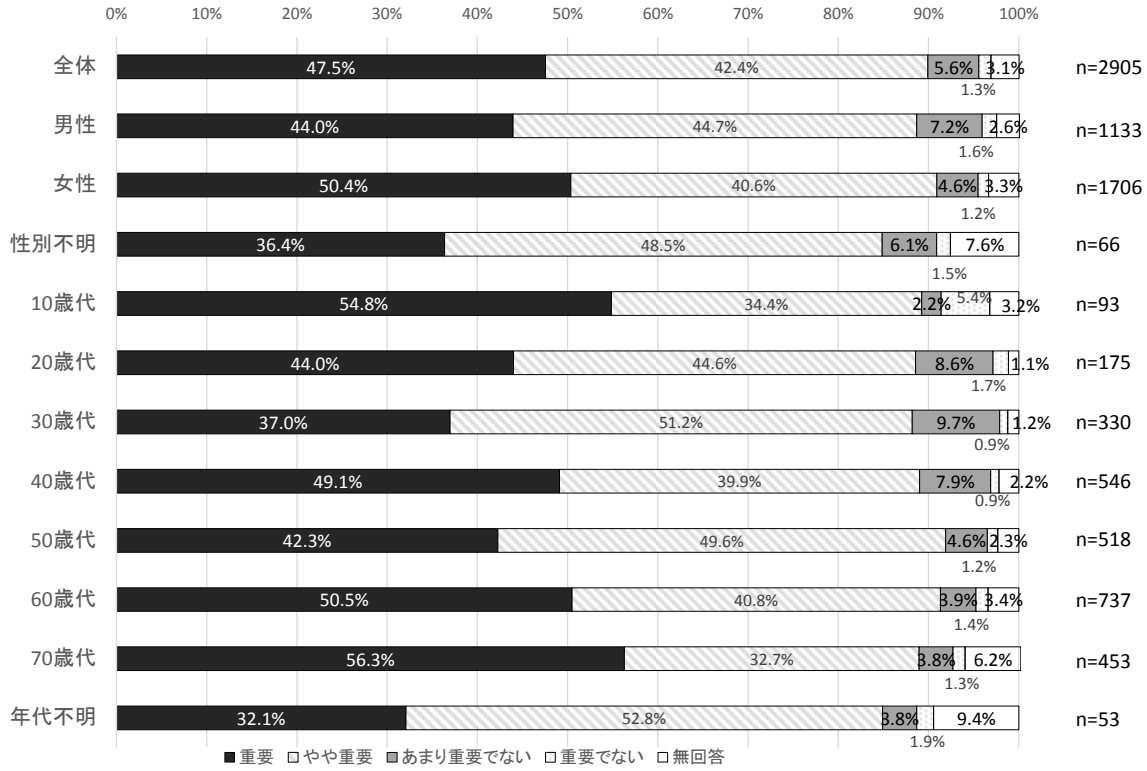
◆全体では「重要」が最も多く、「やや重要」と合わせると88.9%だった。
◆「重要」は女性のほうが高く、48.8%だった。
◆「重要」の割合が最も高かったのは10歳代で52.7%。最も低かったのは70歳代で42.4%だった。

（８）暮らしの中で、ごみの減量化や資源のリサイクルが行われている。（満足度）



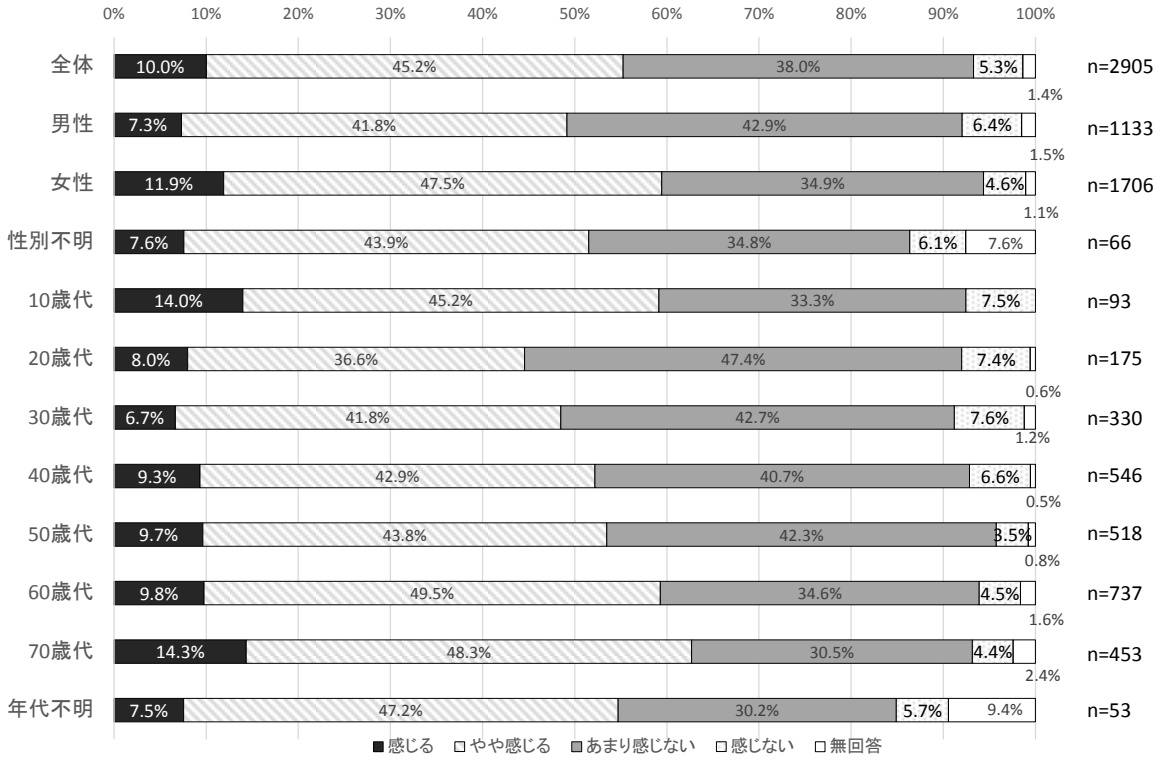
◆全体では「やや感じる」が最も多く、「感じる」と合わせると74.4%だった。
◆「やや感じる」は男性の方が高く、54.%だった。
◆「やや感じる」の割合が最も高かったのは50歳代で60.2%。最も低かったのは10歳代で47.3%だった。

（８）暮らしの中で、ごみの減量化や資源のリサイクルが行われている。（重要度）



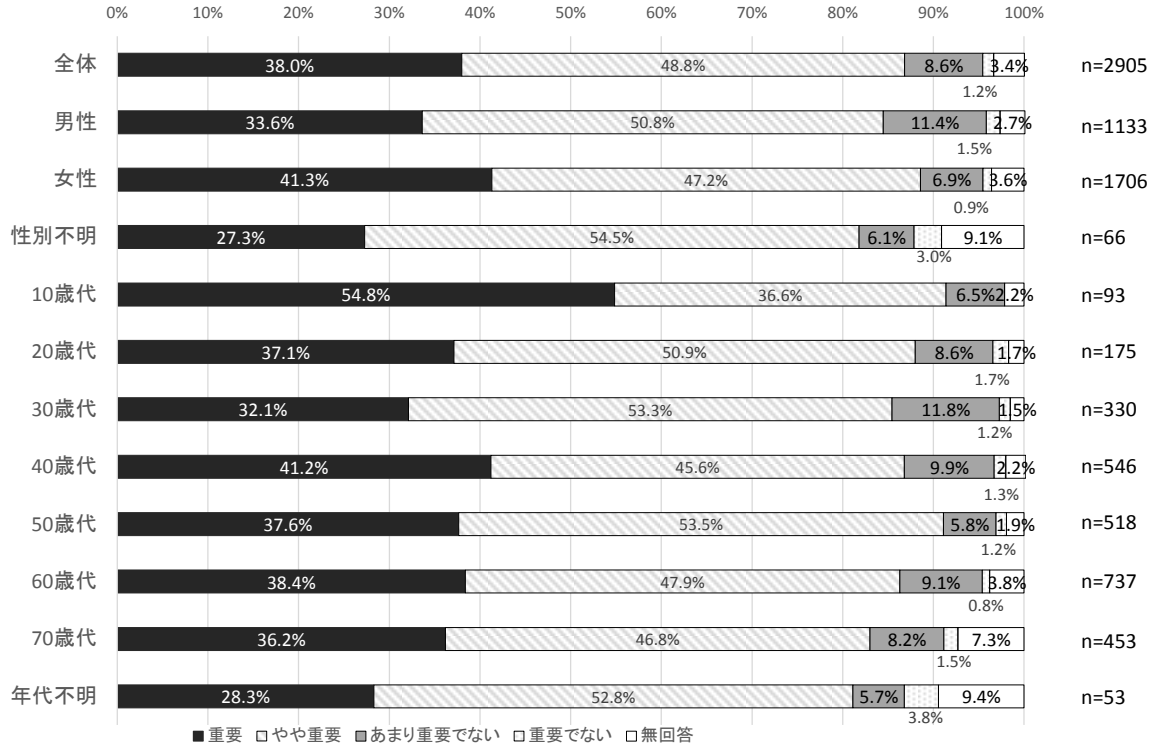
◆全体では「重要」が最も多く、「やや重要」と合わせると89.9%だった。
◆「重要」は女性の方が高く、50.4%だった。
◆「重要」の割合が最も高かったのは70歳代で56.3%。最も低かったのは30歳代で37.0%だった。

（９）再生可能エネルギーの活用など、省エネやエコを意識した取り組み、暮らし方が増えている。（満足度）



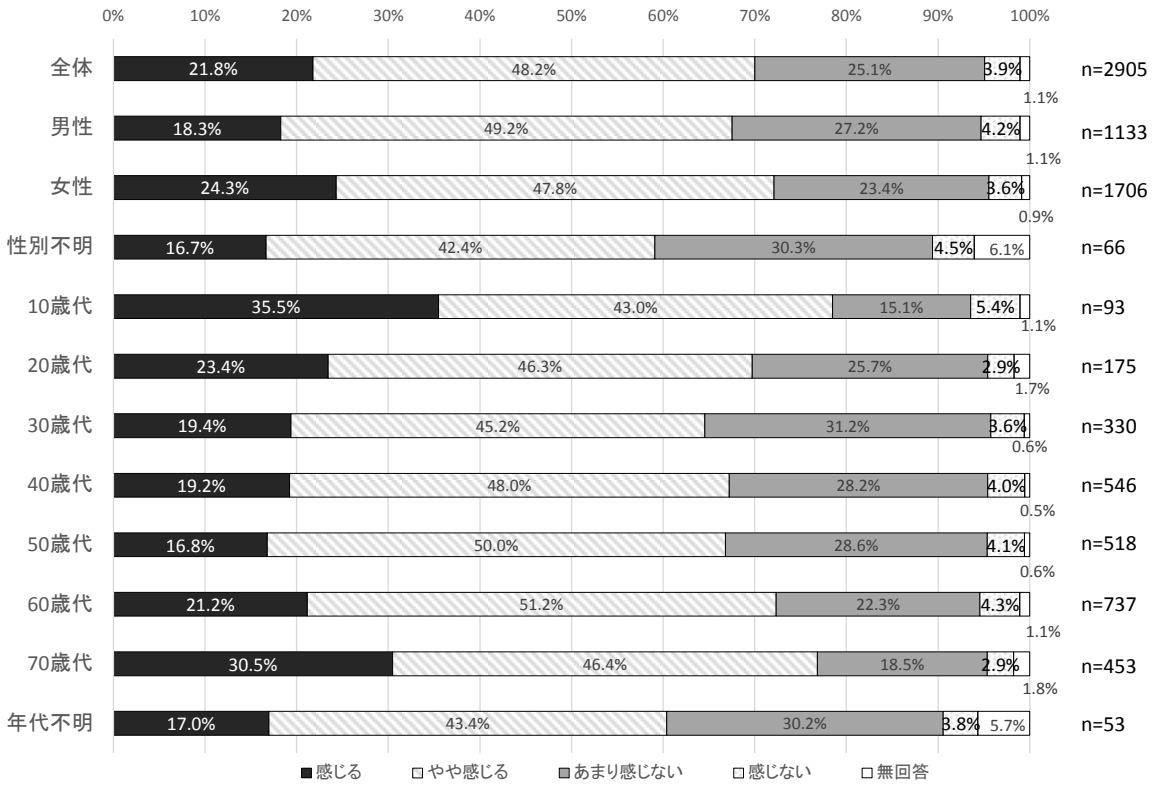
◆全体では「やや感じる」が最も多く、「感じる」と合わせると55.2%だった。
◆「やや感じる」は女性の方が高く、47.5%だった。
◆「やや感じる」の割合が最も高かったのは60歳代で49.5%。最も低かったのは20歳代で36.6%だった。

（９）再生可能エネルギーの活用など、省エネやエコを意識した取り組み、暮らし方が増えている。（重要度）



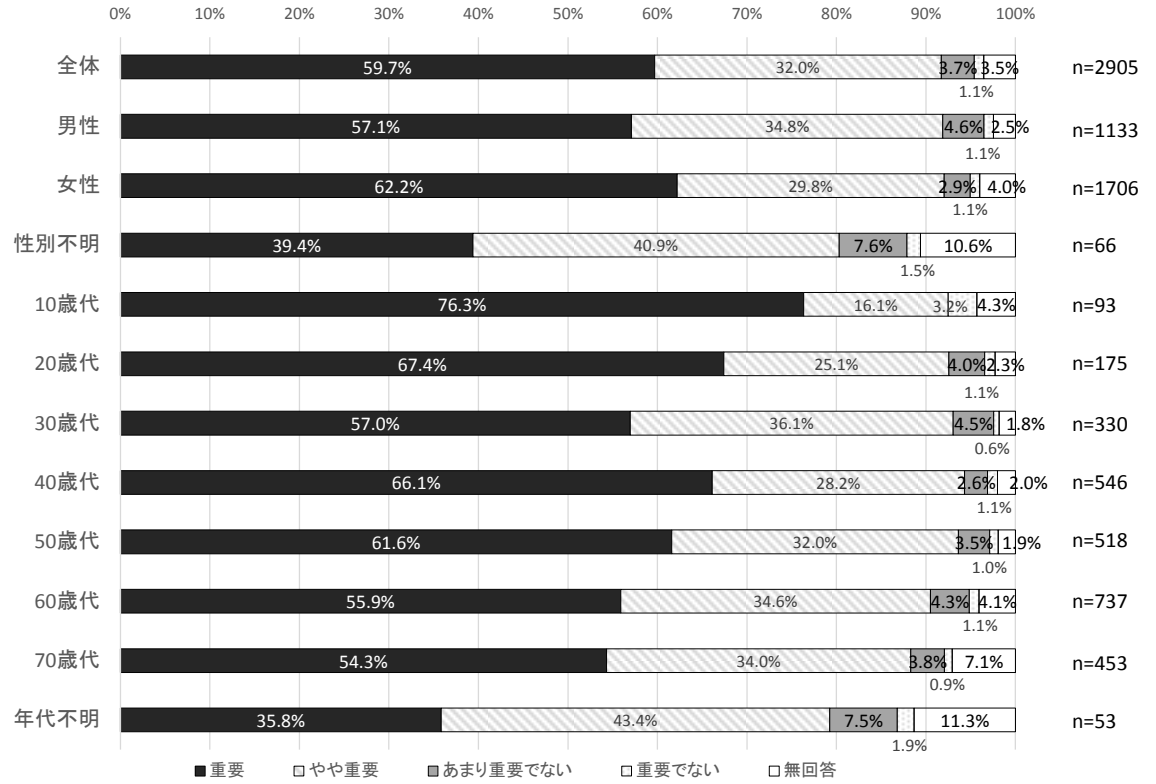
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると86.8%だった。
◆「やや重要」は男性の方が高く、50.8%だった。
◆「やや重要」の割合が最も高かったのは50歳代で53.5%。最も低かったのは10歳代で36.6%だった。

（１０）健康づくりの機会や地域で必要な医療を受けられる体制が整っている。（満足度）



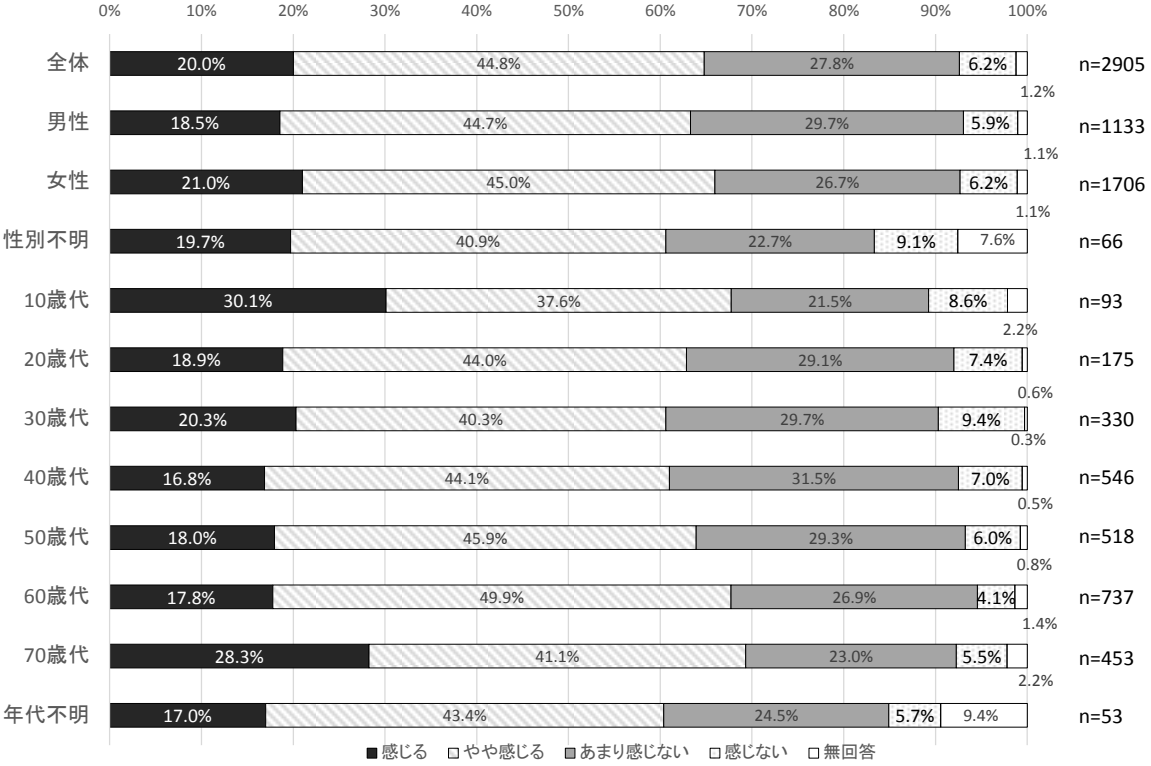
◆全体では「やや感じる」が最も多く、「感じる」と合わせると70.0%だった。
◆「やや感じる」は男性の方が高く、49.2%だった。
◆「やや感じる」の割合が最も高かったのは60歳代で51.2%。最も低かったのは10歳代で43.0%だった。

（１０）健康づくりの機会や地域で必要な医療を受けられる体制が整っている。（重要度）



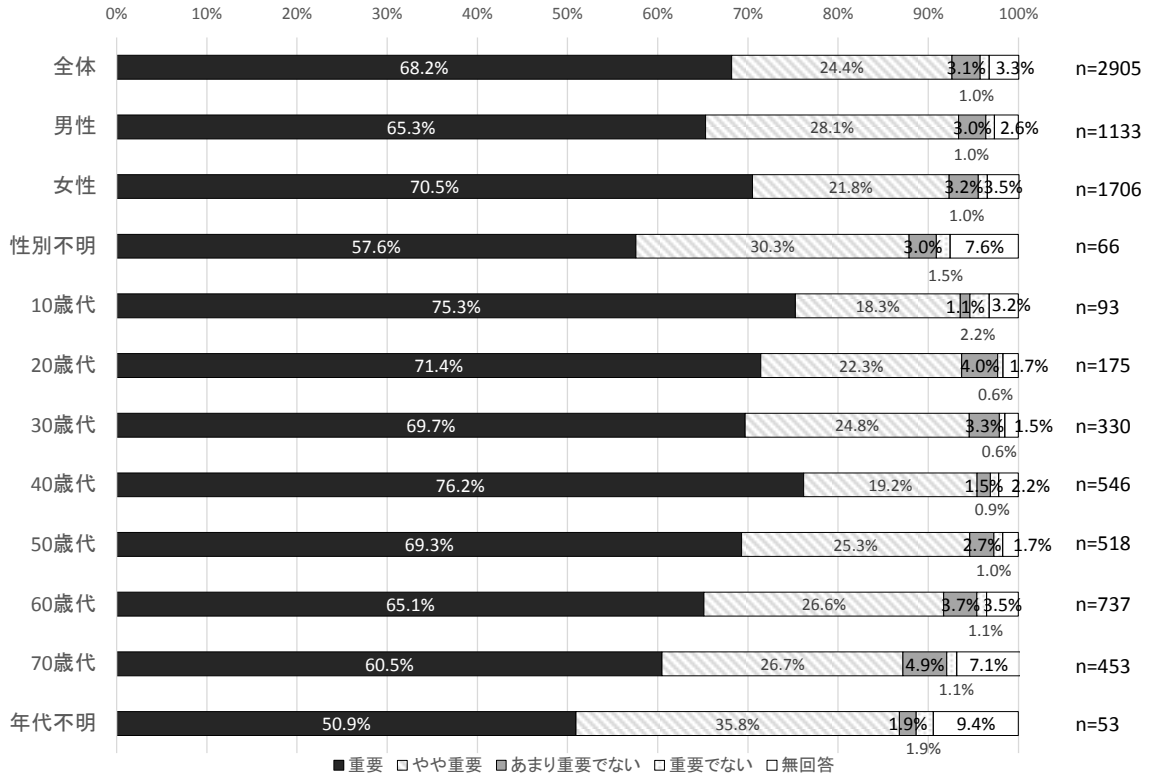
◆全体では「重要」が最も多く、「やや重要」と合わせると91.7%だった。
◆「重要」は女性が高く、62.2%だった。
◆「重要」の割合が最も高かったのは10歳代で76.3%。最も低かったのは70歳代で54.3%だった。

（１１）休日や夜間でも安心して救急医療を受けられる環境が整っている。（満足度）



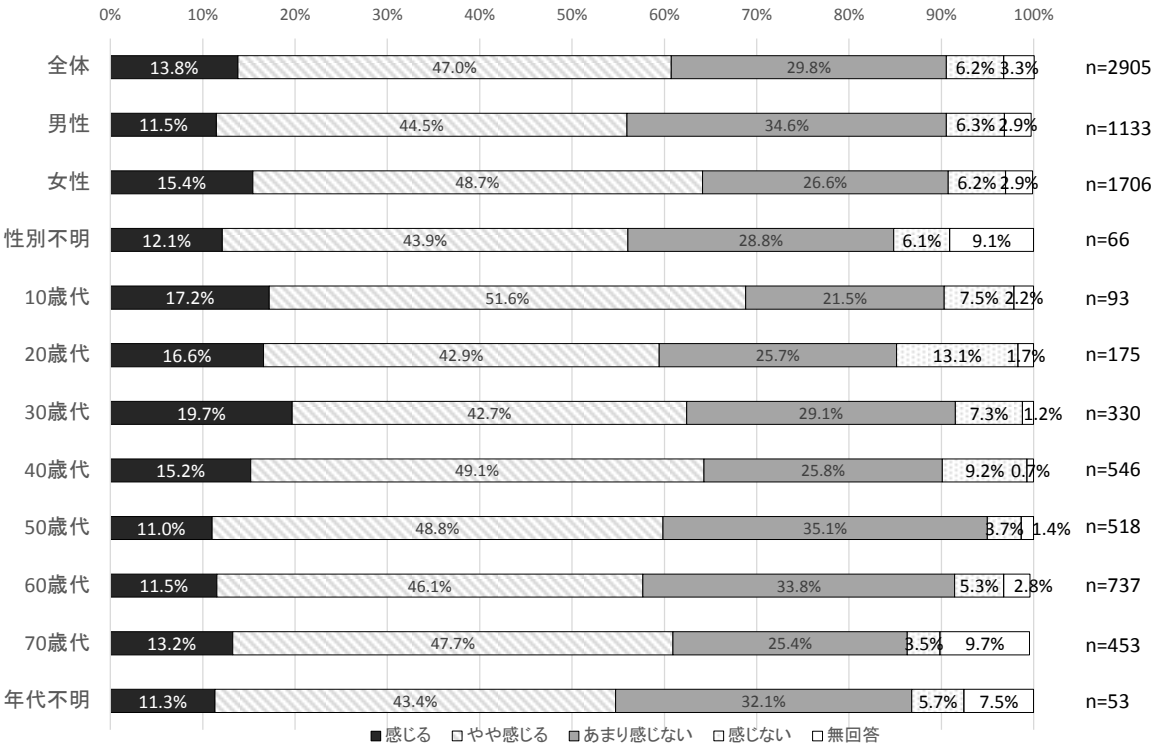
◆全体では「やや感じる」が最も多く、「感じる」と合わせると64.8%だった。
◆「やや感じる」は女性の方が高く、45.0%だった。
◆「やや感じる」の割合が最も高かったのは60歳代で49.9%。最も低かったのは10歳代で37.6%だった。

（１１）休日や夜間でも安心して救急医療を受けられる環境が整っている。（重要度）



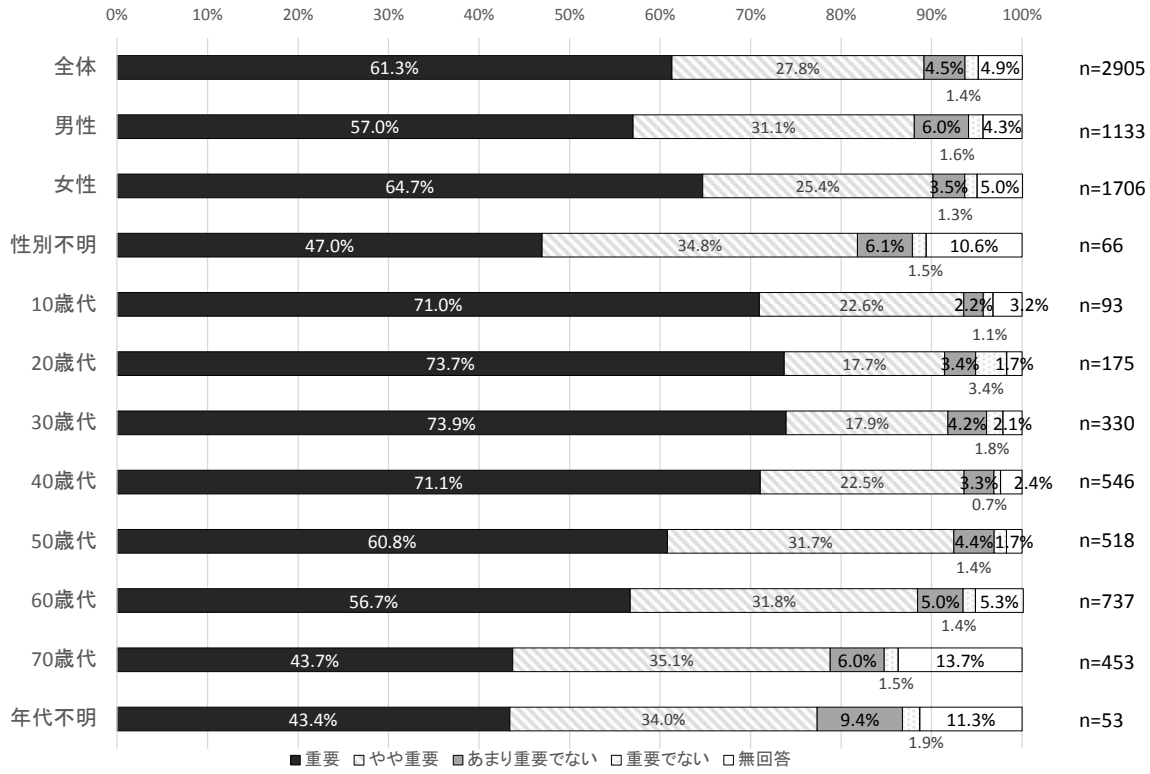
◆全体では「重要」が最も多く、「やや重要」と合わせると92.6%だった。
◆「重要」は女性が高く、70.5%だった。
◆「重要」の割合が最も高かったのは40歳代で76.2%。最も低かったのは70歳代で60.5%だった。

（１２）安心して、子どもを産み、育てられる環境が整っている。（満足度）



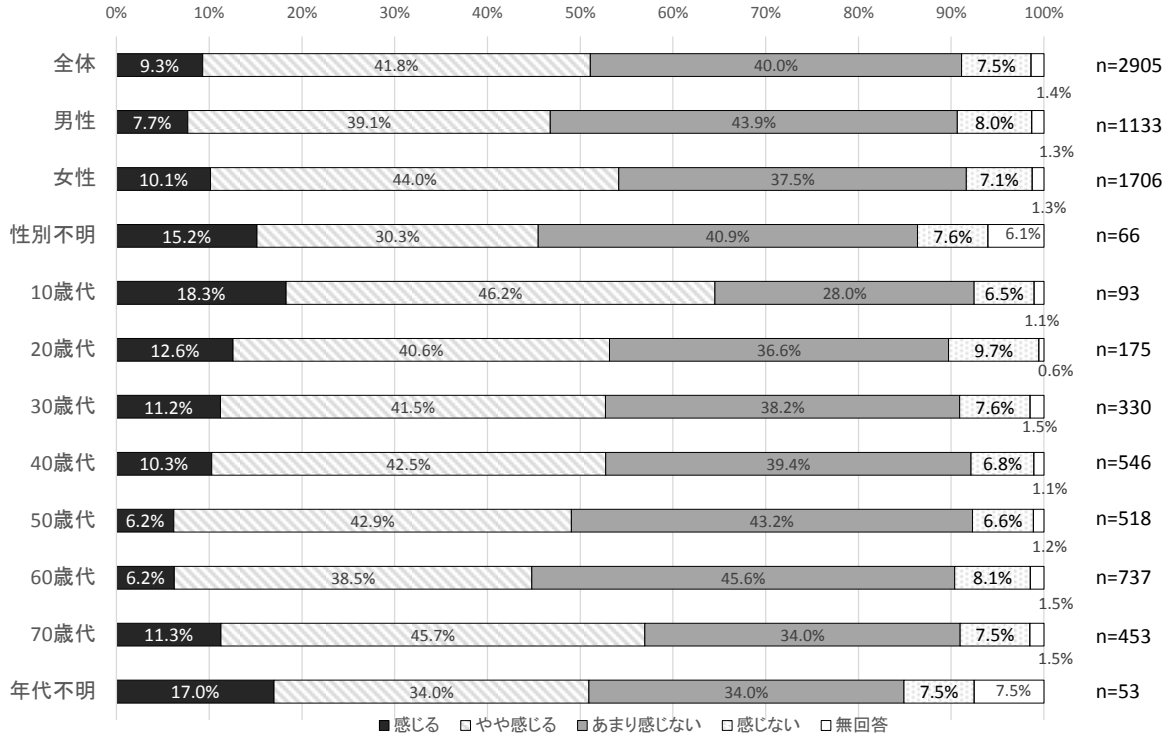
◆全体では「やや感じる」が最も多く、「感じる」と合わせると60.8%だった。
◆「やや感じる」は女性の方が高く、48.7%だった。
◆「やや感じる」の割合が最も高かったのは10歳代で51.6%。最も低かったのは30歳代で42.7%だった。

（１２）安心して、子どもを産み、育てられる環境が整っている。（重要度）



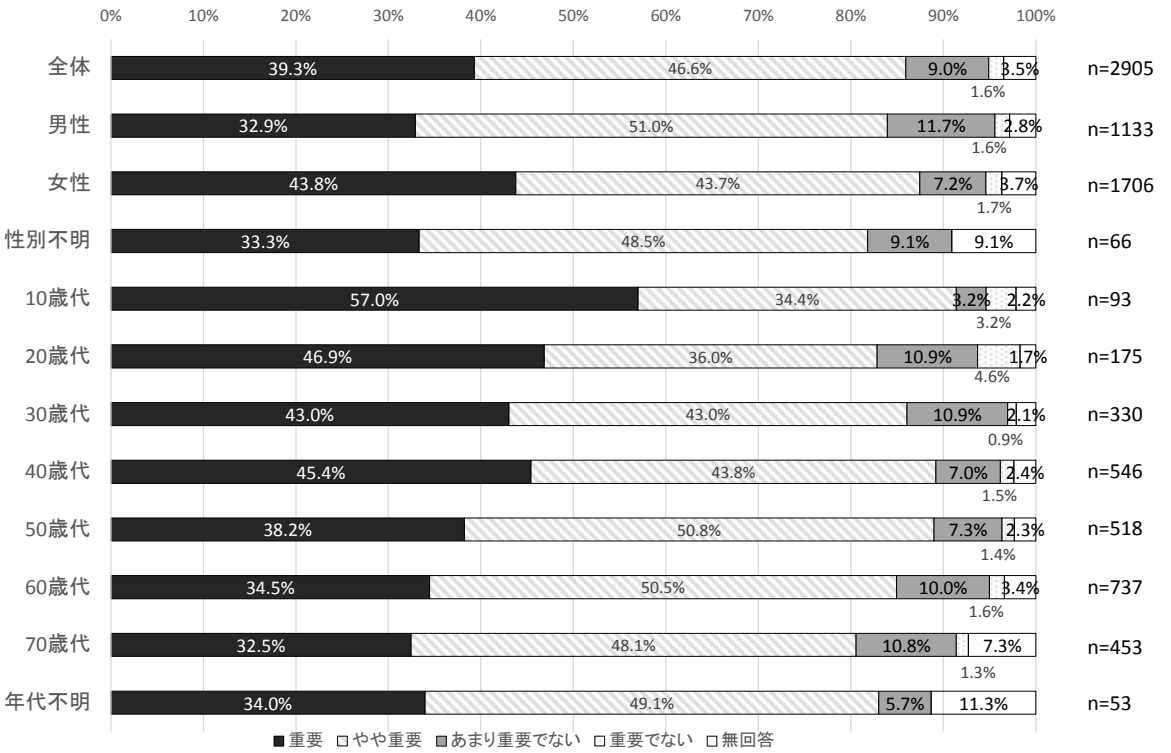
◆全体では「重要」が最も多く、「やや重要」と合わせると89.1%だった。
◆「重要」は女性の方が高く、64.7%だった。
◆「重要」の割合が最も高かったのは30歳代で73.9%。最も低かったのは70歳代で43.7%だった。

（１３）お年寄りが、社会の一員として生きがいを持って元気に活躍している。（満足度）



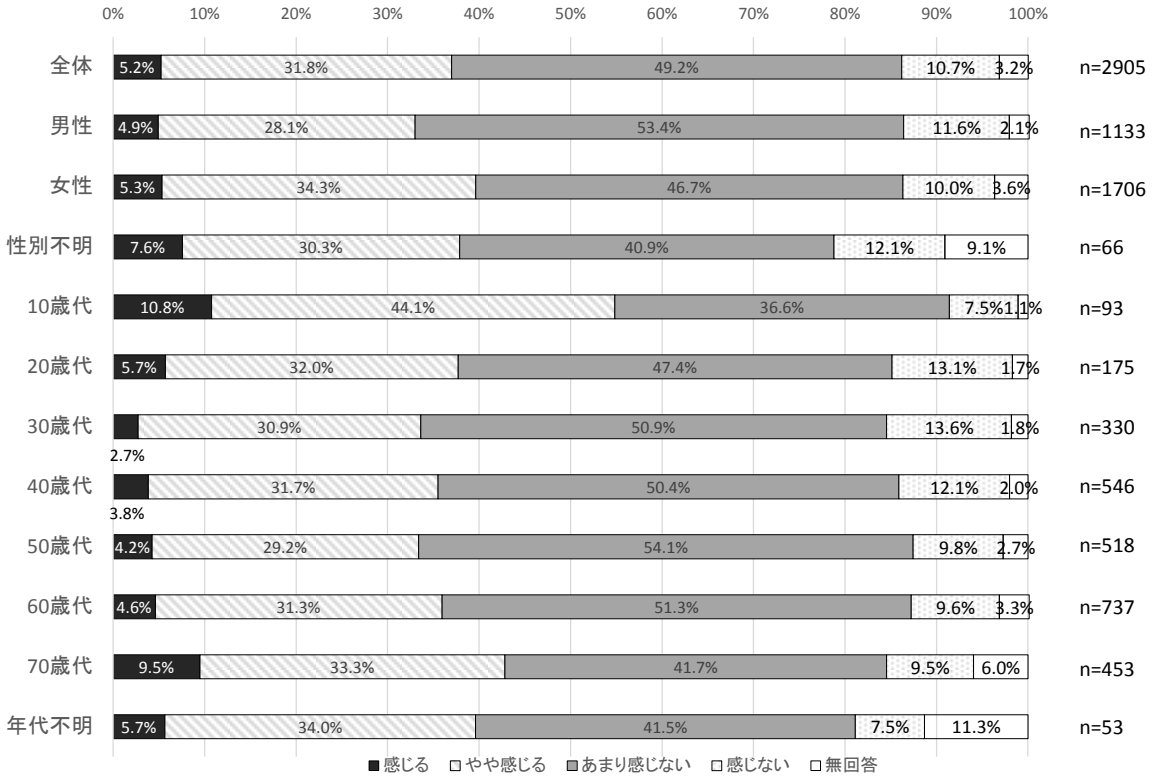
◆全体では「やや感じる」が最も多く、「感じる」と合わせると51.1%だった。
◆「やや感じる」は女性の方が高く、44.0%だった。
◆「やや感じる」の割合が最も高かったのは10歳代で46.2%。最も低かったのは60歳代で38.5%だった。

（１３）お年寄りが、社会の一員として生きがいを持って元気に活躍している。（重要度）



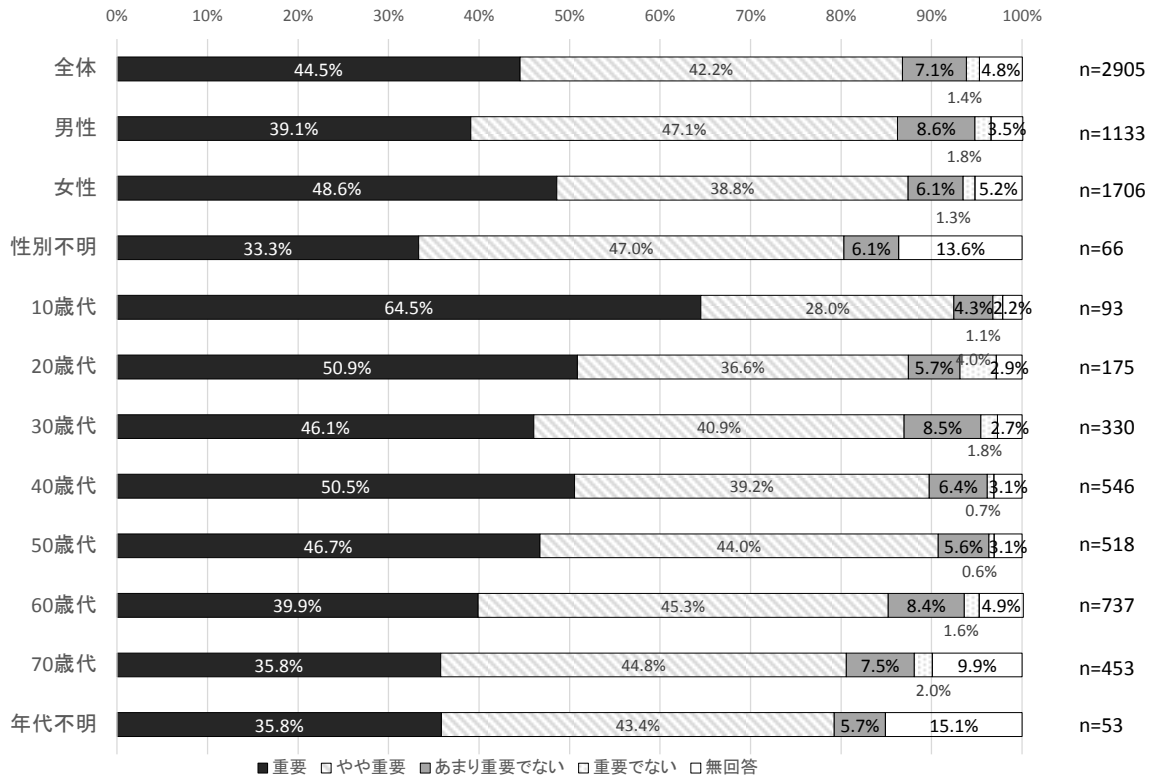
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると85.9%だった。
◆「やや重要」は男性の方が高く、51.0%だった。
◆「やや重要」の割合が最も高かったのは50歳代で50.8%。最も低かったのは10歳代で34.4%だった。

（１４）障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らしている。（満足度）



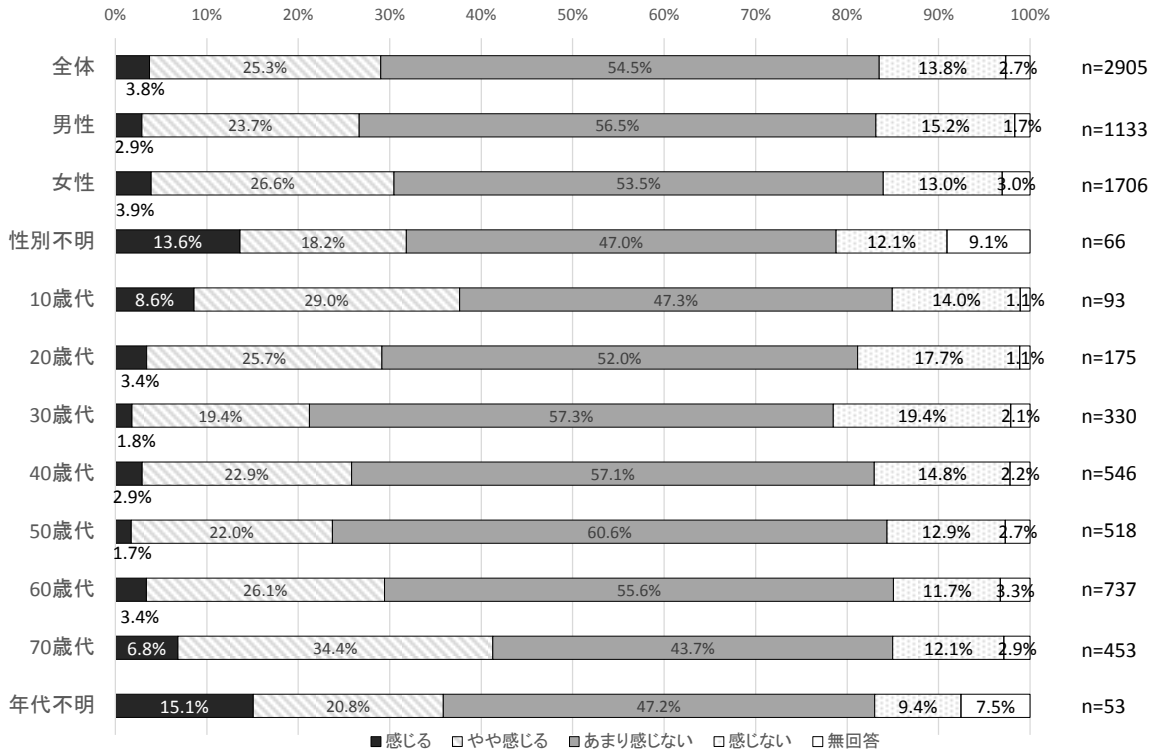
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると59.9%だった。
◆「あまり感じない」は男性の方が高く、53.4%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは50歳代で54.1%。最も低かったのは10歳代で36.6%だった。

（１４）障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らしている。（重要度）



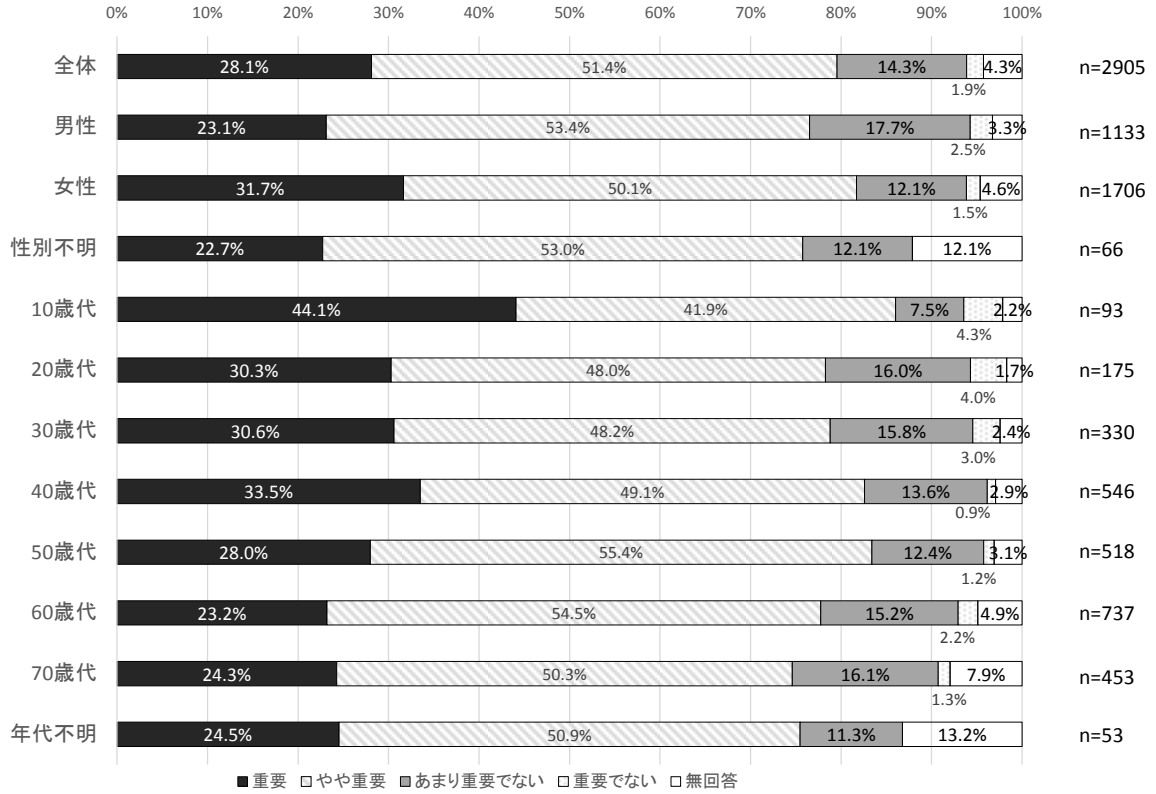
◆全体では「重要」が最も多く、「やや重要」と合わせると86.7%だった。
◆「重要」は女性の方が高く、48.6%だった。
◆「重要」の割合が最も高かったのは10歳代で64.5%。最も低かったのは70歳代で35.8%だった。

（１５）福祉ボランティアや福祉活動に、積極的に参加する人が増えている。（満足度）



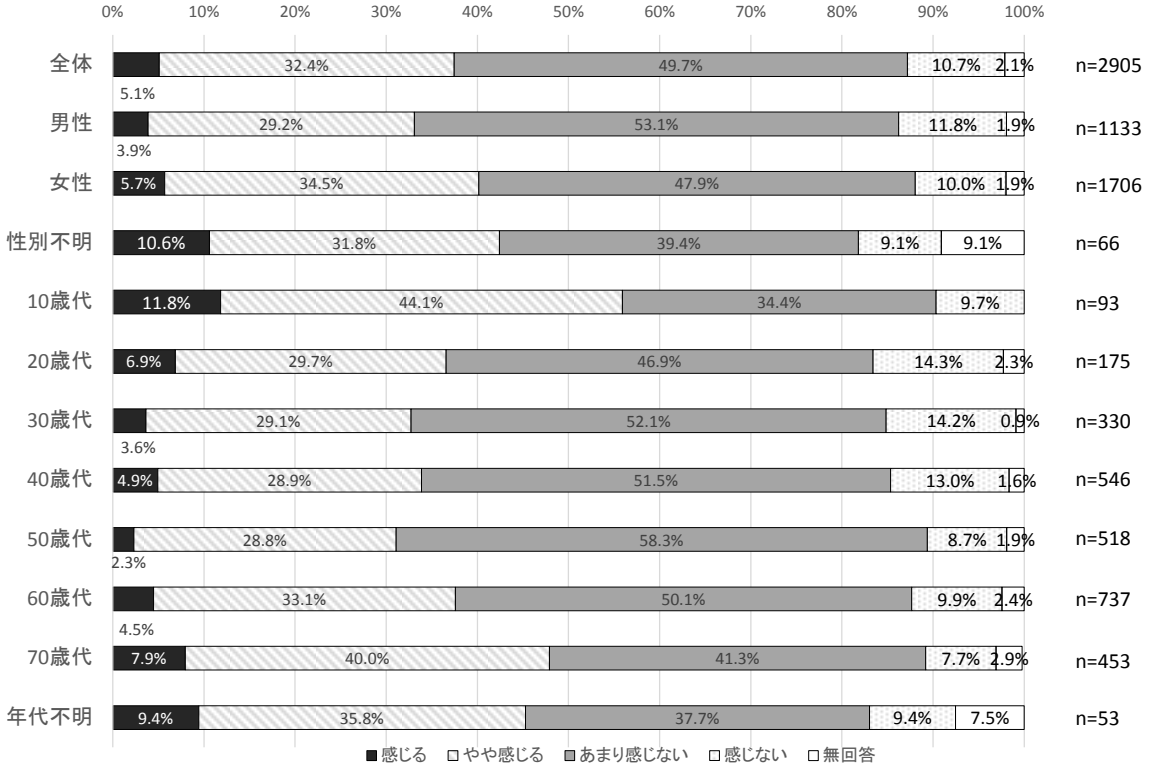
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると68.3%だった。
◆「あまり感じない」は男性の方が高く、56.5%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは50歳代で60.6%。最も低かったのは70歳代で43.7%だった。

（１５）福祉ボランティアや福祉活動に、積極的に参加する人が増えている。（重要度）



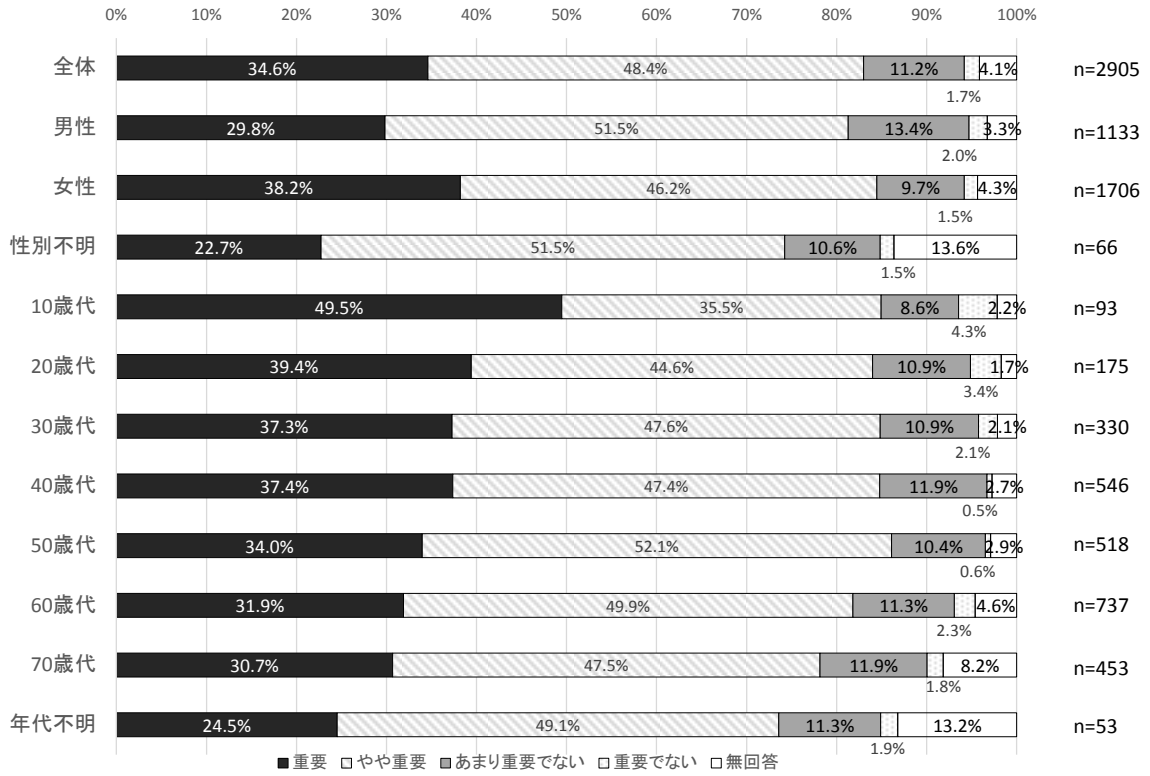
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると79.5%だった。
◆「やや重要」は男性の方が高く、53.4%だった。
◆「やや重要」の割合が最も高かったのは50歳代で55.4%。最も低かったのは10歳代で41.9%だった。

（１６）生涯をとおした心や身体の健康づくりに取組む環境が整っている。（満足度）



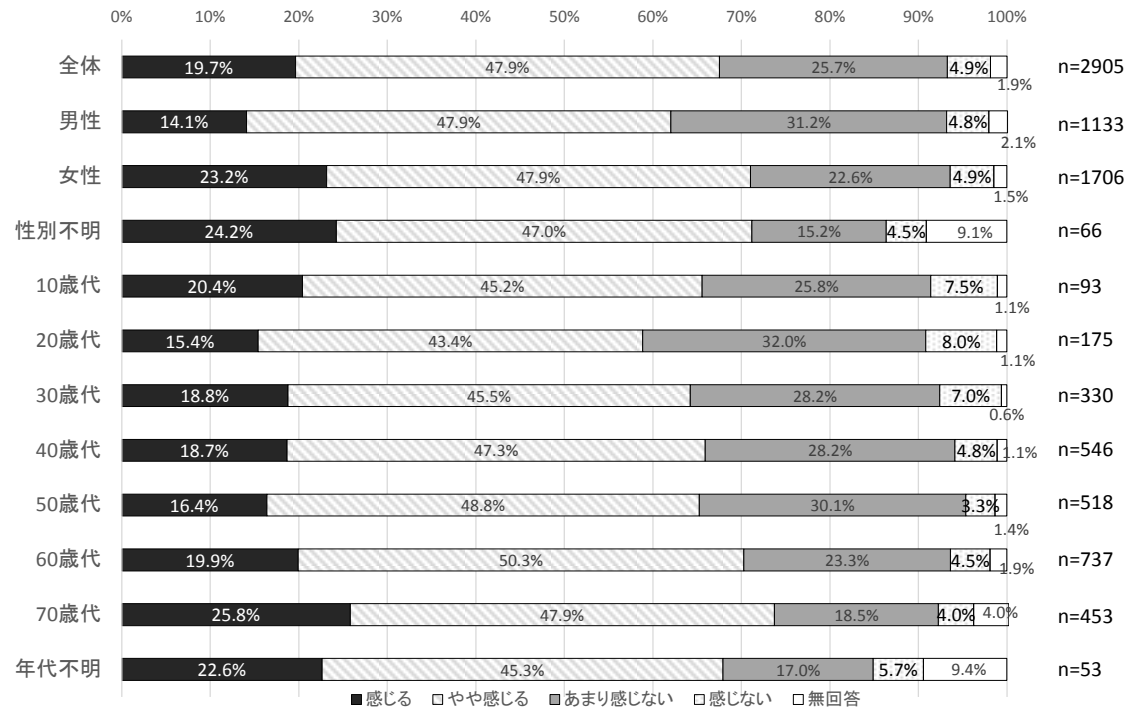
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると60.4%だった。
◆「あまり感じない」は男性の方が高く、53.1%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは50歳代で58.3%。最も低かったのは10歳代で34.4%だった。

（１６）生涯をとおした心や身体の健康づくりに取組む環境が整っている。（重要度）



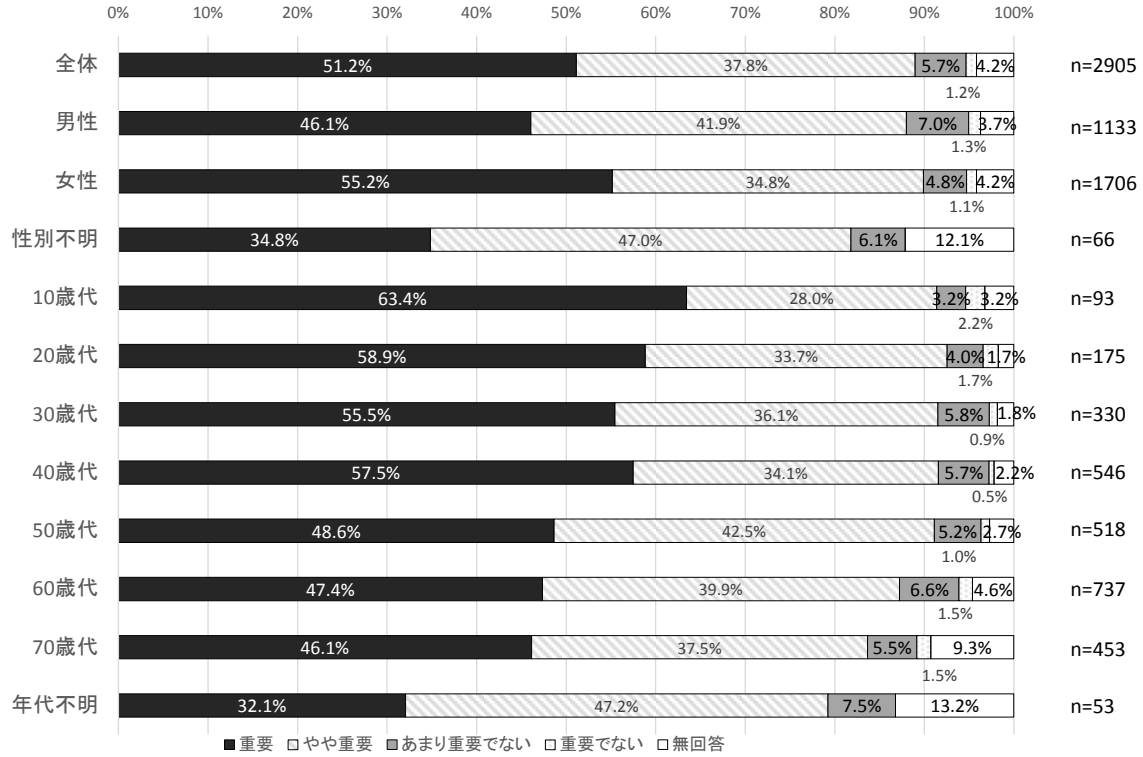
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると83.0%だった。
◆「やや重要」は男性の方が高く、51.5%だった。
◆「やや重要」の割合が最も高かったのは50歳代で52.1%。最も低かったのは10歳代で35.5%だった。

（１７）健診（検診）や生活習慣病予防対策、母子保健指導などが充実している。（満足度）



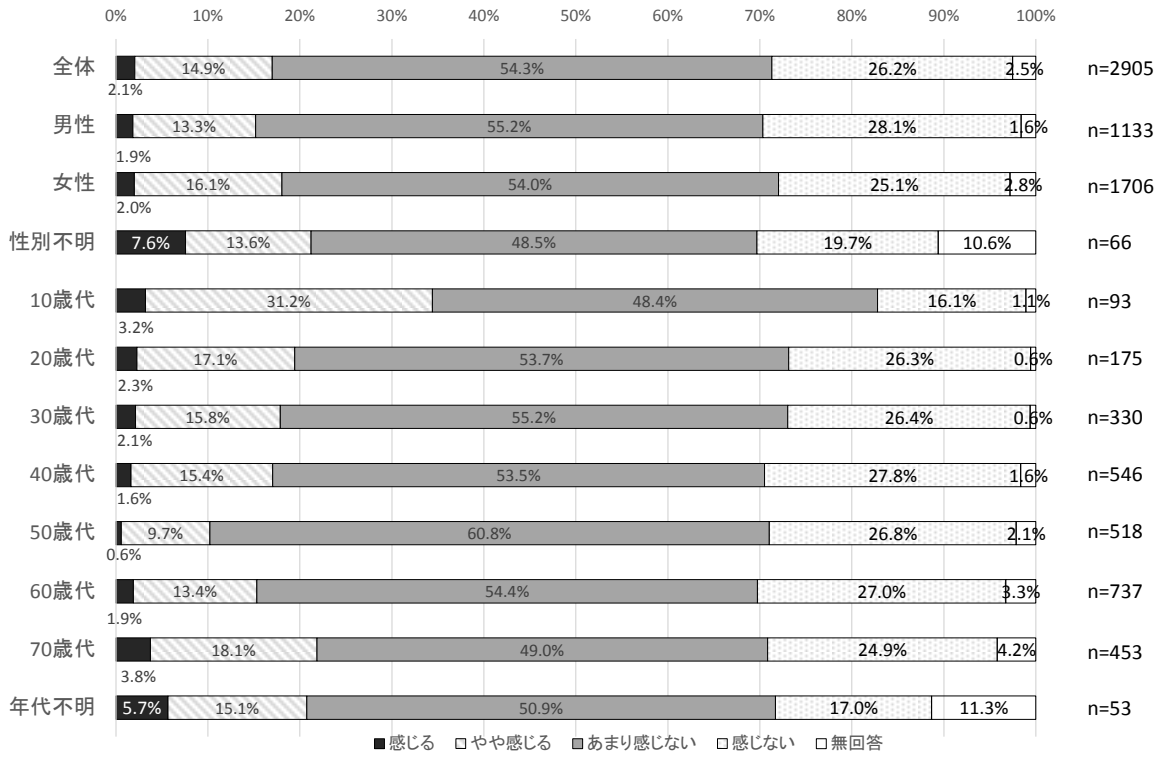
◆全体では「やや感じる」が最も多く、「感じる」と合わせると67.6%だった。
◆「やや感じる」は男性と女性が同数であった。
◆「やや感じる」の割合が最も高かったのは60歳代で50.3%。最も低かったのは20歳代で43.4%だった。

（１７）健診（検診）や生活習慣病予防対策、母子保健指導などが充実している。（重要度）



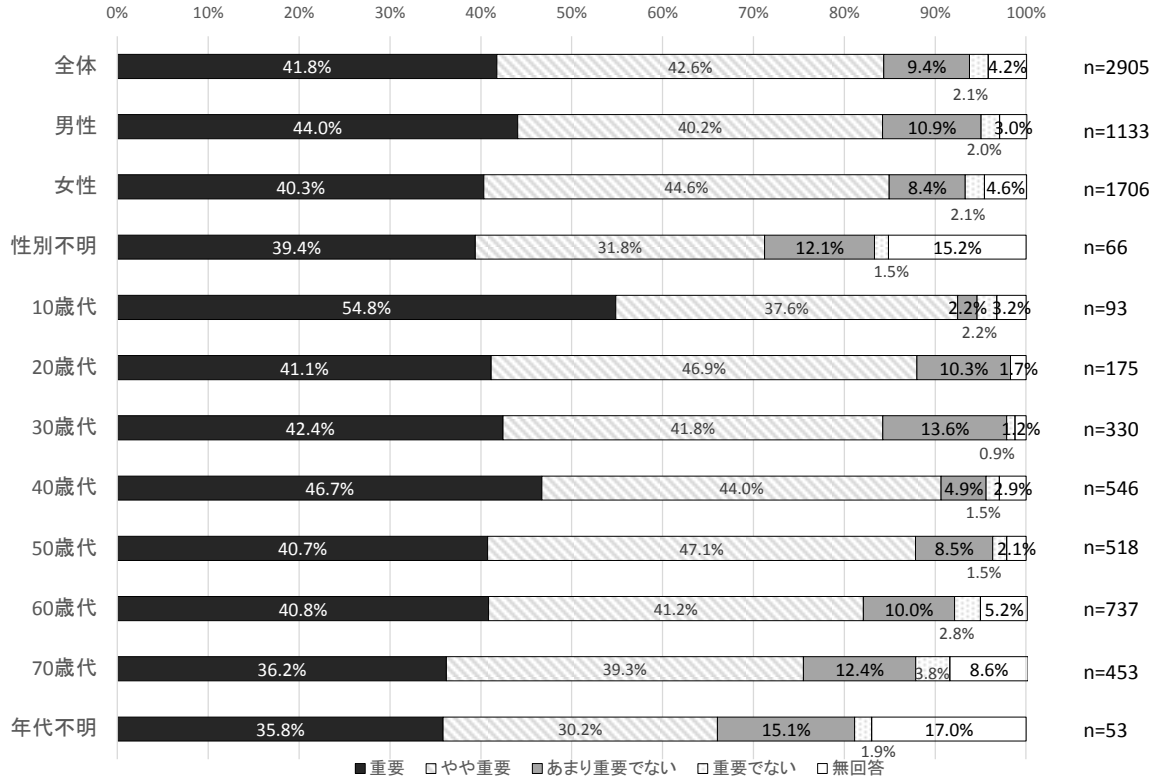
◆全体では「重要」が最も多く、「やや重要」と合わせると89.0%だった。
◆「重要」は女性の方が高く、55.2%だった。
◆「重要」の割合が最も高かったのは10歳代で63.4%。最も低かったのは70歳代で46.1%だった。

（１８）市内の産業経済活動に活気がある。（満足度）



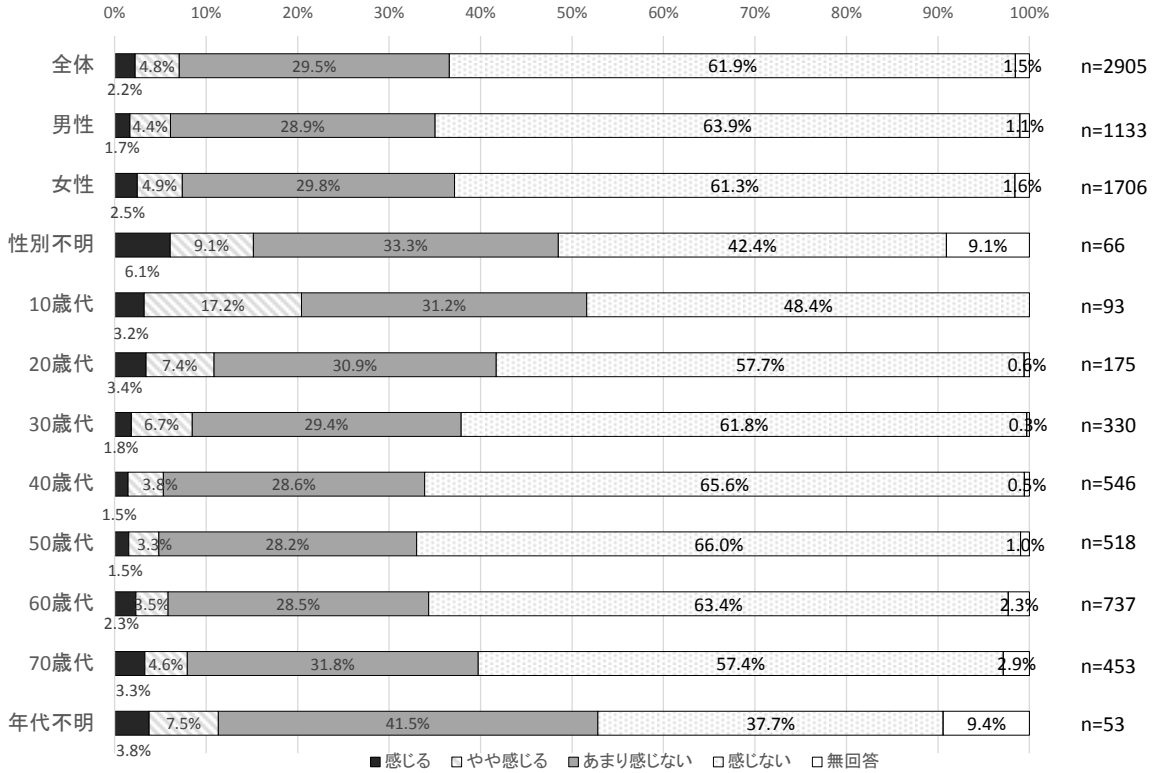
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると80.5%だった。
◆「あまり感じない」は男性の方が高く、55.2%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは50歳代で60.8%。最も低かったのは10歳代で48.4%だった。

（１８）市内の産業経済活動に活気がある。（重要度）



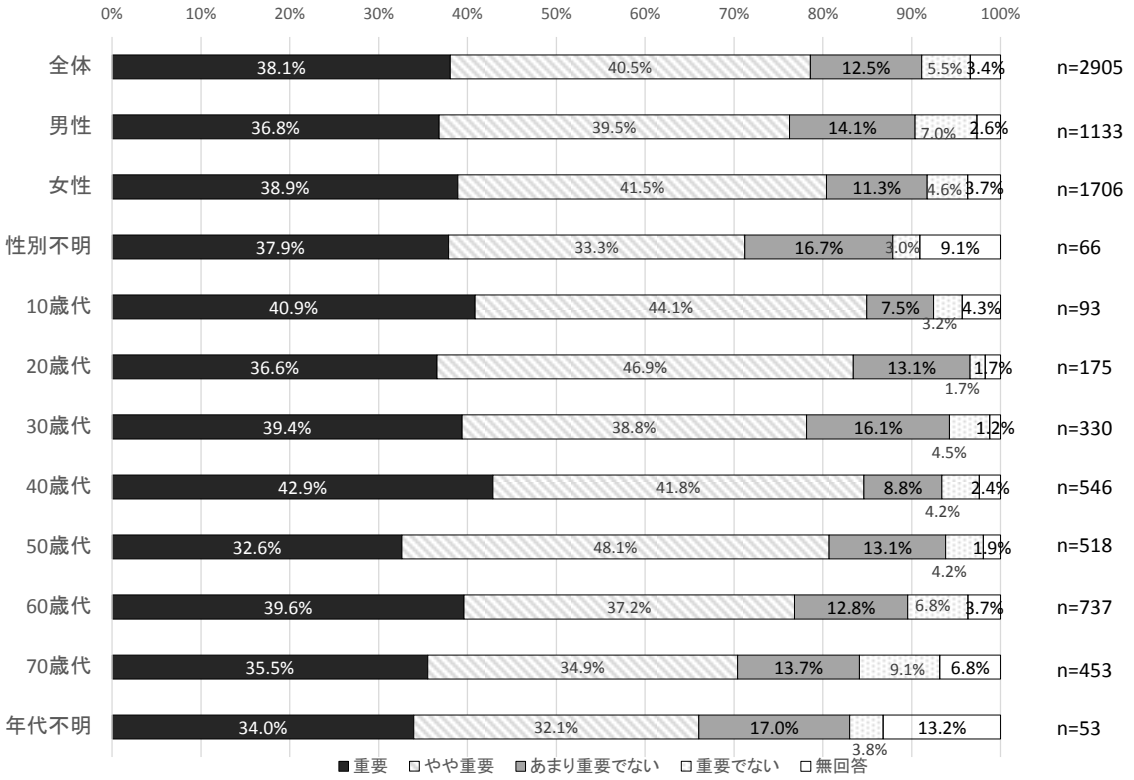
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると84.4%だった。
◆「やや重要」は女性の方が高く、44.6%だった。
◆「やや重要」の割合が最も高かったのは50歳代で47.1%。最も低かったのは10歳代で37.6%だった。

（１９）中心市街地に活気があり、にぎわっている。（満足度）



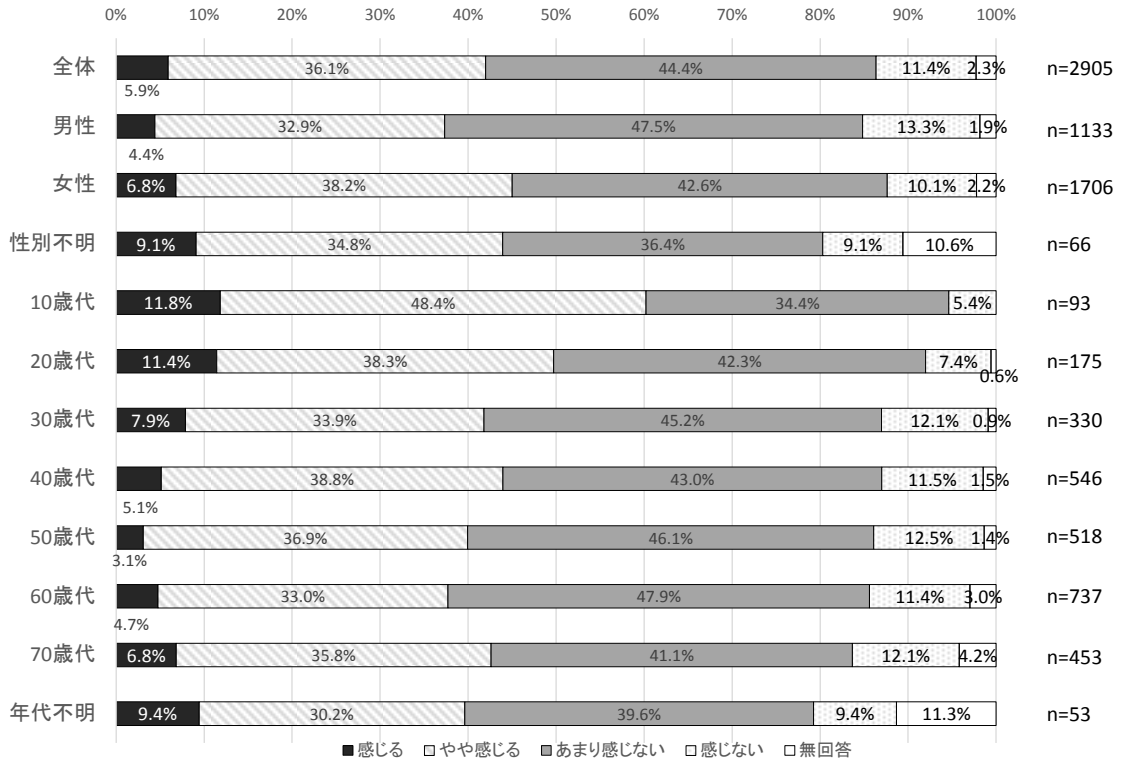
◆全体では「感じない」が最も多く、「あまり感じない」と合わせると91.4%だった。
◆「感じない」は男性の方が高く、63.9%だった。
◆「感じない」の割合が最も高かったのは50歳代で66.0%。最も低かったのは10歳代で48.4%だった。

（１９）中心市街地に活気があり、にぎわっている。（重要度）



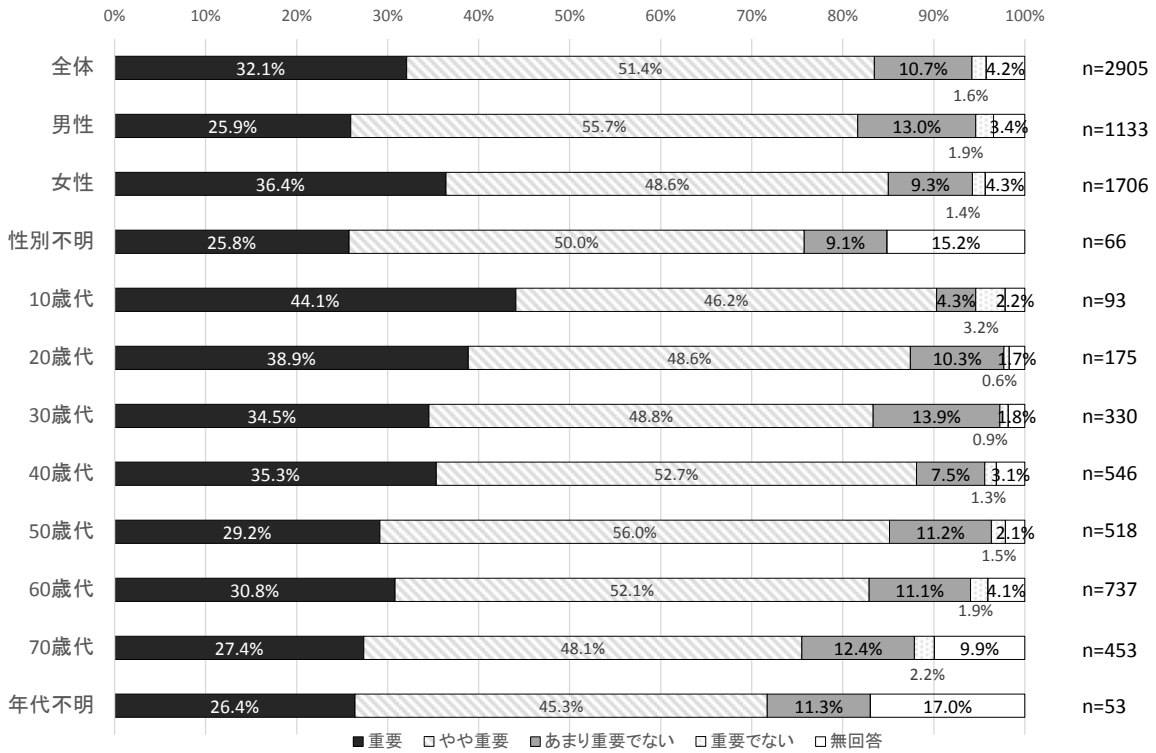
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると78.6%だった。
◆「やや重要」は女性の方が高く、41.5%だった。
◆「やや重要」の割合が最も高かったのは50歳代で48.1%。最も低かったのは70歳代で34.9%だった。

（２０）前橋市の農畜産物の生産や消費が拡大している。（満足度）



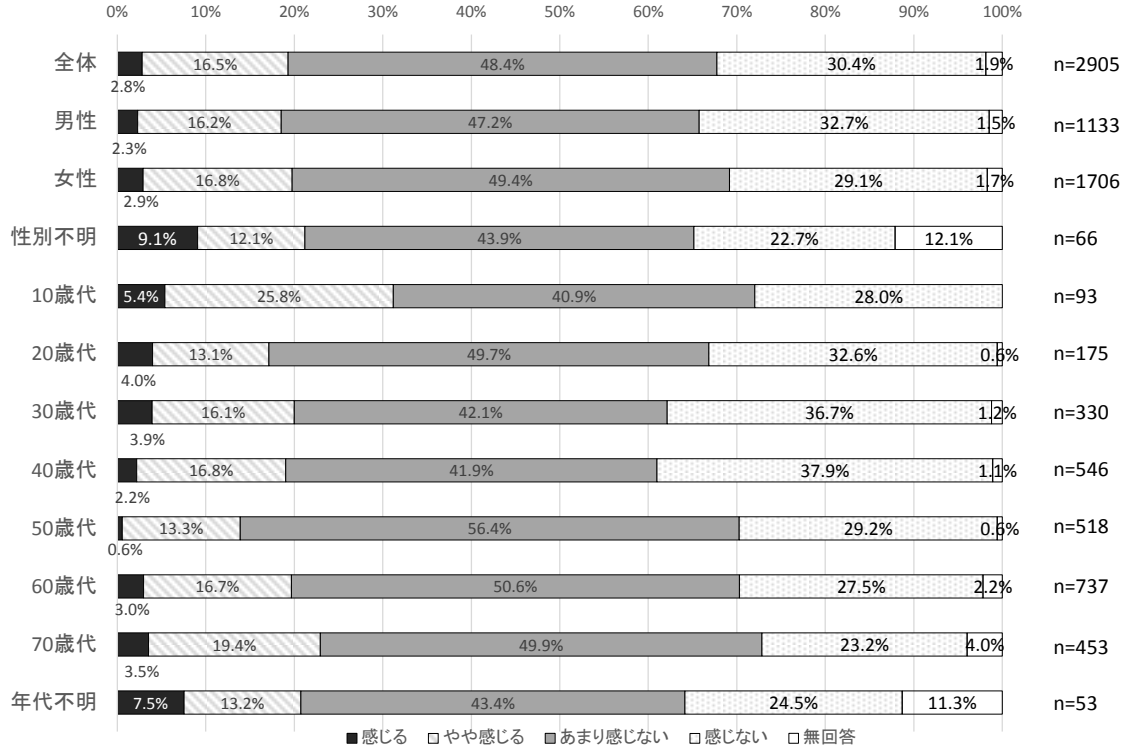
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると55.8%だった。
◆「あまり感じない」は男性の方が高く、47.5%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは60歳代で47.9%。最も低かったのは10歳代で34.4%だった。

（２０）前橋市の農畜産物の生産や消費が拡大している。（重要度）



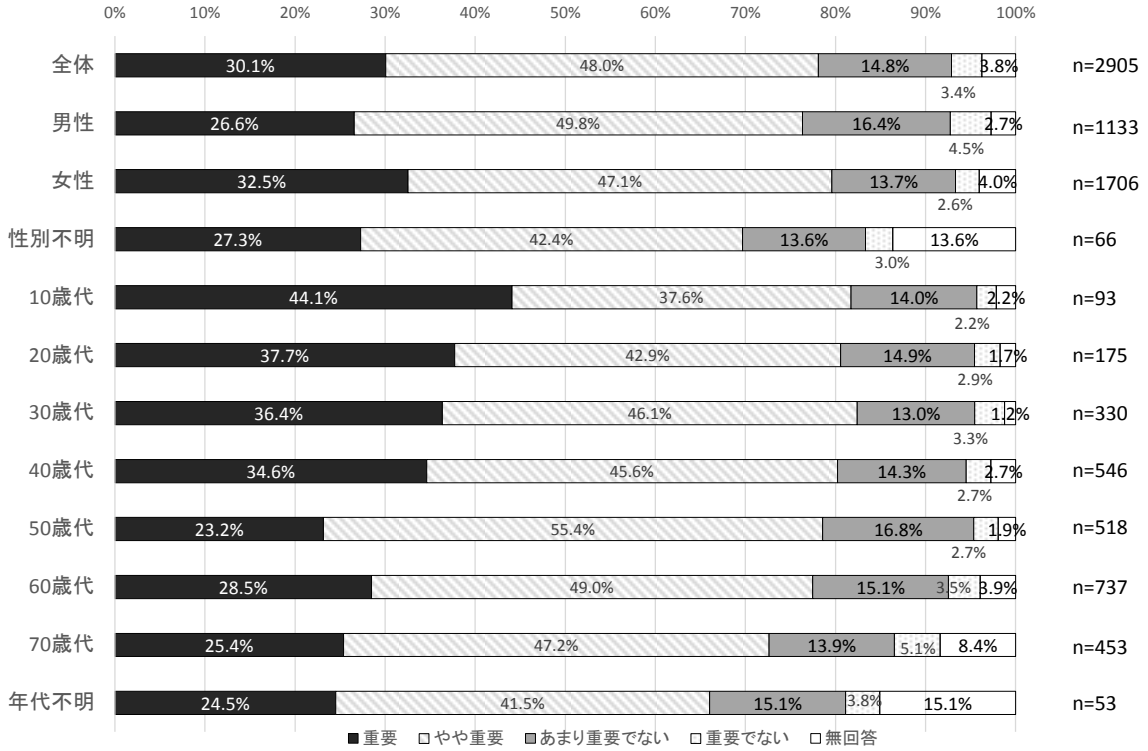
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると83.5%だった。
◆「やや重要」は男性の方が高く、55.7%だった。
◆「やや重要」の割合が最も高かったのは50歳代で56.0%。最も低かったのは10歳代で46.2%だった。

（２１）市内に観光名所が増えてきており、前橋の特性や魅力を活かした観光振興が行われている。（満足度）



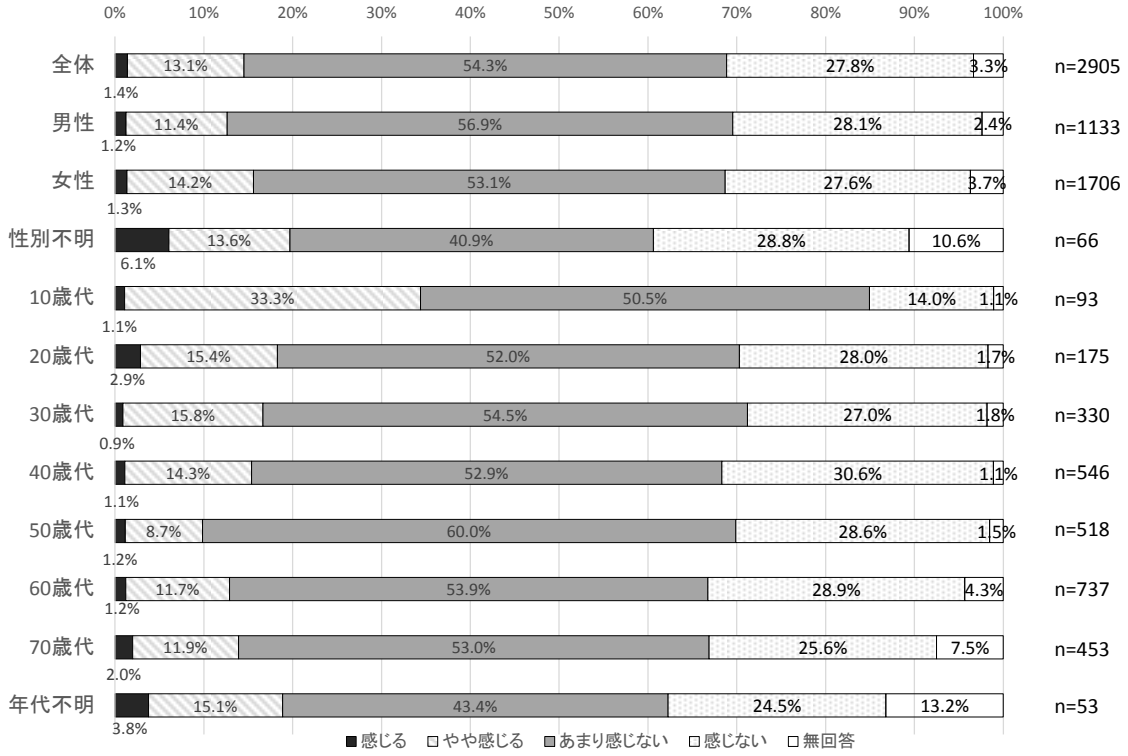
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると78.8%だった。
◆「あまり感じない」は女性の方が高く、49.4%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは50歳代で56.4%。最も低かったのは10歳代で40.9%だった。

（２１）市内に観光名所が増えてきており、前橋の特性や魅力を活かした観光振興が行われている。（重要度）



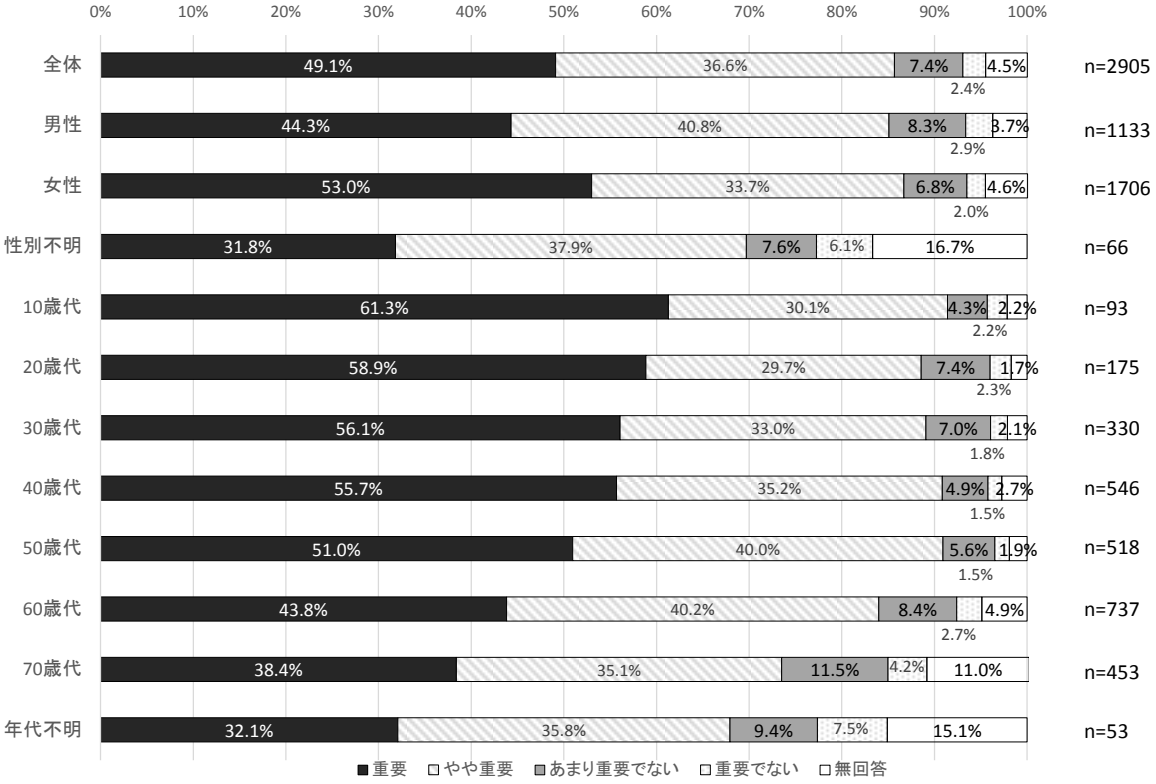
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると78.1%だった。
◆「やや重要」は男性の方が高く、49.8%だった。
◆「重要」と「やや重要」の合計は年代で大きな差はなかったが、70歳代が72.6%と低かった。

（２２）市内に職を求める人が希望通りの雇用形態で就職できている。（満足度）



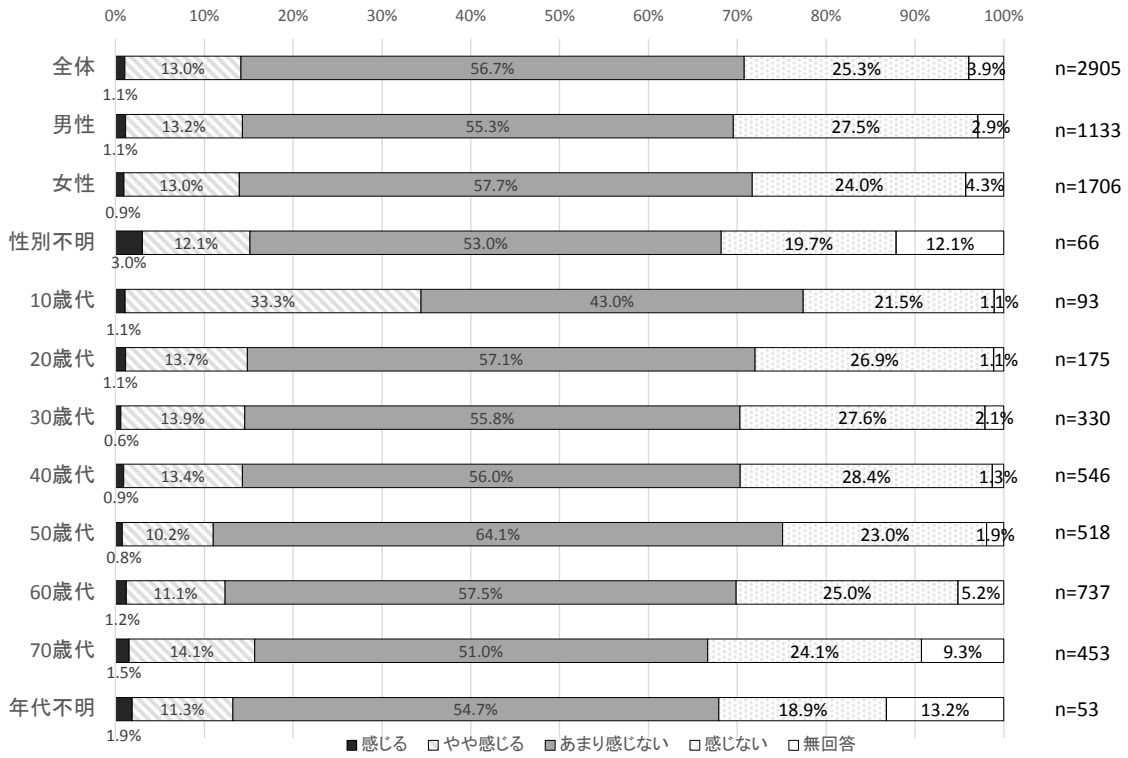
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると82.1%だった。
◆「あまり感じない」は男性の方が高く、56.9%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは50歳代で60.0%。最も低かったのは10歳代で50.5%だった。

（２２）市内に職を求める人が希望通りの雇用形態で就職できている。（重要度）



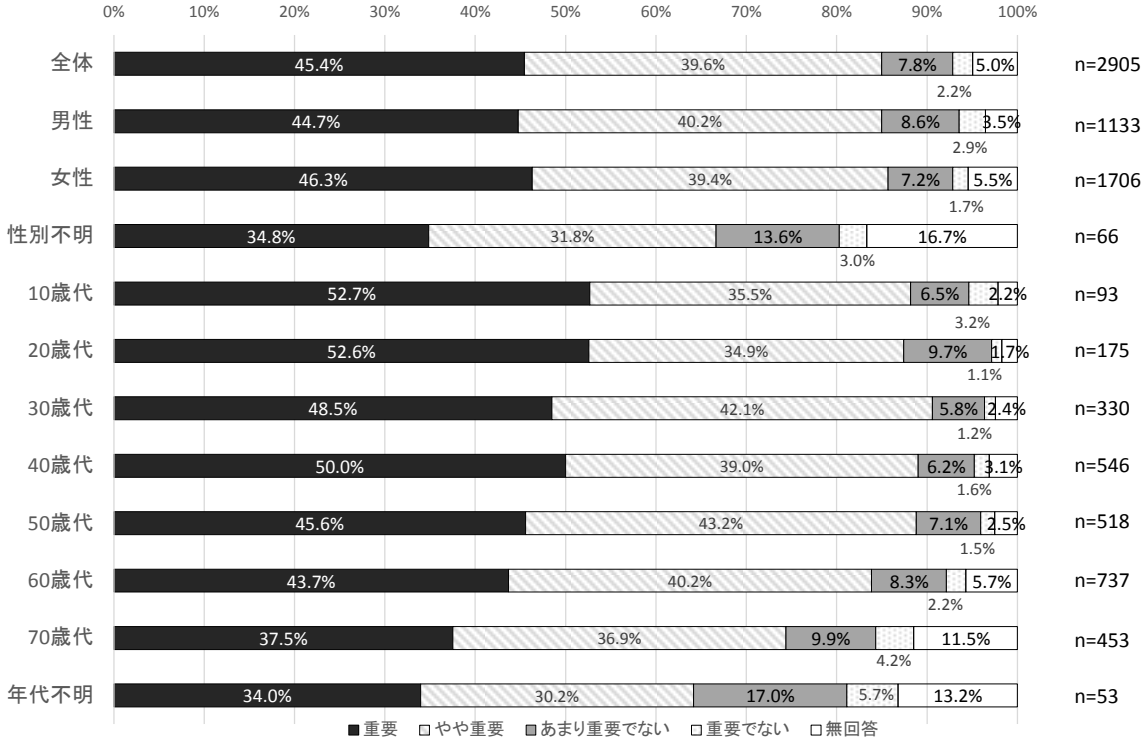
◆全体では「重要」が最も多く、「やや重要」と合わせると85.7%だった。
◆「重要」は女性の方が高く、53.0%だった。
◆「重要」の割合が最も高かったのは10歳代で61.3%。最も低かったのは70歳代で38.4%だった。

（２３）将来の市内産業を担う人材が育っている。（満足度）



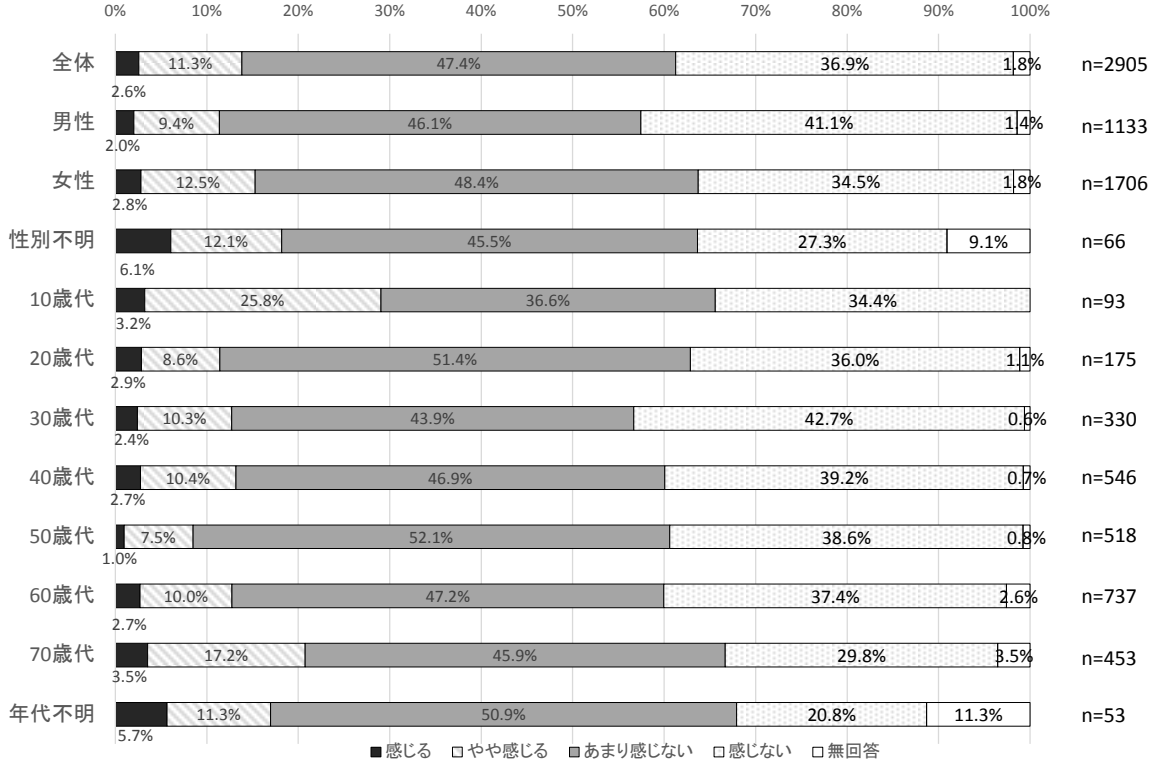
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると82.0%だった。
◆「あまり感じない」は女性の方が高く、57.7%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは50歳代で64.1%。最も低かったのは10歳代で43.0%だった。

（２３）将来の市内産業を担う人材が育っている。（重要度）



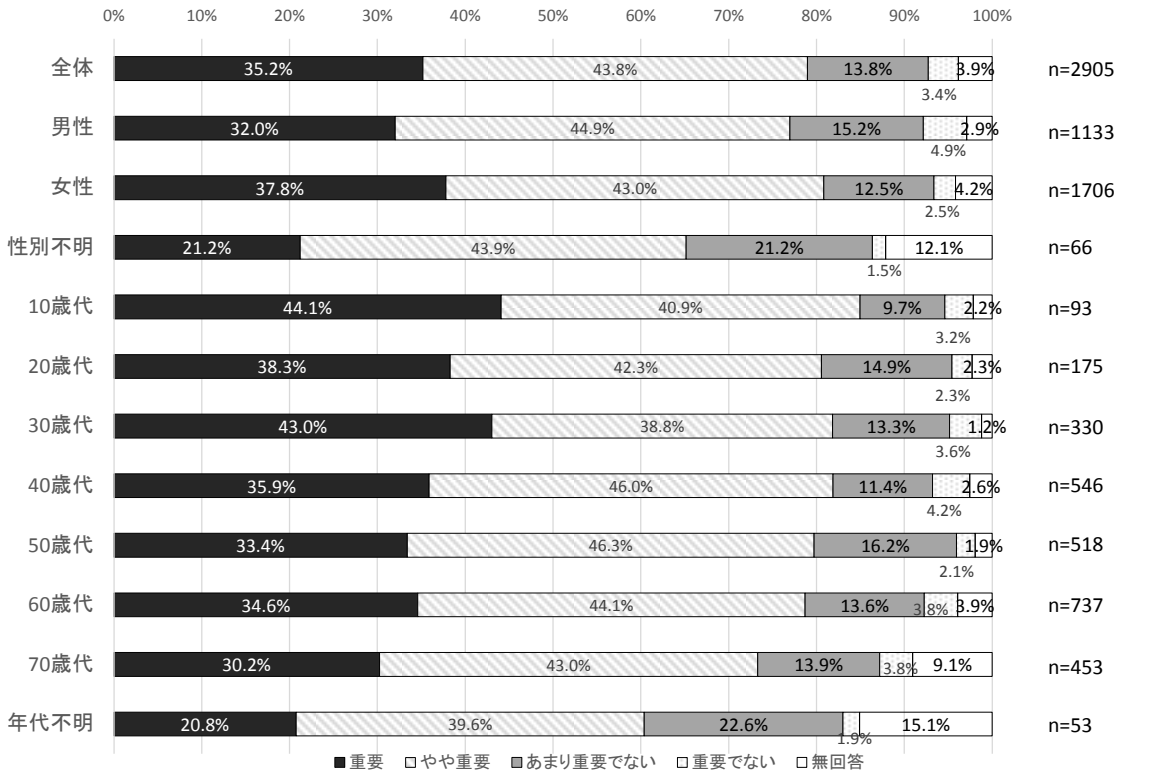
◆全体では「重要」が最も多く、「やや重要」と合わせると85.0%だった。
◆「重要」は女性の方が高く、46.3%だった。
◆「重要」と「やや重要」の合計は年代で大きな差はなかったが、70歳代が74.4%と低かった。

（２４）前橋のことが県内の人に広く知られ、良いイメージである。（満足度）



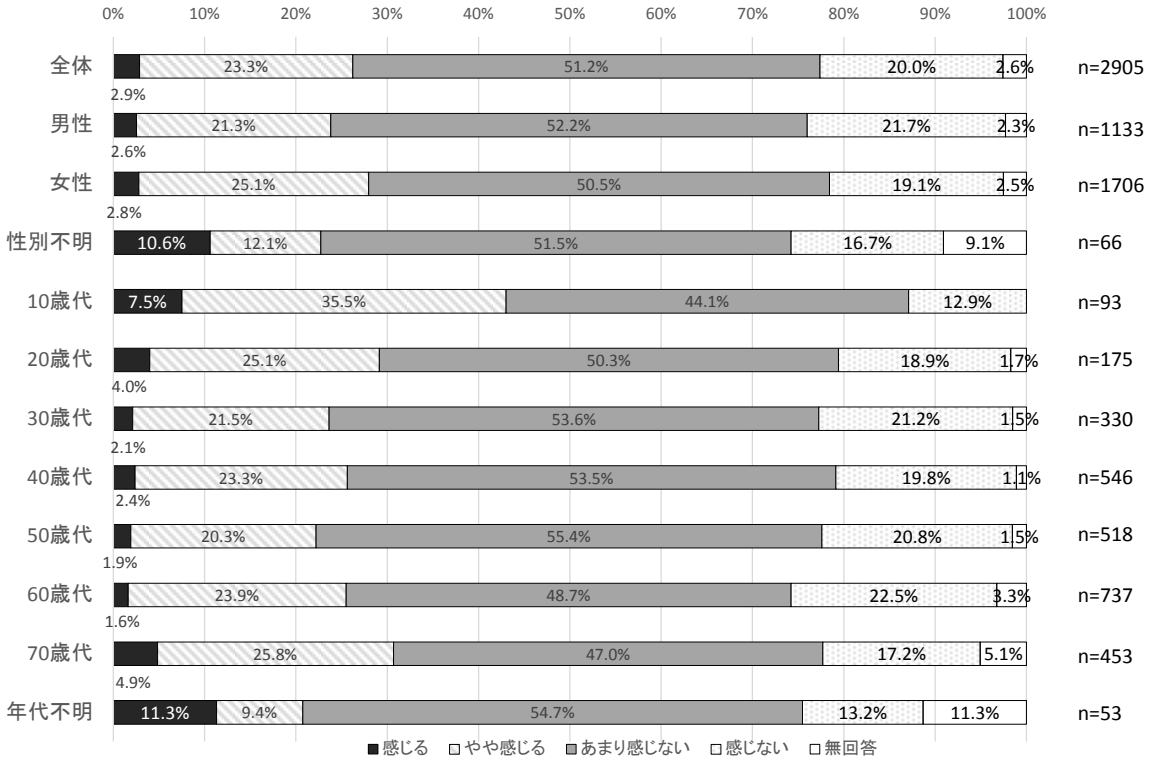
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると84.3%だった。
◆「あまり感じない」は女性の方が高く、48.4%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは50歳代で52.1%。最も低かったのは10歳代で36.6%だった。

（２４）前橋のことが県内の人に広く知られ、良いイメージである。（重要度）



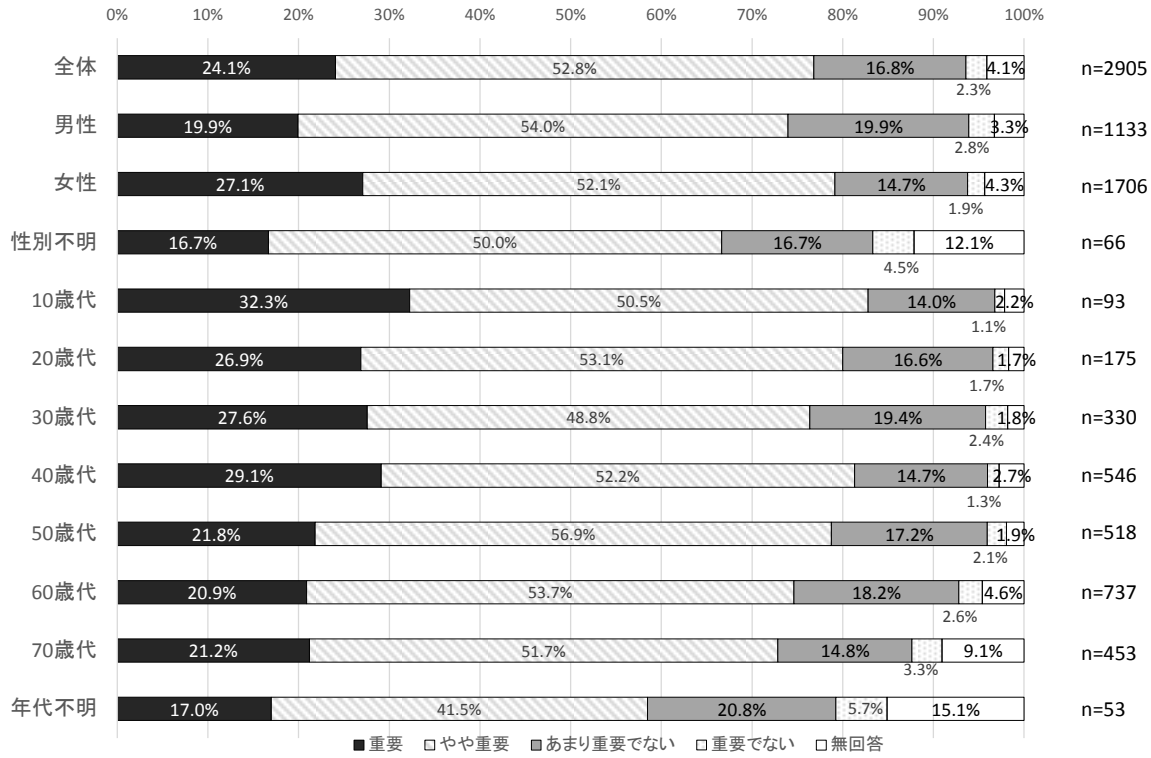
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると79.0%だった。
◆「やや重要」は男性の方が高く、44.9%だった。
◆「重要」と「やや重要」の合計は年代で大きな差はなかったが、70歳代が73.2%と低かった。

（２５）社会の問題や興味のあることを学べる場や機会が、身近な場所で得られる。（満足度）



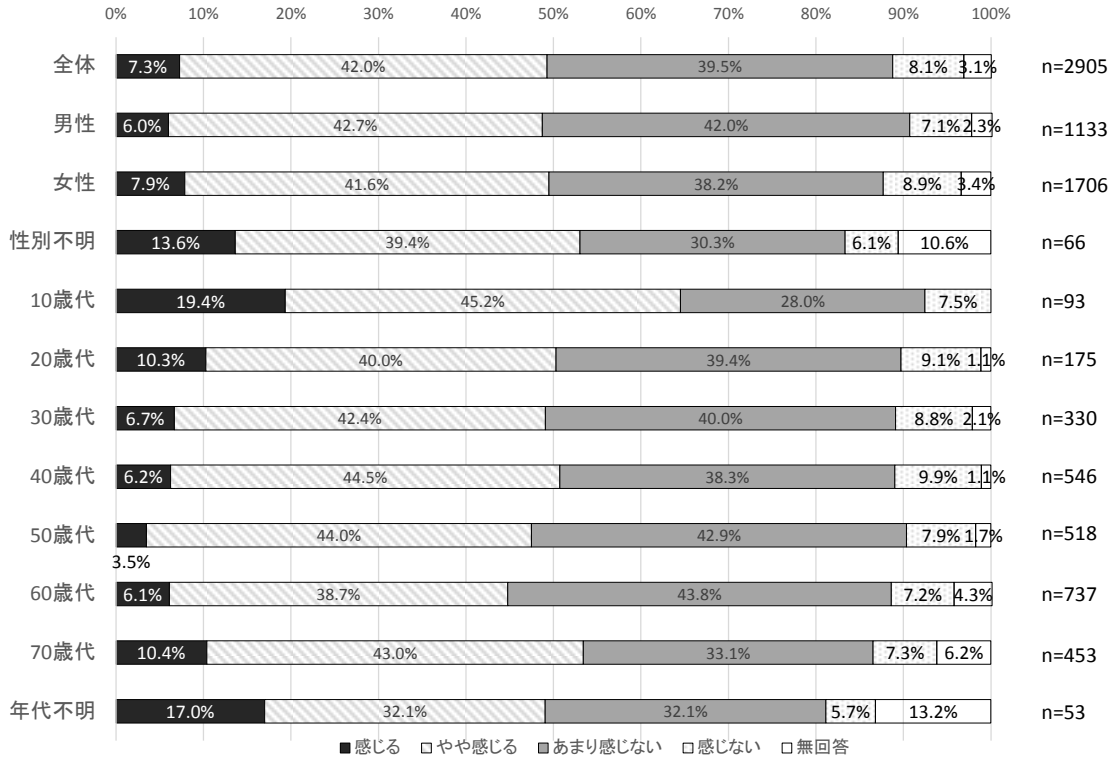
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると71.2%だった。
◆「あまり感じない」は男性の方が高く、52.2%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは50歳代で55.4%。最も低かったのは10歳代で44.1%だった。

（２５）社会の問題や興味のあることを学べる場や機会が、身近な場所で得られる。（重要度）



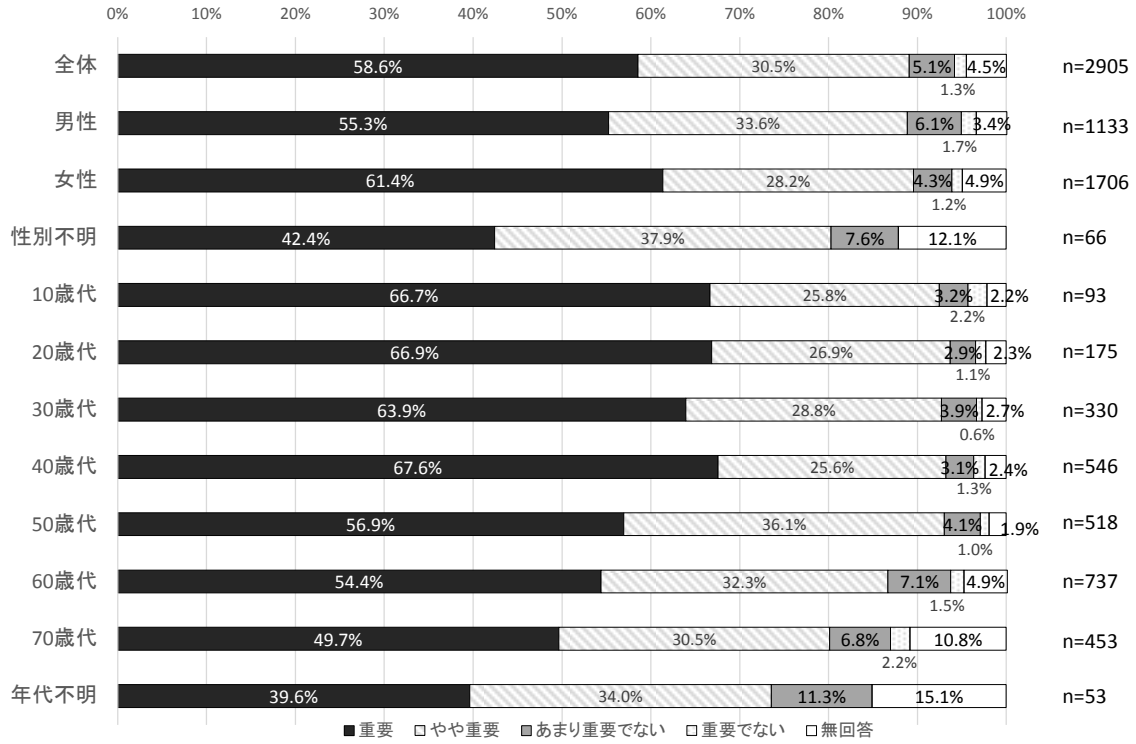
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると76.9%だった。
◆「やや重要」は男性の方が高く、54.0%だった。
◆「重要」と「やや重要」の合計は年代で大きな差はなかったが、70歳代が72.9%と低かった。

（２６）子どもたちが確かな学力を身に付け、心身ともに成長できるよう学校教育が行われている。（満足度）



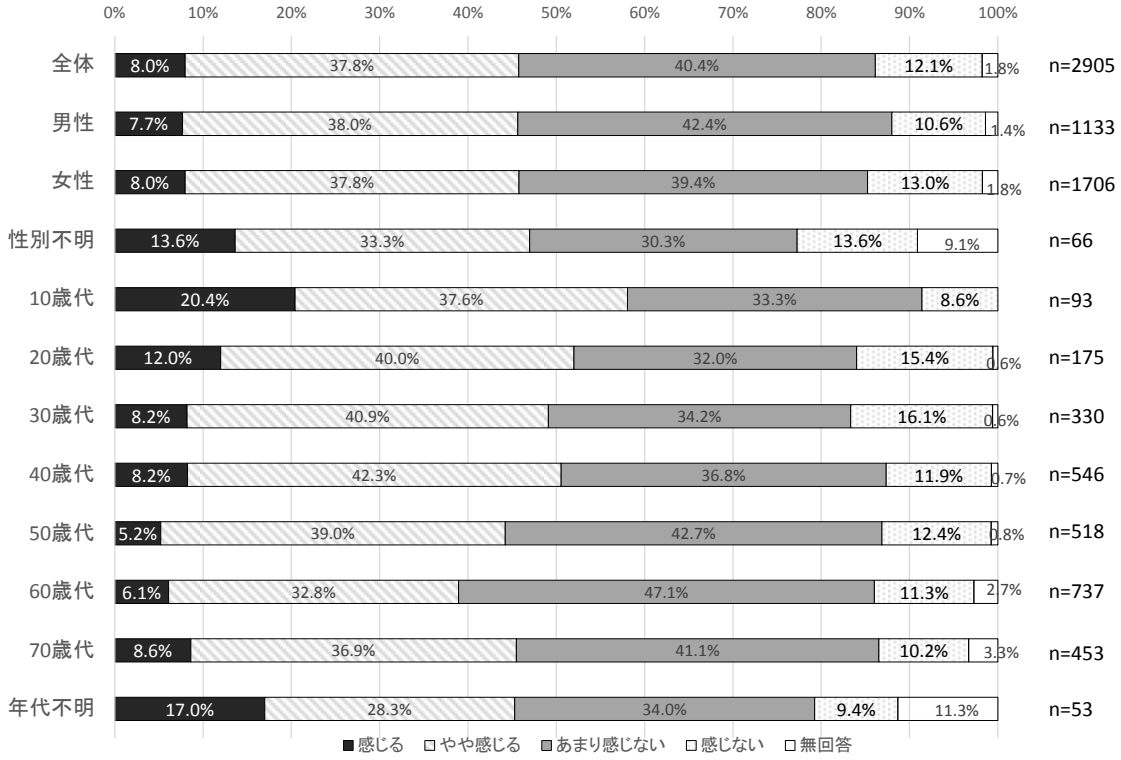
◆全体では「やや感じる」が最も多く、「感じる」と合わせると49.3%だった。
◆「やや感じる」は男性の方が高く、42.7%だった。
◆「やや感じる」の割合が最も高かったのは10歳代で45.2%。最も低かったのは60歳代で38.7%だった。

（２６）子どもたちが確かな学力を身に付け、心身ともに成長できるよう学校教育が行われている。（重要度）



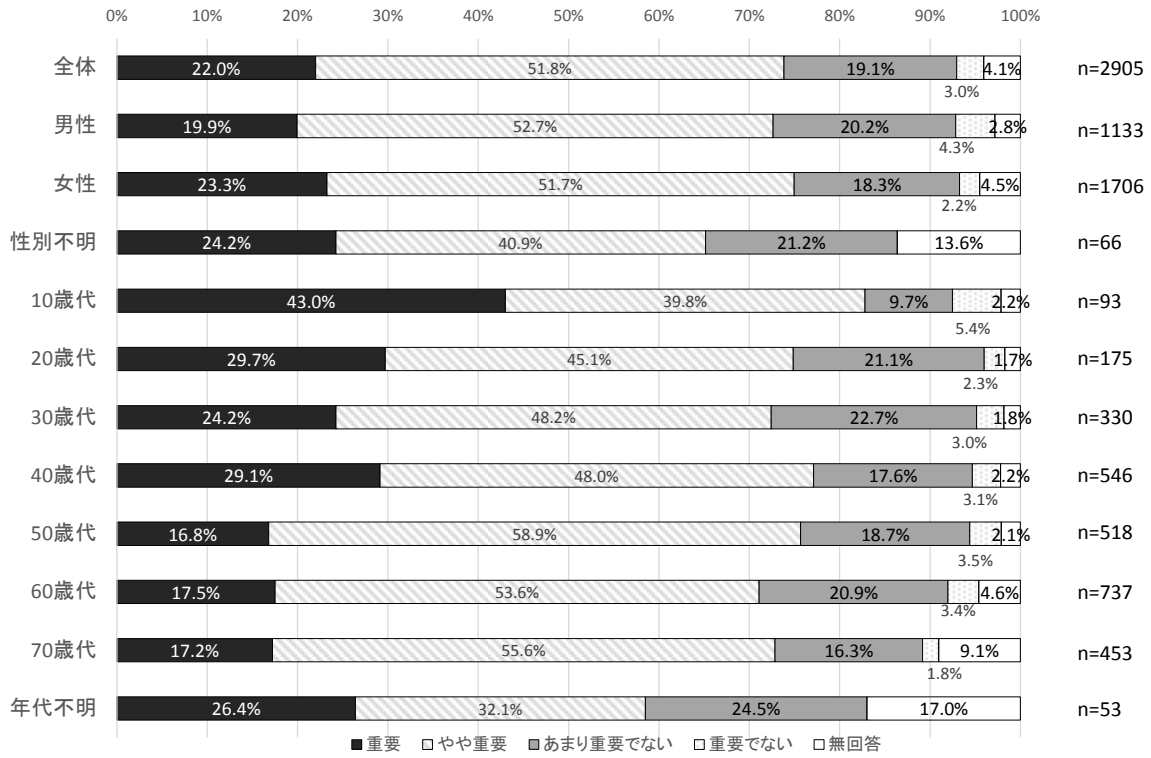
◆全体では「重要」が最も多く、「やや重要」と合わせると89.1%だった。
◆「重要」は女性の方が高く、61.4%だった。
◆「重要」の割合が最も高かったのは40歳代で67.6%。最も低かったのは70歳代で49.7%だった。

（２７）スポーツを行う、観戦するなど気軽にスポーツを親しむことができる。（満足度）



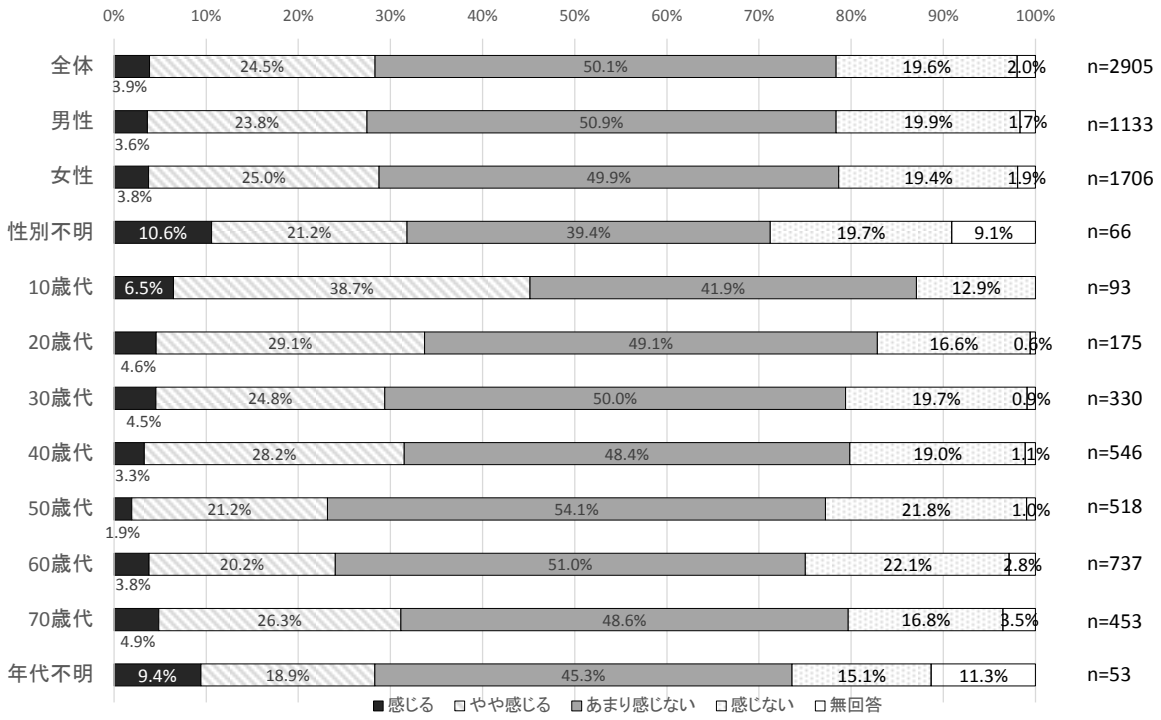
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると52.5%だった。
◆「あまり感じない」は男性の方が高く、42.4%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは60歳代で47.1%。最も低かったのは20歳代で32.0%だった。

（２７）スポーツを行う、観戦するなど気軽にスポーツを親しむことができる。（重要度）



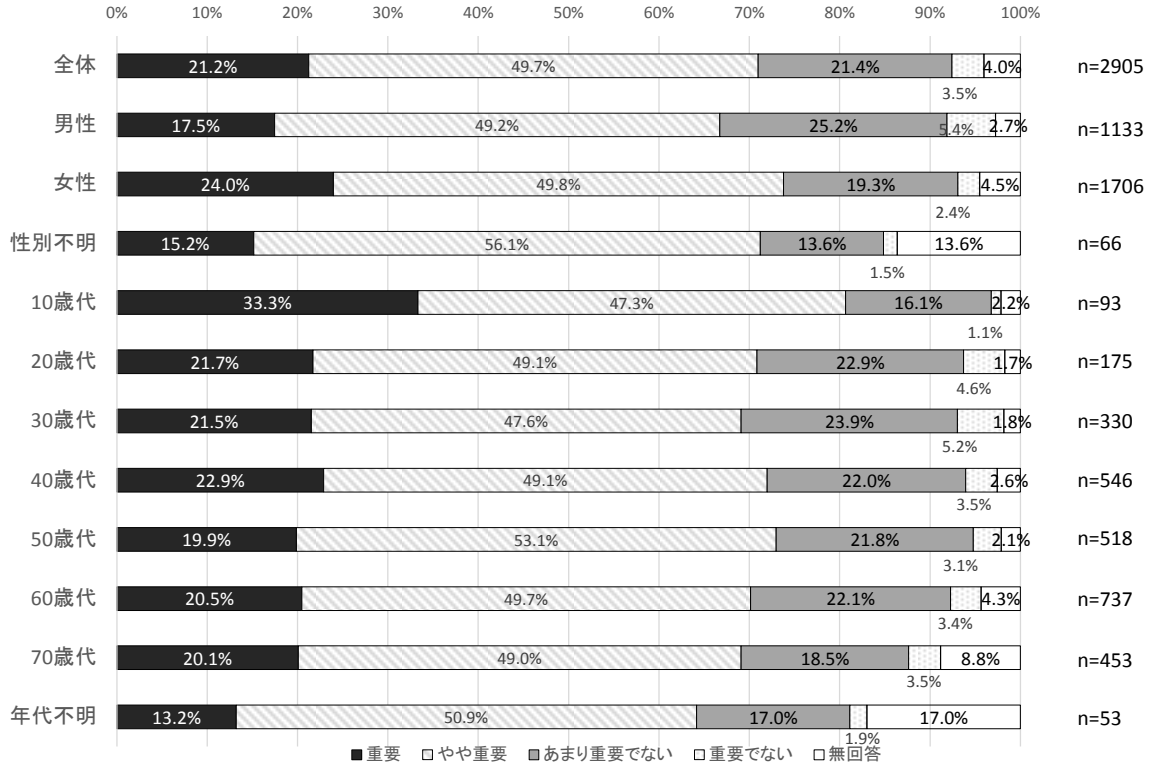
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると73.8%だった。
◆「やや重要」は男性の方が高く、52.7%だった。
◆「重要」と「やや重要」の合計は年代で大きな差はなかった。

（２８）優れた芸術・文化に触れる環境が整っている。（満足度）



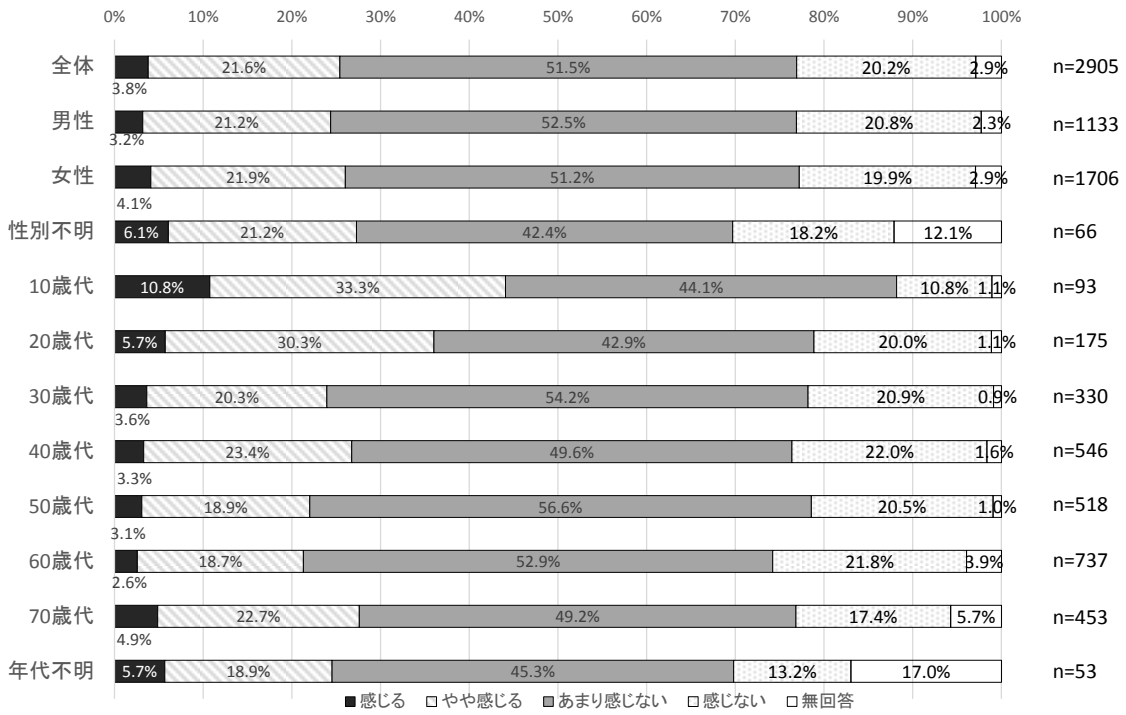
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると69.7%だった。
◆「あまり感じない」は男性の方が高く、50.9%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは50歳代で54.1%。最も低かったのは10歳代で41.9%だった。

（２８）優れた芸術・文化に触れる環境が整っている。（重要度）



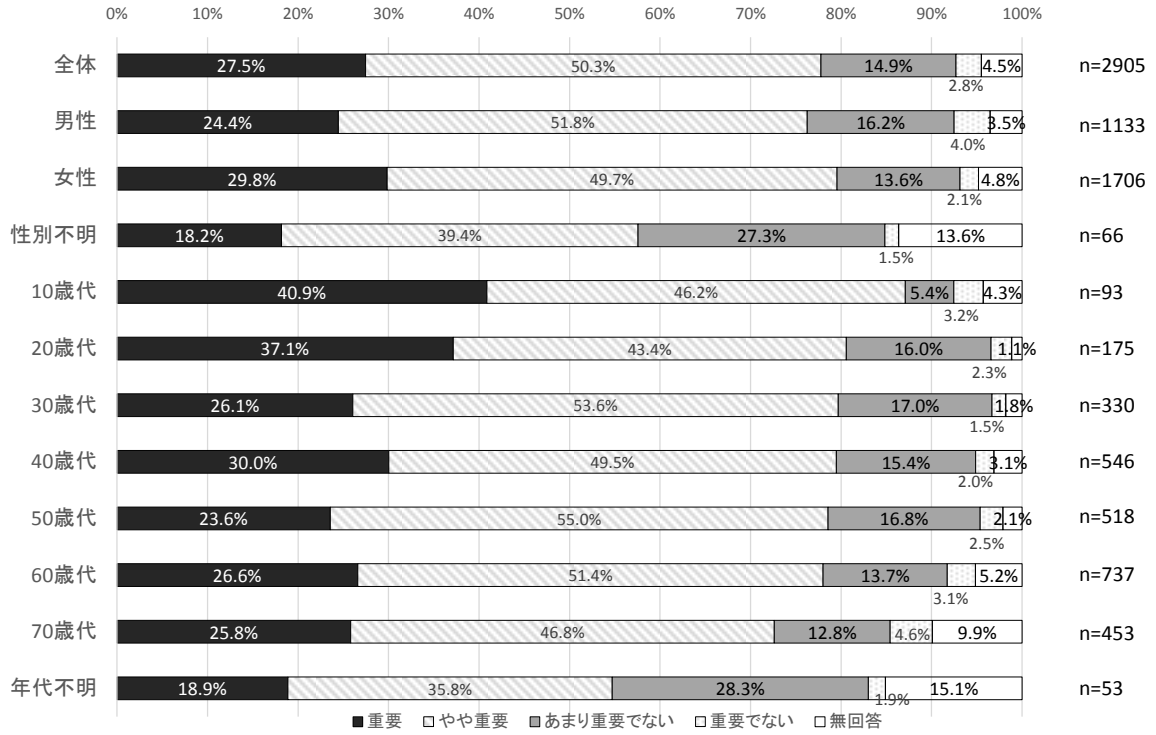
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると70.9%だった。
◆「やや重要」は女性の方が高く、49.8%だった。
◆「重要」と「やや重要」の合計は年代で大きな差はなかったが、　10歳代が80.6%と高かった。

（２９）優れた人材の育成や専門的な研究を通じて大学等が地域に貢献している。（満足度）



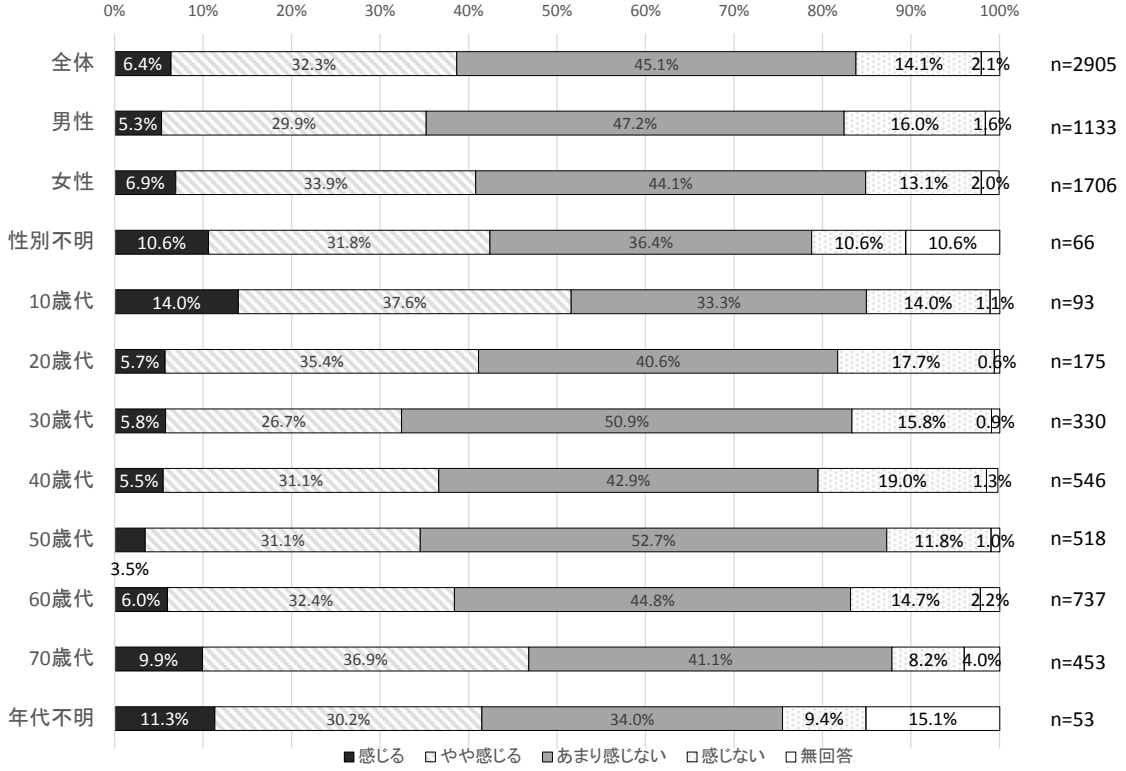
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると71.7%だった。
◆「あまり感じない」は男性の方が高く、52.5%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは50歳代で56.6%。最も低かったのは20歳代で42.9%だった。

（２９）優れた人材の育成や専門的な研究を通じて大学等が地域に貢献している。（重要度）



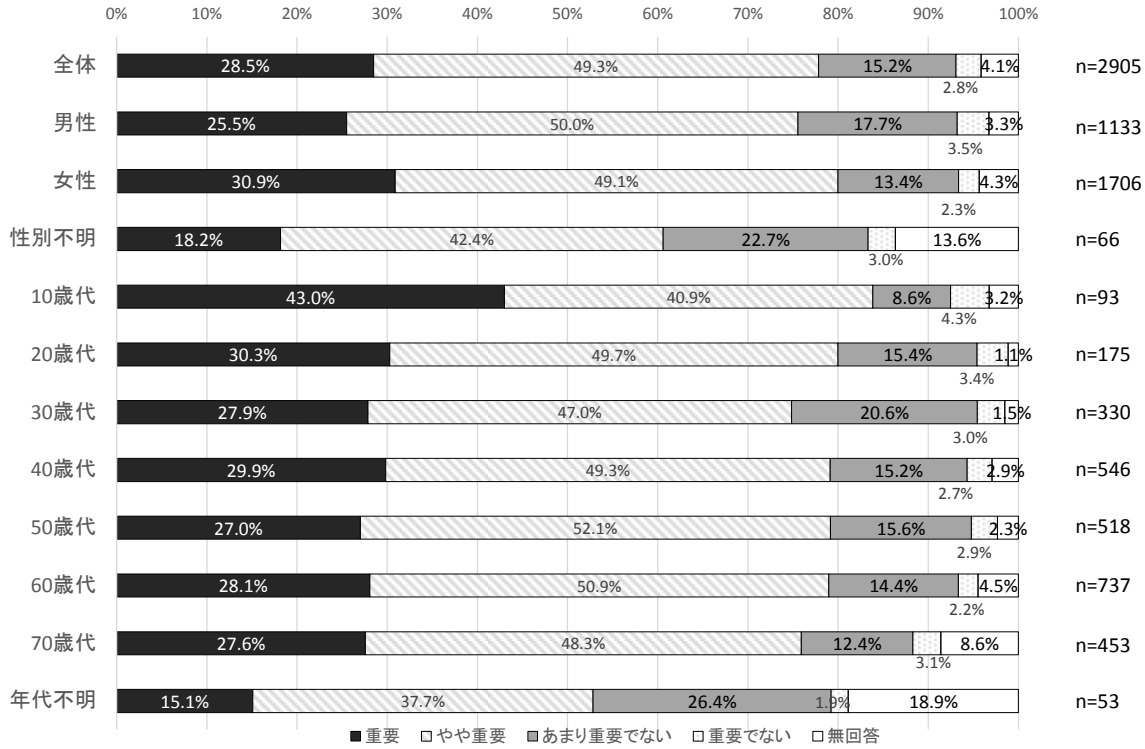
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると77.8%だった。
◆「やや重要」は男性の方が高く、51.8%だった。
◆「重要」と「やや重要」の合計が最も高かったのは10歳代で87.1%。最も低かったのは70歳代で72.6%だった。

（３０）市民が前橋の自然・歴史文化・食・風土などに誇りを持っている。（満足度）



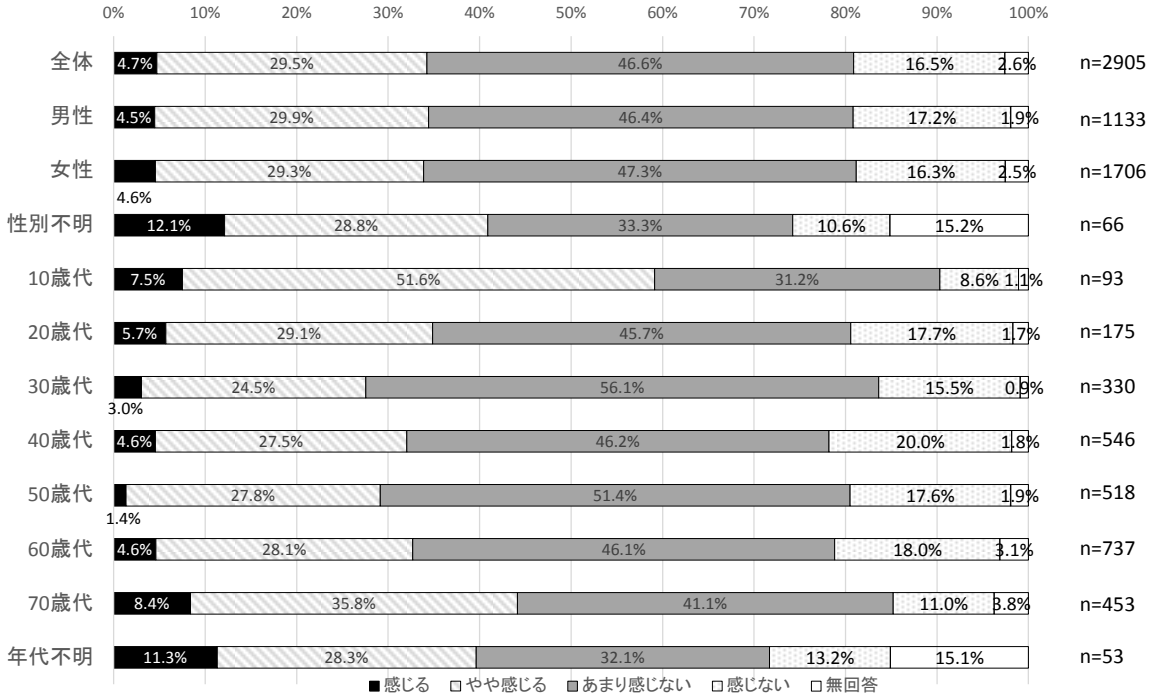
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると59.2%だった。
◆「あまり感じない」は男性の方が高く、47.2%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは50歳代で52.7%。最も低かったのは10歳代で33.3%だった。

（３０）市民が前橋の自然・歴史文化・食・風土などに誇りを持っている。（重要度）



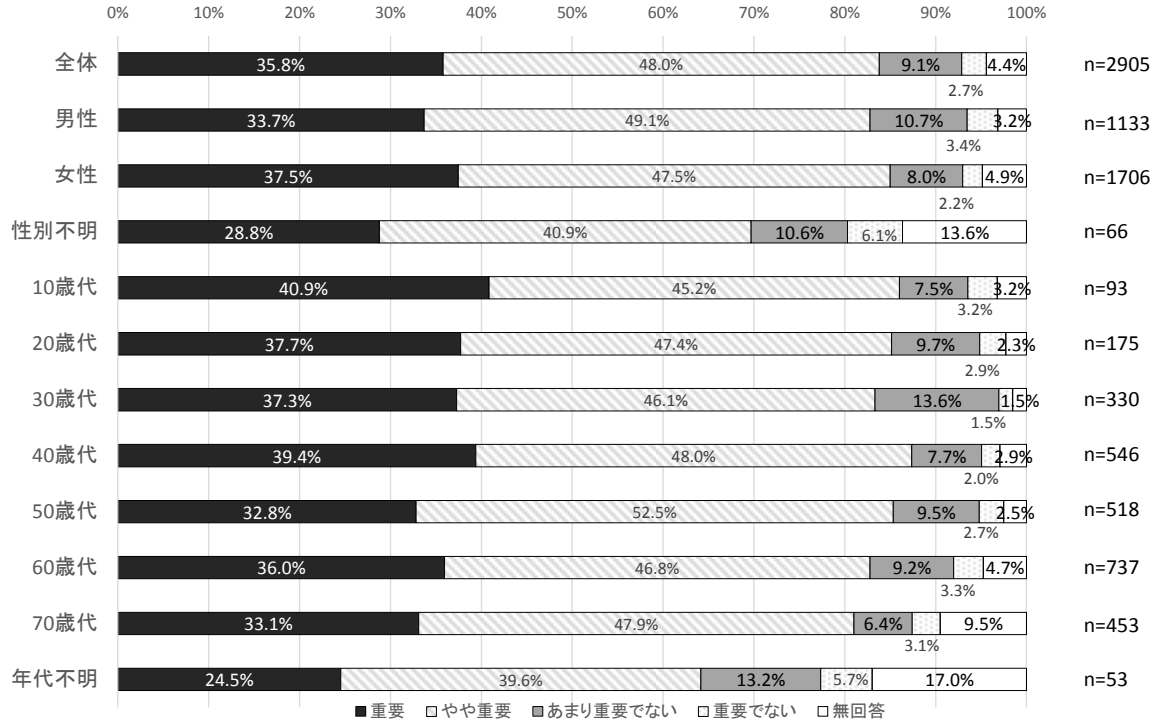
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると77.8%だった。
◆「やや重要」は男性の方が高く、50.0%だった。
◆「重要」と「やや重要」の合計が最も高かったのは10歳代で83.9%。最も低かったのは30歳代で74.9%だった。

（３１）市役所は、企業や地域と協力して、さまざまな活動に取組んでいる。（満足度）



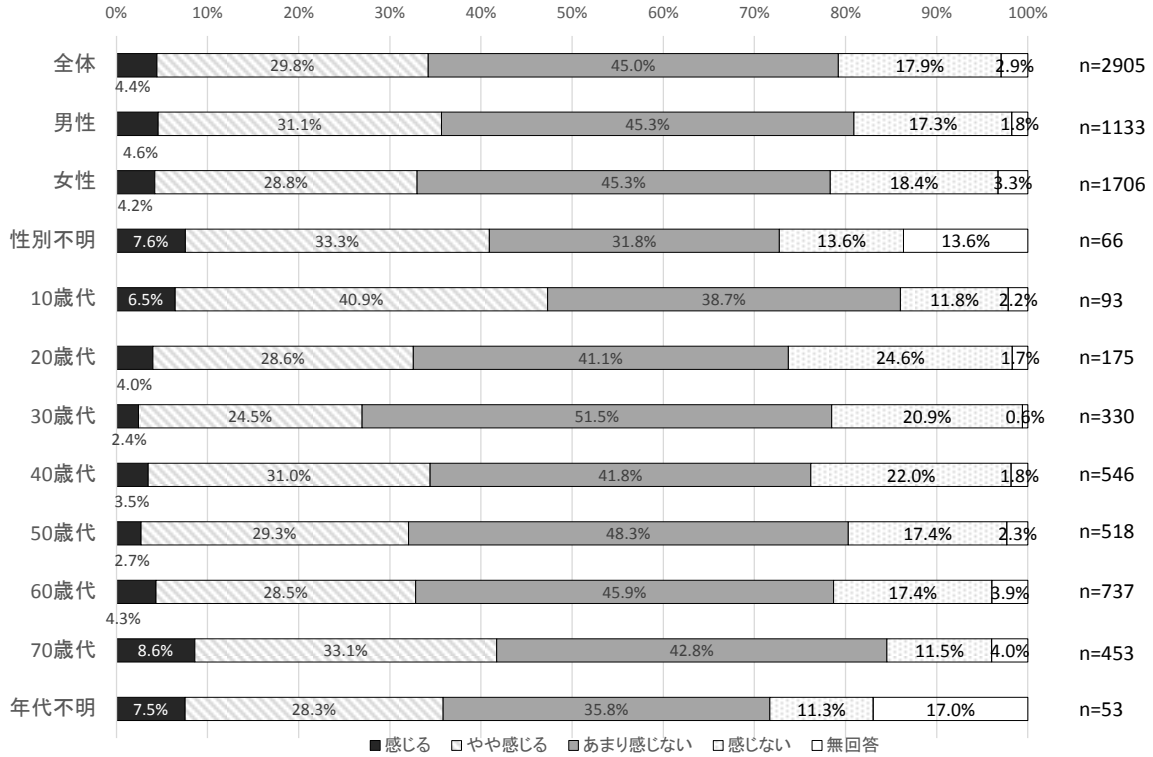
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると63.1%だった。
◆「あまり感じない」は女性の方が高く、47.3%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは30歳代で56.1%。最も低かったのは10歳代で31.2%だった。

（３１）市役所は、企業や地域と協力して、さまざまな活動に取組んでいる。（重要度）



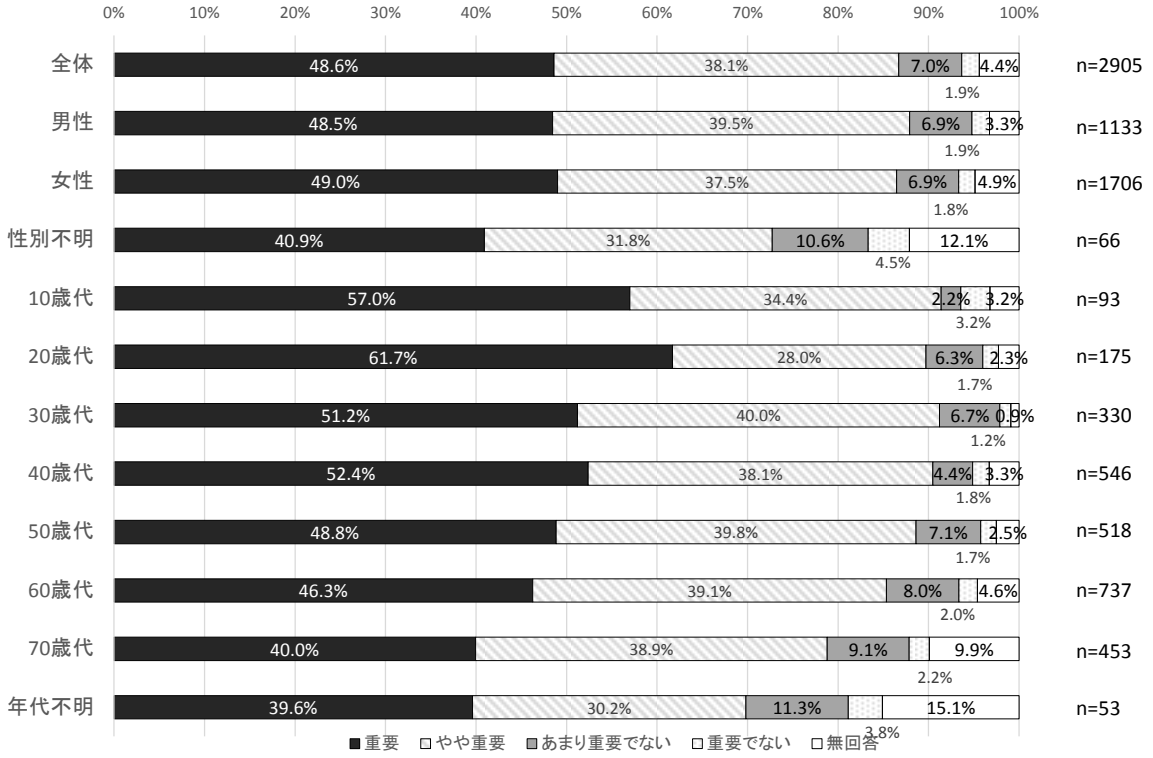
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると83.8%だった。
◆「やや重要」は男性の方が高く、49.1%だった。
◆「重要」と「やや重要」の合計は年代で大きな差はなかった。

（３２）市役所は、適性な予算で質の高い行政サービスを提供できている。（満足度）



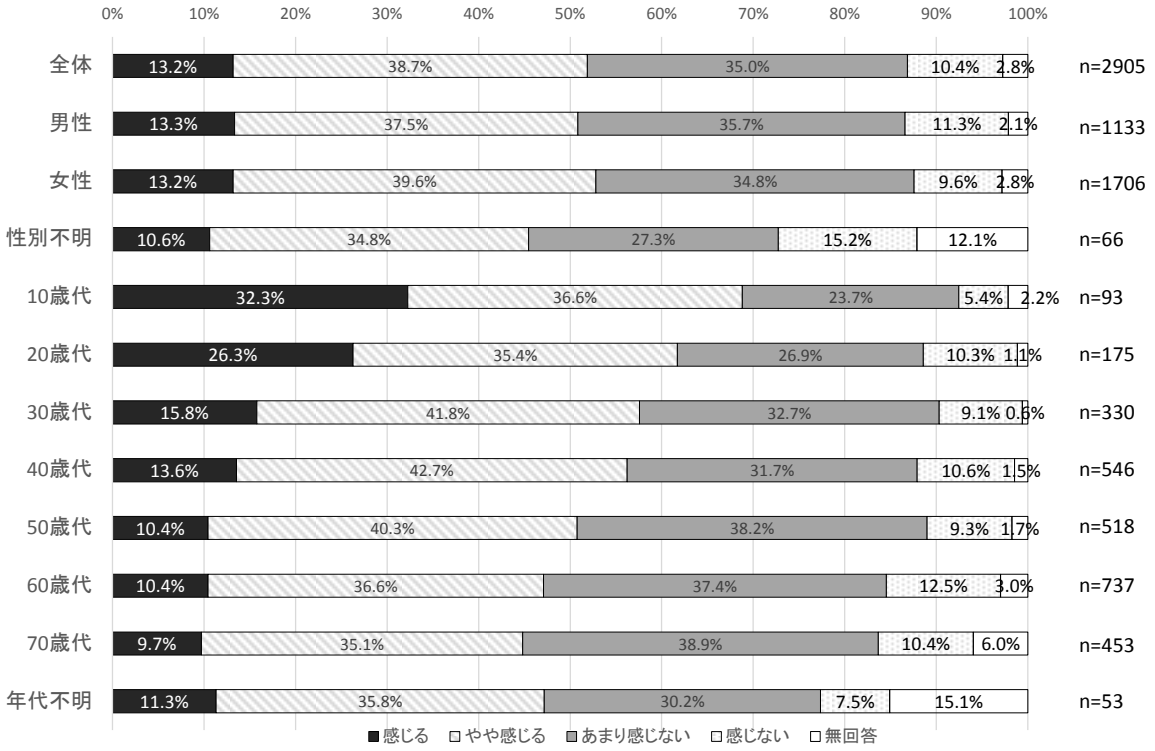
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると62.9%だった。
◆「あまり感じない」は男性と女性で同数だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは30歳代で51.5%。最も低かったのは10歳代で38.7%だった。

（３２）市役所は、適性な予算で質の高い行政サービスを提供できている。（重要度）



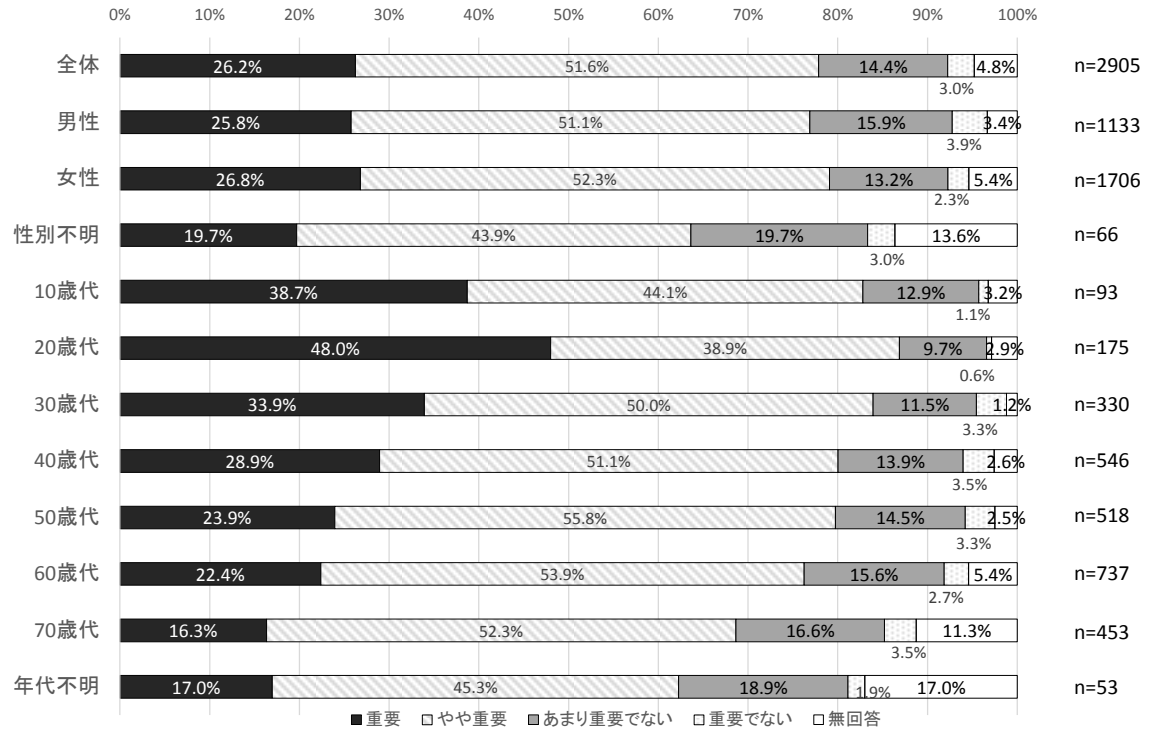
◆全体では「重要」が最も多く、「やや重要」と合わせると86.7%だった。
◆「重要」は女性の方が高く、49.0%だった。
◆「重要」の割合が最も高かったのは20歳代で61.7%。最も低かったのは70歳代で40.0%だった。

（３３）日々の暮らしや、まちづくりの中で、パソコンや携帯電話などの情報通信機器が活用されている。（満足度）



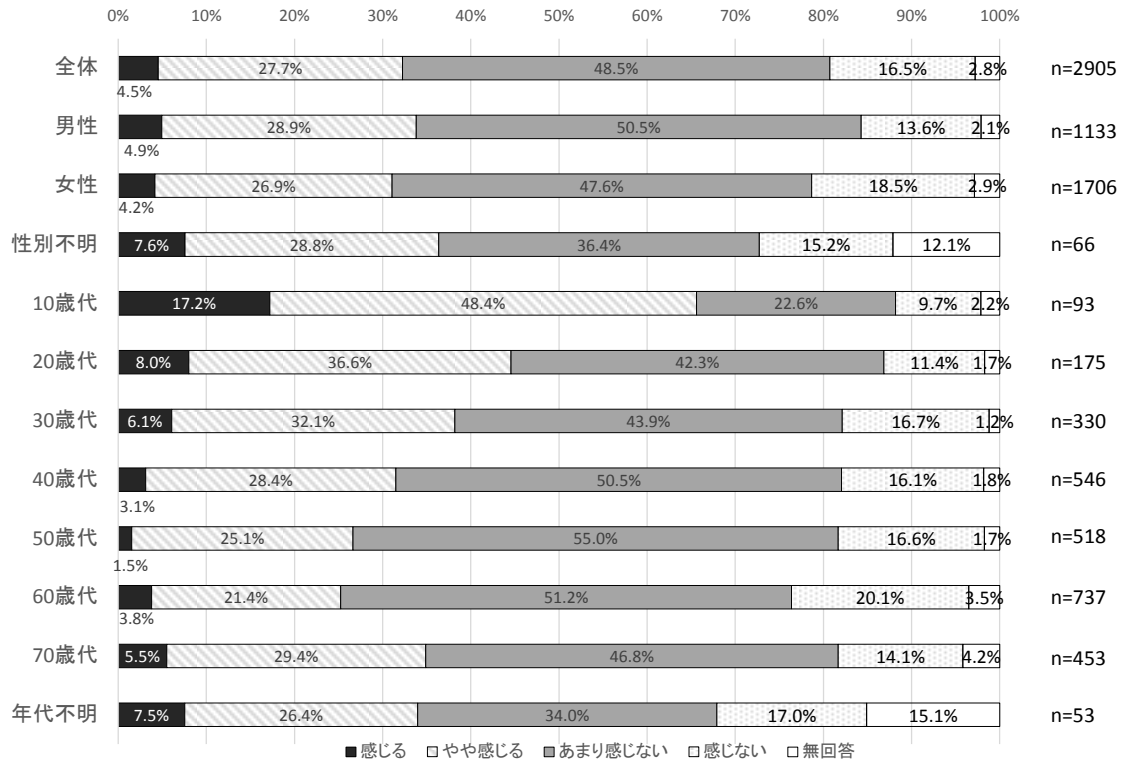
◆全体では「やや感じる」が最も多く、「感じる」と合わせると51.9%だった。
◆「やや感じる」は女性の方が高く、39.6%だった。
◆「やや感じる」の割合が最も高かったのは40歳代で42.7%。最も低かったのは70歳代で35.1%だった。

（３３）日々の暮らしや、まちづくりの中で、パソコンや携帯電話などの情報通信機器が活用されている。（重要度）



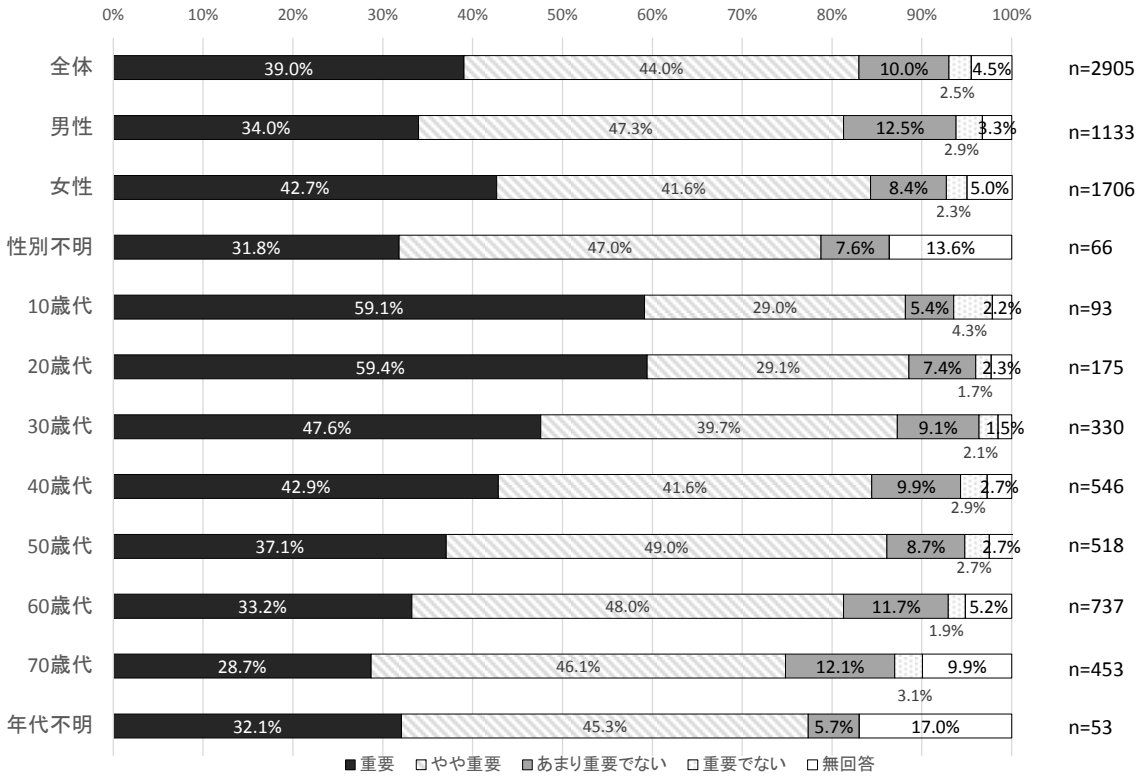
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると77.8%だった。
◆「やや重要」は女性の方が高く、52.3%だった。
◆「重要」と「やや重要」の合計が最も高かったのは20歳代で86.9%。最も低かったのは70歳代で68.6%だった。

（３４）女性も男性も等しく、個性と能力を十分に発揮できる社会である。（満足度）



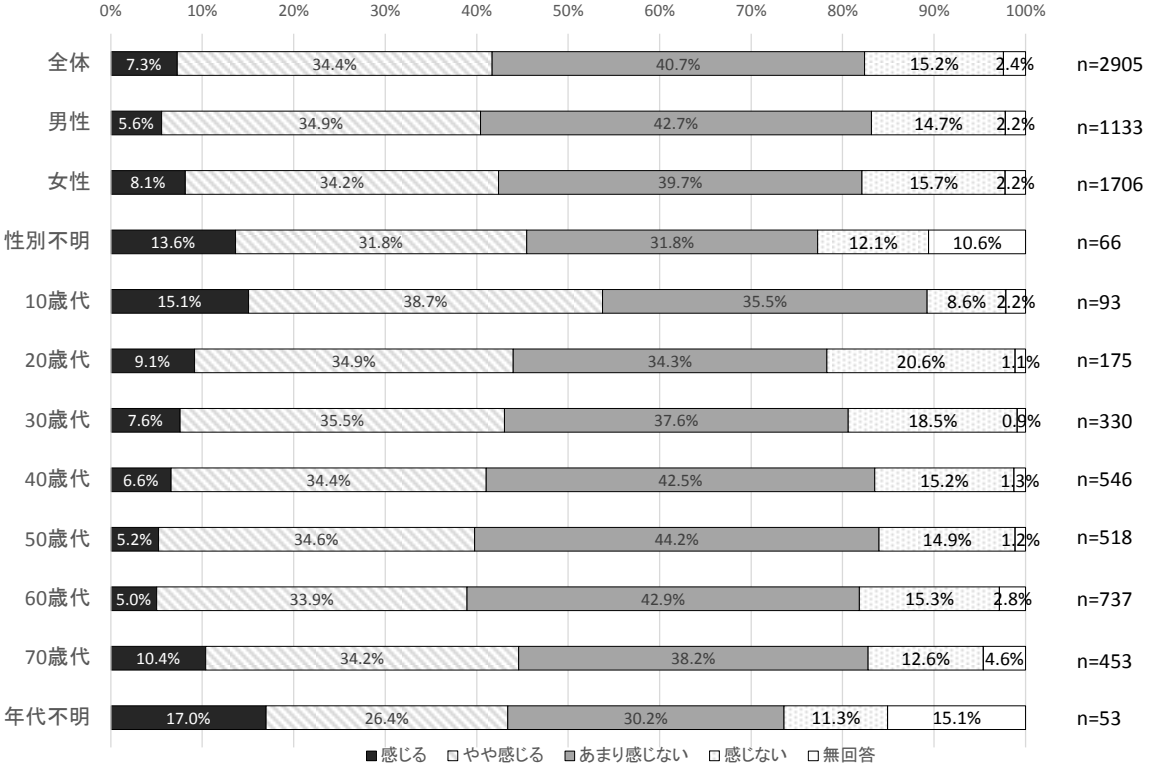
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると65.0%だった。
◆「あまり感じない」は男性の方が高く、50.5%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは50歳代で55.0%。最も低かったのは10歳代で22.6%だった。

（３４）女性も男性も等しく、個性と能力を十分に発揮できる社会である。（重要度）



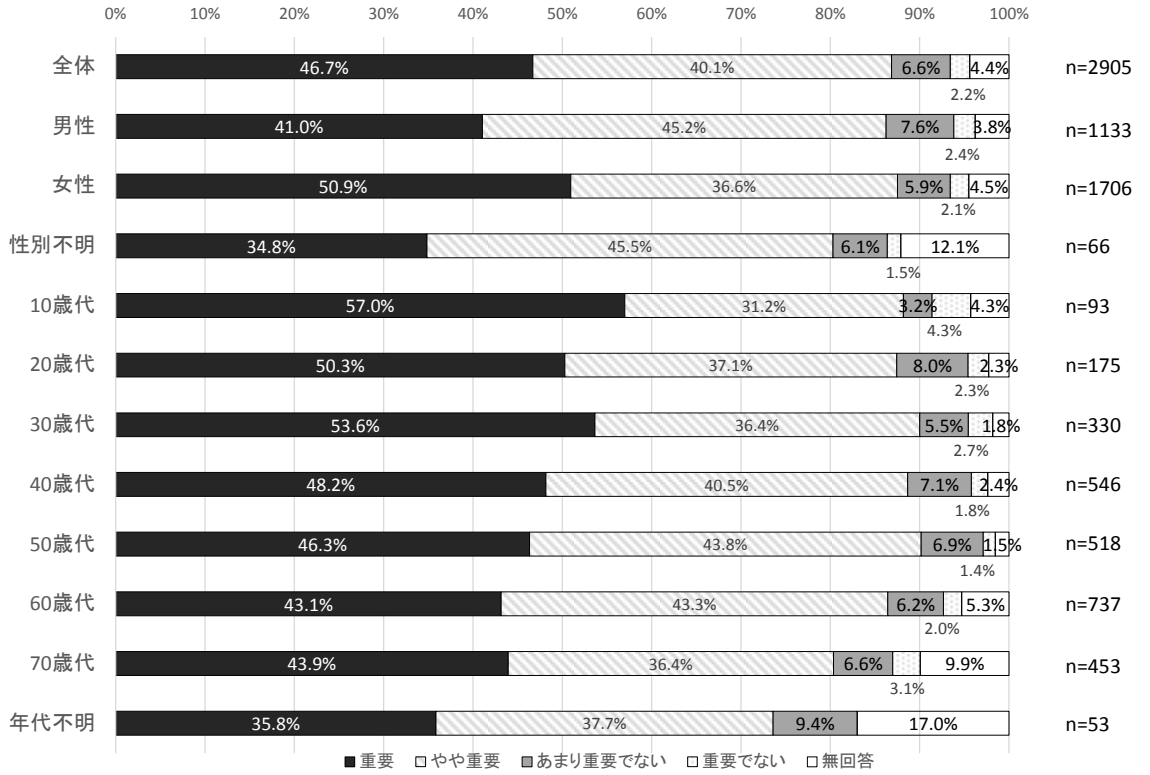
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると83.0%だった。
◆「重要」は女性の方が高く、42.7%だった。
◆「重要」と「やや重要」の合計は年代で大きな差はなかったが、70歳代が74.8%と低かった。

（３５）近隣住民同士が困ったときには支え合える地域社会である。（満足度）



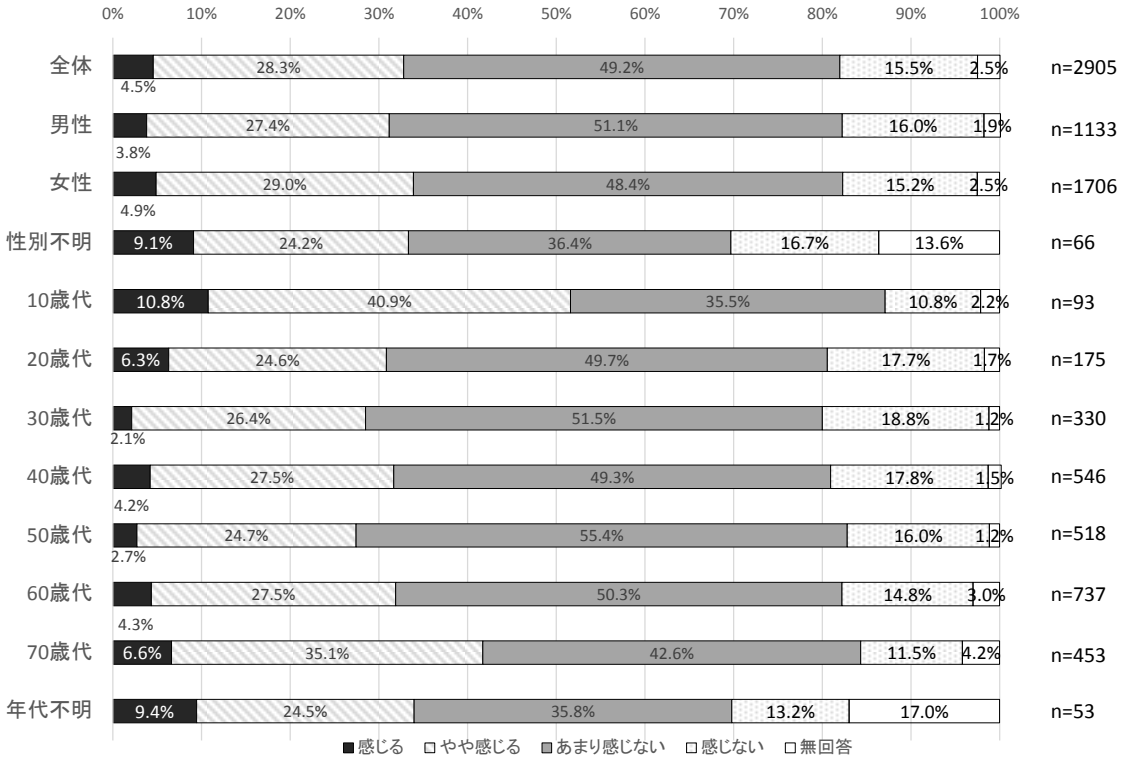
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると55.9%だった。
◆「あまり感じない」は男性の方が高く、42.7%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは50歳代で44.2%。最も低かったのは20歳代で34.3%だった。

（３５）近隣住民同士が困ったときには支え合える地域社会である。（重要度）



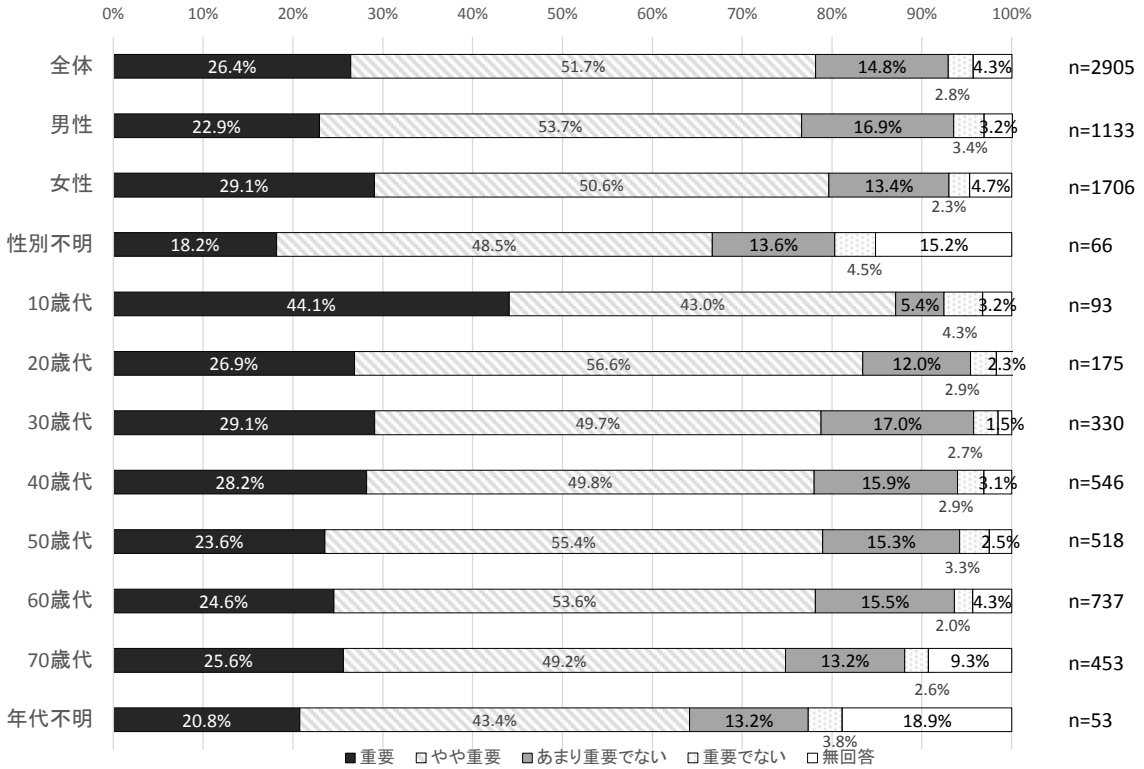
◆全体では「重要」が最も多く、「やや重要」と合わせると86.8%だった。
◆「重要」は女性の方が高く、50.9%だった。
◆「重要」と「やや重要」の合計は年代で大きな差はなかった。

（３６）NPO、ボランティア、地域づくり、自治会などの市民活動に参加しやすい社会である。（満足度）



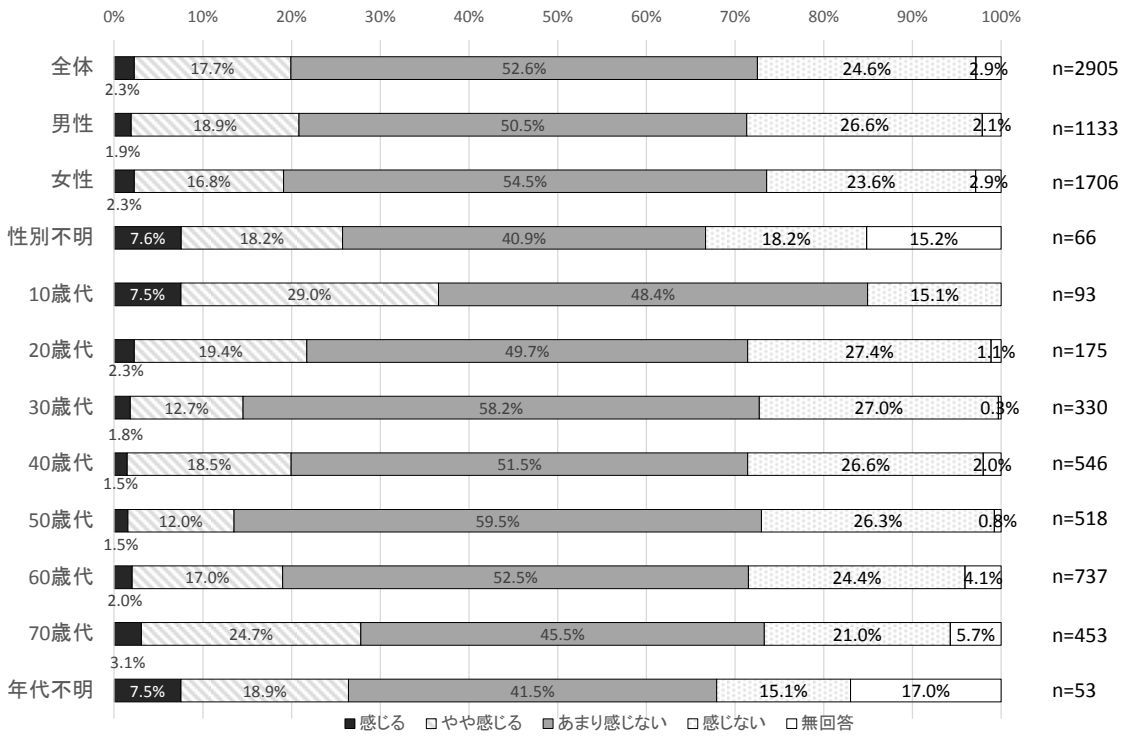
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると64.7%だった。
◆「あまり感じない」は男性の方が高く、51.1%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは50歳代で55.4%。最も低かったのは10歳代で35.5%だった。

（３６）NPO、ボランティア、地域づくり、自治会などの市民活動に参加しやすい社会である。（重要度）



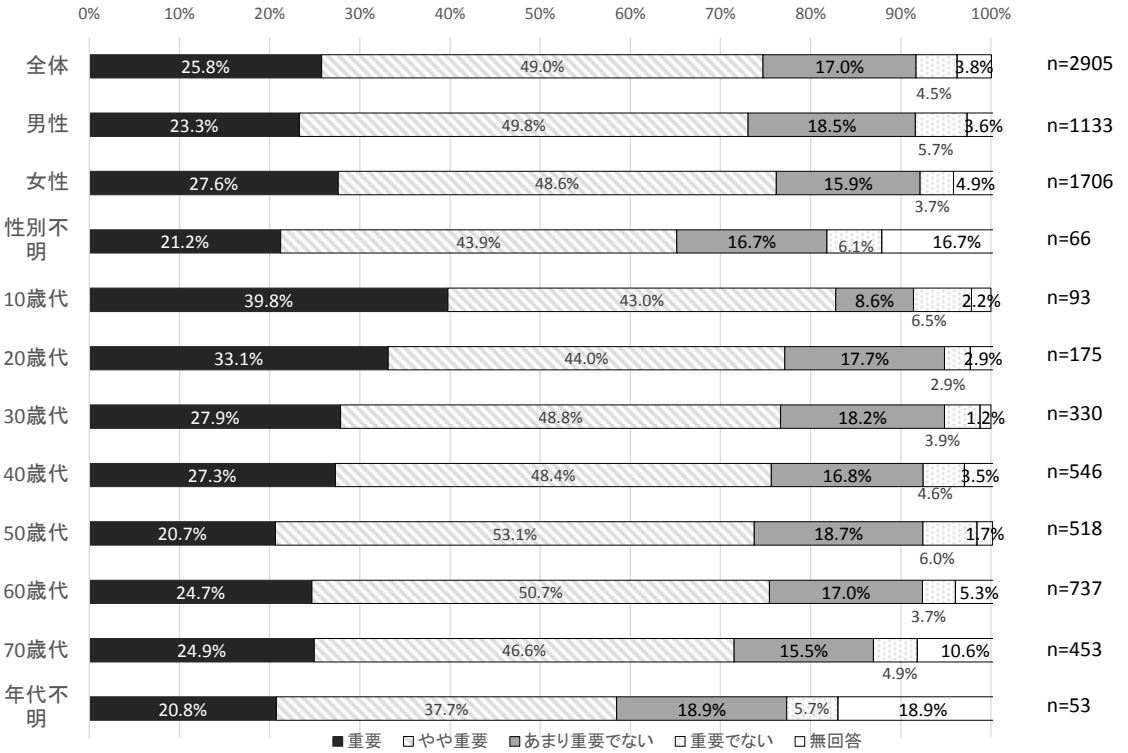
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると78.1%だった。
◆「やや重要」は男性の方が高く、53.7%だった。
◆「重要」と「やや重要」の合計が最も高かったのは10歳代で87.1%。最も低かったのは70歳代で74.8%だった。

（３７）合併や中核市に移行したことによって、人々の交流が盛んになり、全市域がバランス良く発展している。
（満足度）



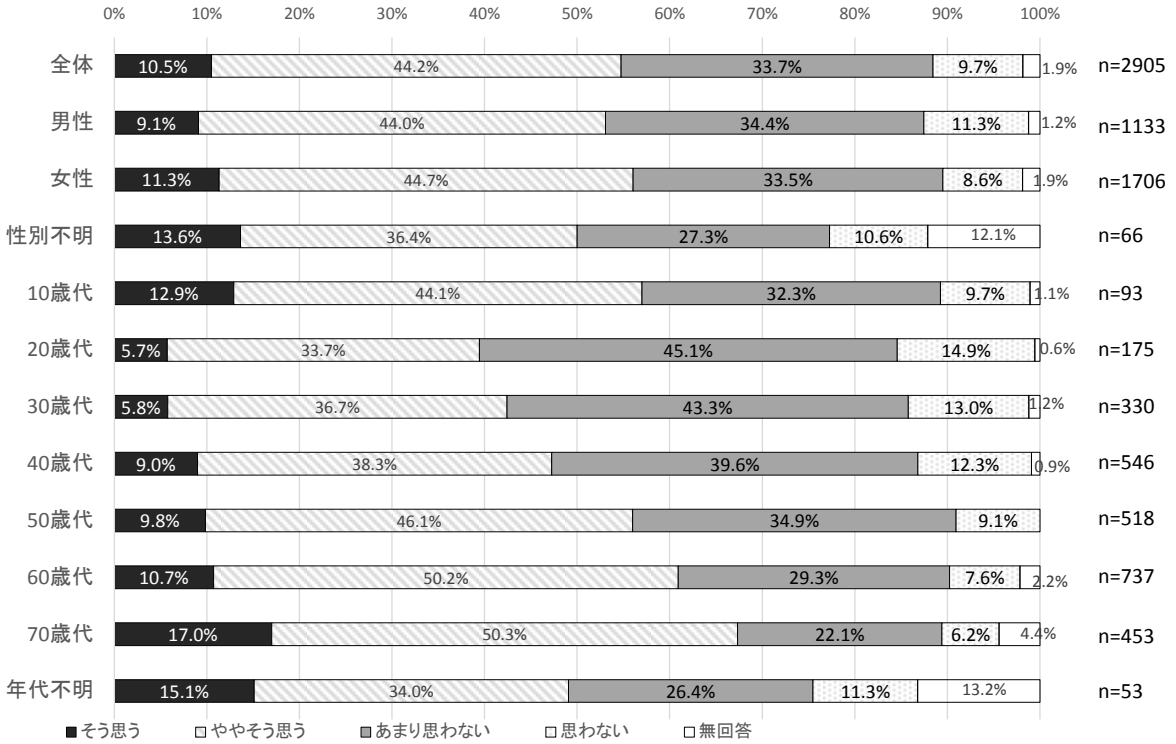
◆全体では「あまり感じない」が最も多く、「感じない」と合わせると77.2%だった。
◆「あまり感じない」は女性の方が高く、54.5%だった。
◆「あまり感じない」の割合が最も高かったのは50歳代で59.5%。最も低かったのは70歳代で45.5%だった。

（３７）合併や中核市に移行したことによって、人々の交流が盛んになり、全市域がバランス良く発展している。
（重要度）



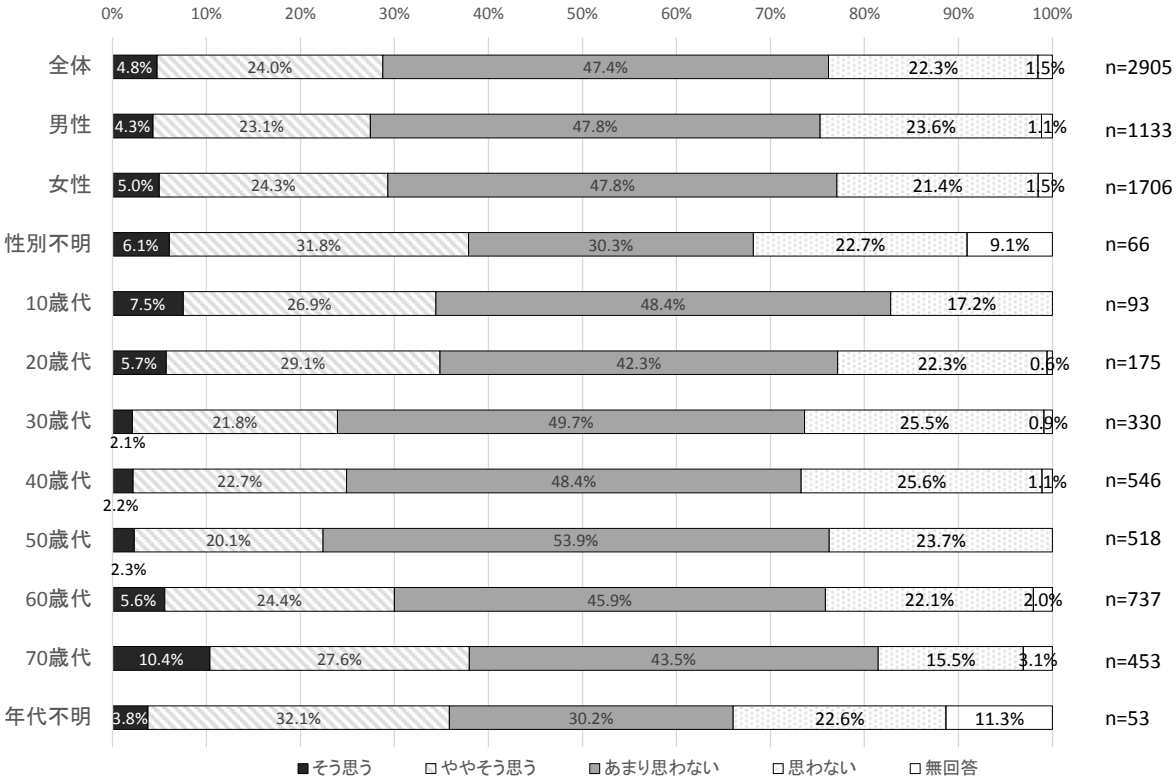
◆全体では「やや重要」が最も多く、「重要」と合わせると74.8%だった。
◆「やや重要」は男性の方が高く、49.8%だった。
◆「重要」と「やや重要」の合計が最も高かったのは10歳代で82.8%。最も低かったのは70歳代で71.5%だった。

■（暮らしの基盤・安全安心）について
【問２】道路の整備状況についてどのように感じますか。
１交通渋滞が少ない



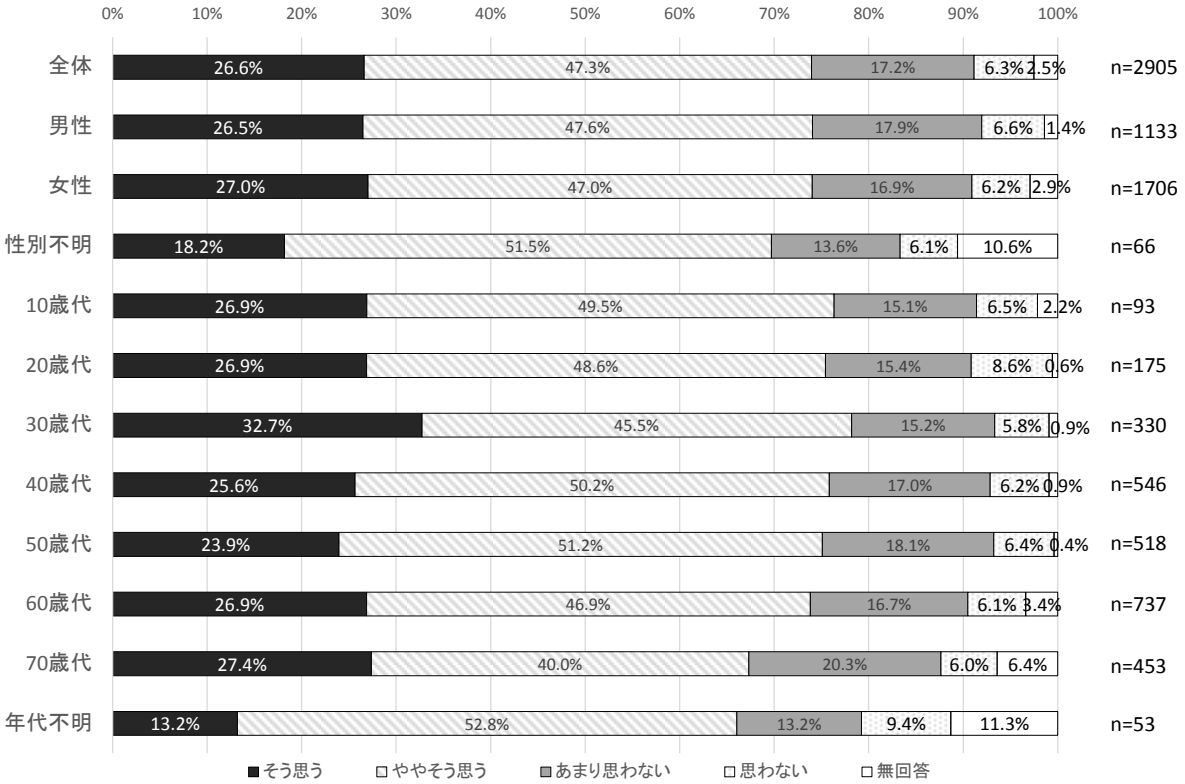
◆全体では「ややそう思う」が最も高く、「そう思う」と合わせて54.7%だった。
◆「ややそう思う」は女性の方が高く、44.7%だった。
◆「そう思う」と「ややそう思う」の合計が最も高かったのは70歳代で67.3%。最も低かったのは20歳代で39.4%だった。

２　歩行者と自転車が安全に通行できる



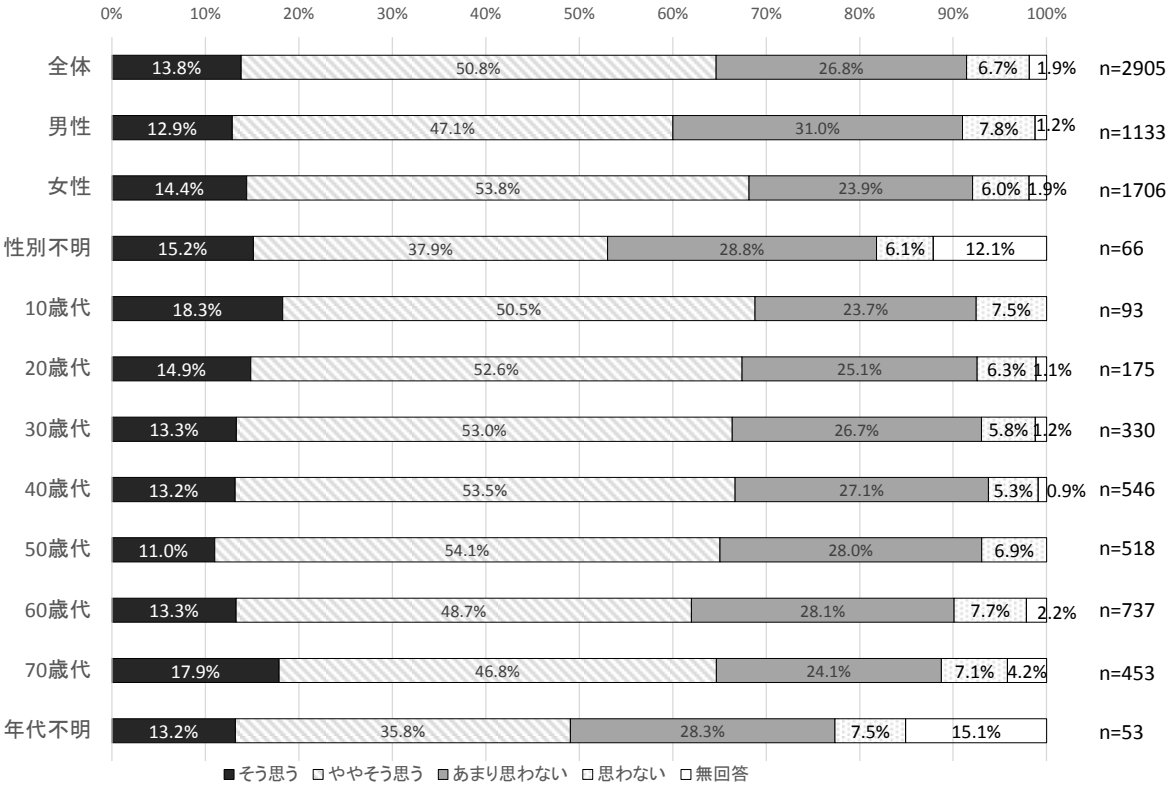
◆全体では「あまり思わない」が最も高く、「思わない」と合わせて69.7%だった。
◆「あまり思わない」は男性と女性で同数だった。
◆「あまり思わない」と「思わない」の合計が最も高かったのは50歳代で77.6%。最も低かったのは70歳代で59%だった。

３　高速道路のICなどのアクセスがよく、市内外への移動がしやすい



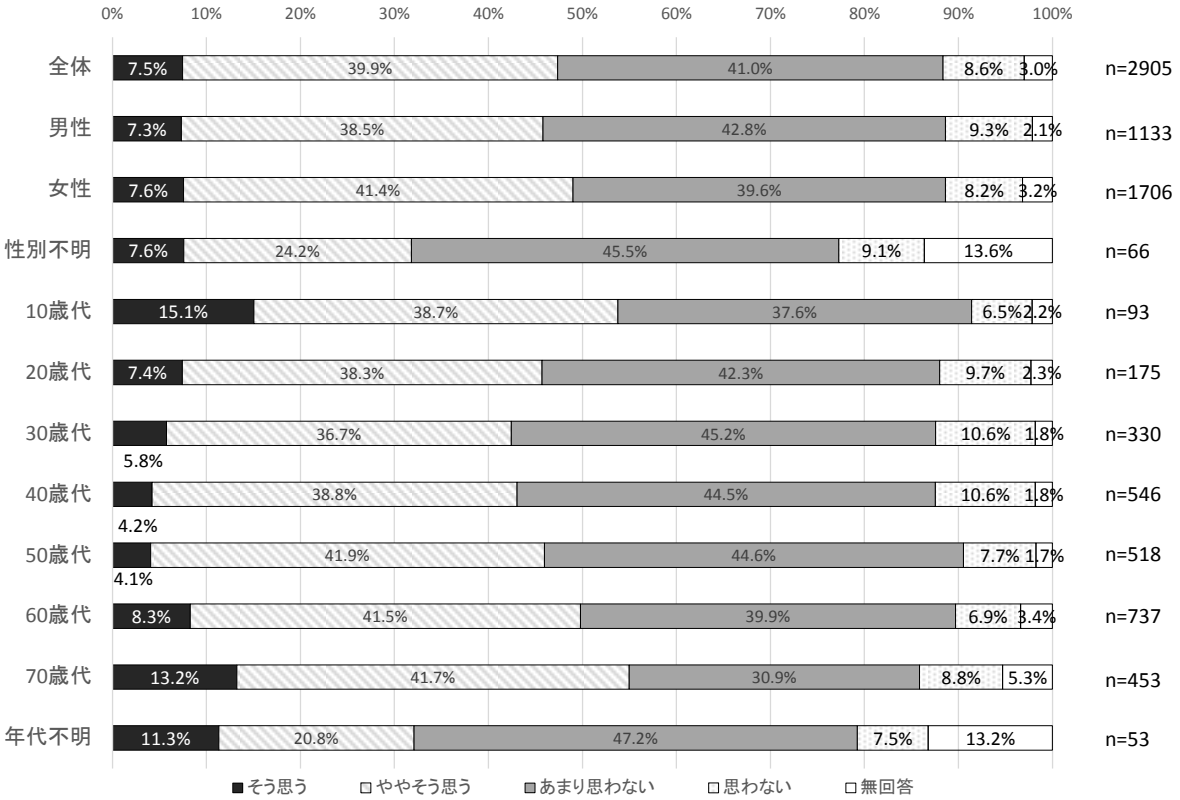
◆全体では「ややそう思う」が最も高く、「そう思う」と合わせて73.9%だった。
◆「ややそう思う」は男性の方が高く、47.6%だった。
◆「そう思う」と「ややそう思う」の合計が最も高かったのは30歳代で78.2%。最も低かったのは70歳代で67.4%だった。

４　街路樹などにより、景観に配慮されている。



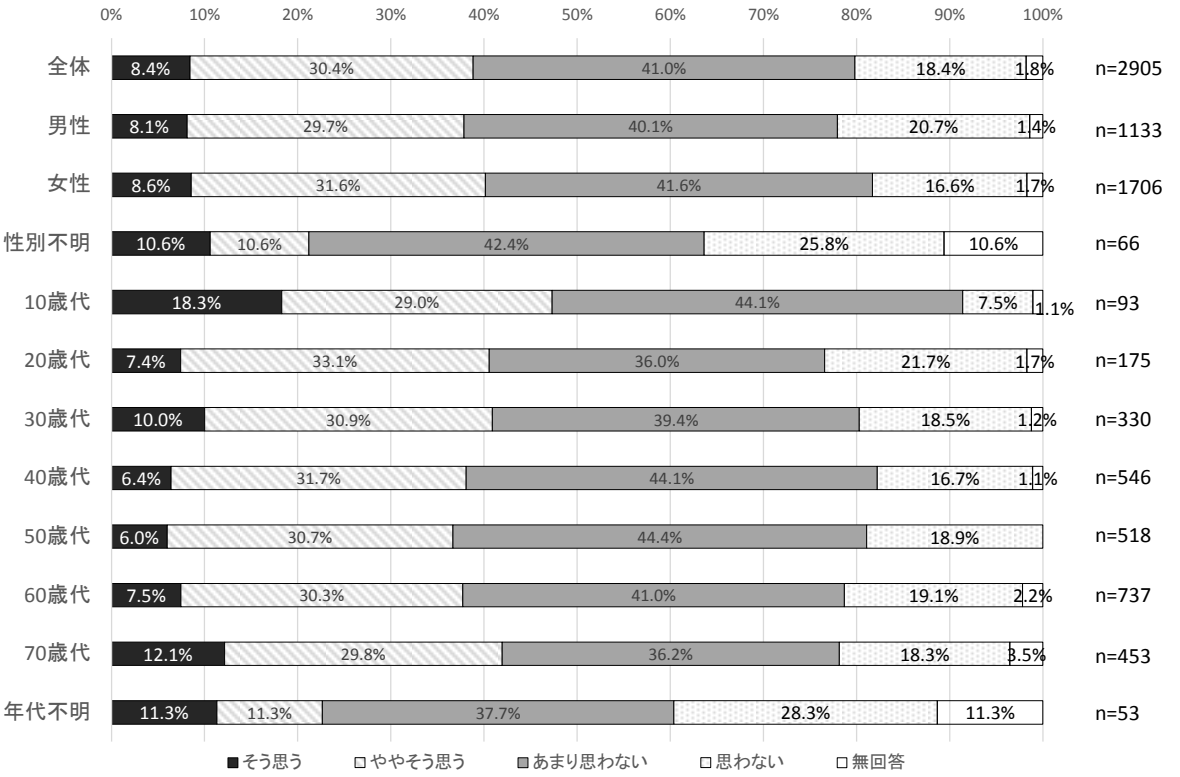
◆全体では「ややそう思う」が最も高く、「そう思う」と合わせて64.6%だった。
◆「ややそう思う」の割合は女性の方が高く、53.8%だった。
◆「そう思う」と「ややそう思う」の合計は年代で大きな差はなかった。

５　災害時に避難路や救援路として利用でき、支援物資の運搬ができる。



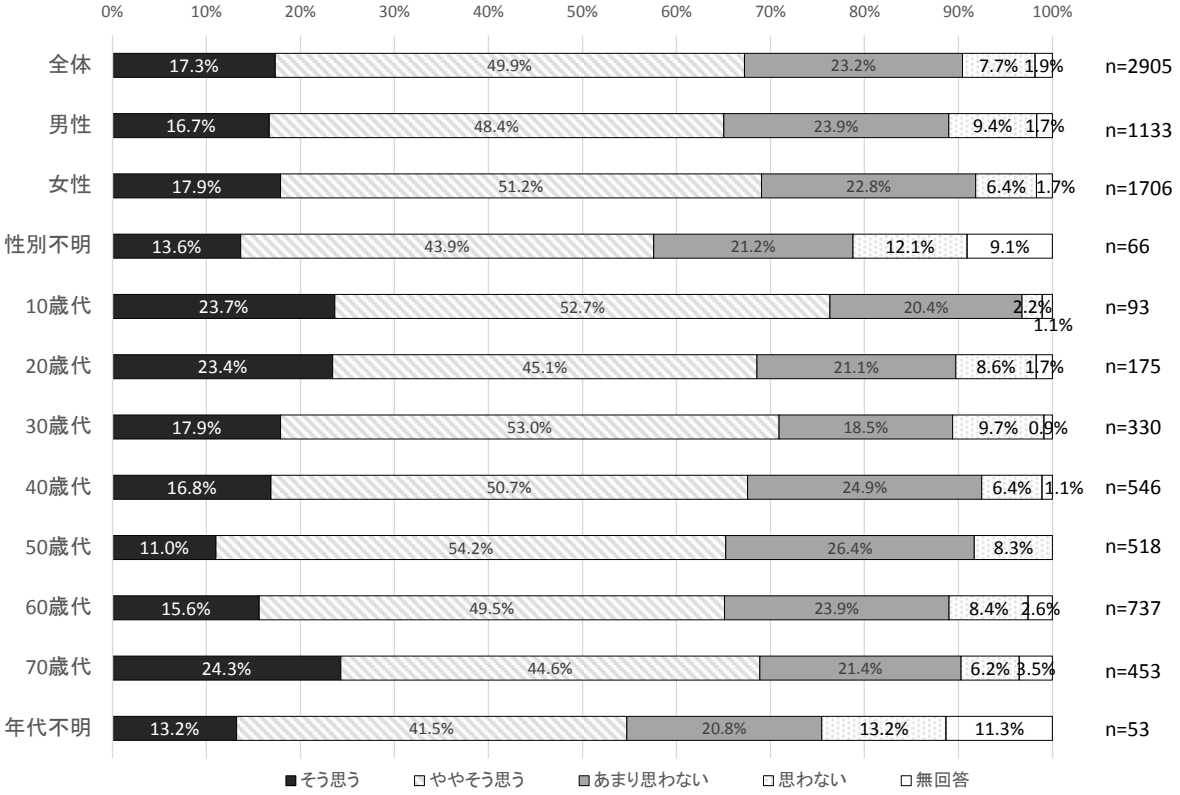
◆全体では「あまり思わない」が最も高く、「思わない」と合わせて49.6%だった。
◆「あまり思わない」は男性が高く、42.8%だった。
◆「あまり思わない」が最も高かったのは30歳代で45.2%。最も低かったのは70歳代で30.9%だった。

６　バスやトラックなどの大型車両が十分に通れる広さがある。



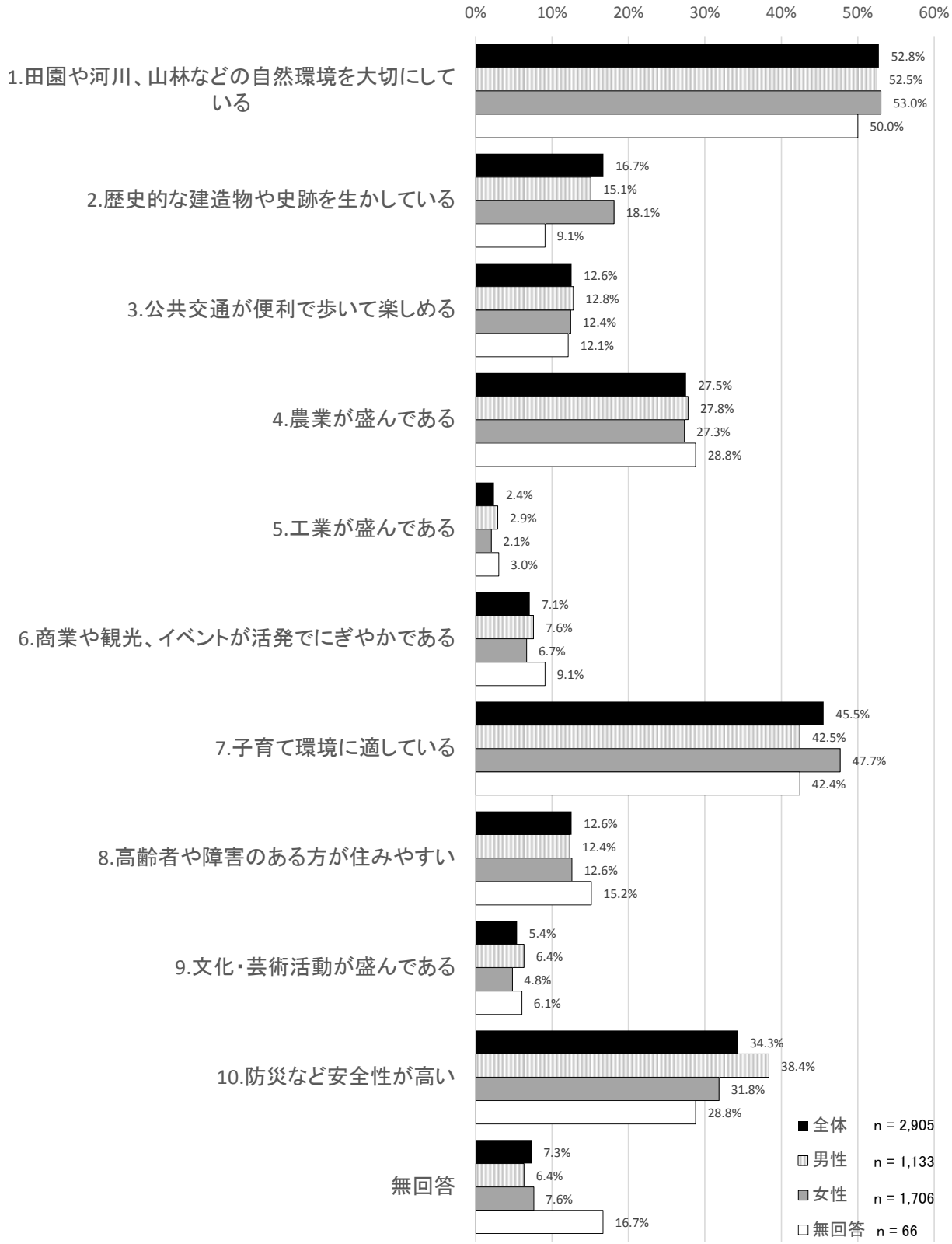
◆全体では「あまり思わない」が最も高く、「思わない」と合わせて59.4%だった。
◆「あまり思わない」は女性の方が高く、41.6%だった。
◆「あまり思わない」と「思わない」の合計が最も高かったのは50歳代で63.3%。最も低かったのは10歳代で51.6%だった。

7　道路標示、案内板、信号などが適切に配置されている。



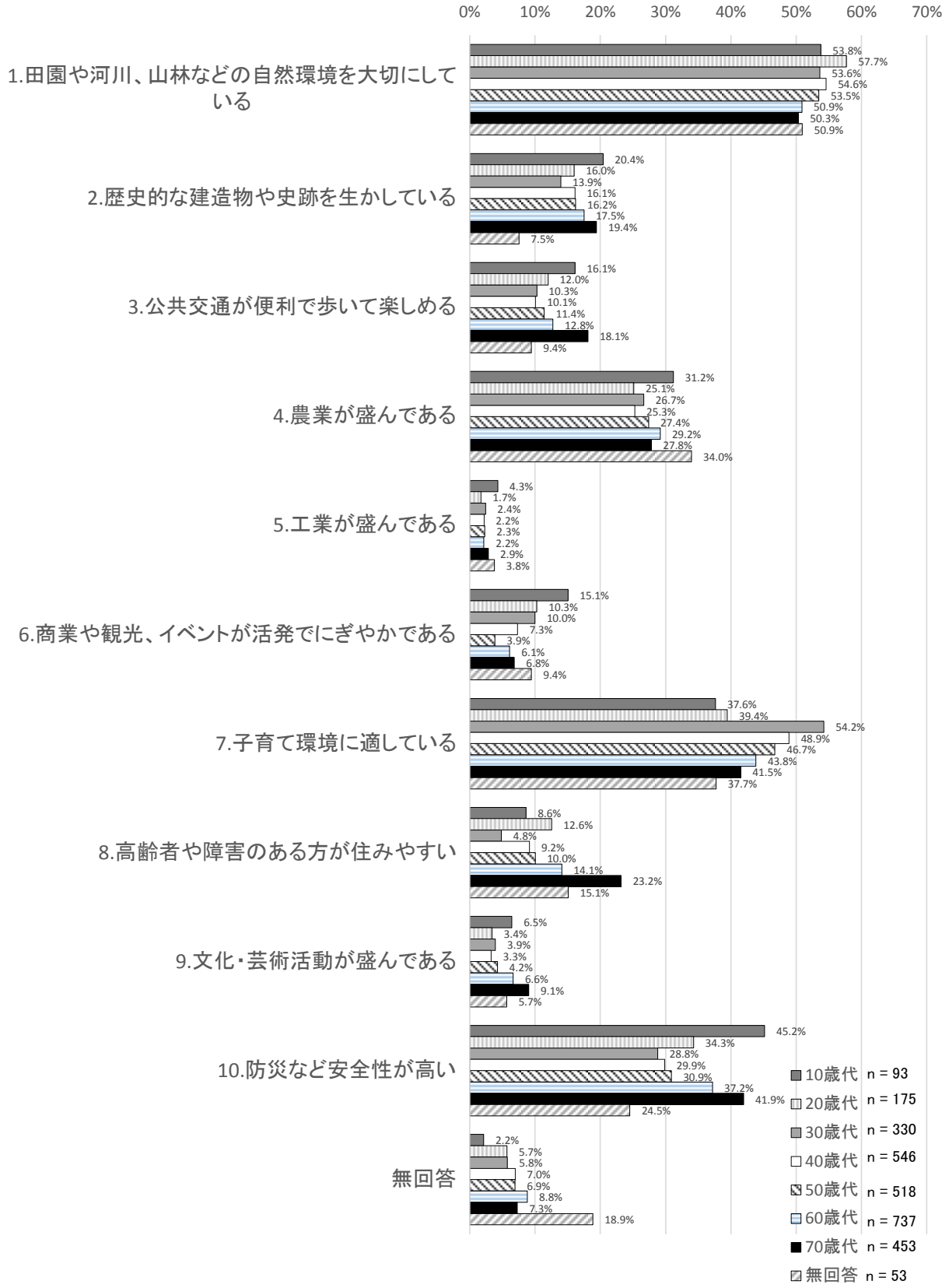
◆全体では「ややそう思う」が最も高く、「そう思う」と合わせて67.2%だった。
◆「ややそう思う」は女性の方が高く、51.2%だった。
◆「そう思う」と「ややそう思う」の合計が最も高かったのは10歳代で76.4%。最も低かったのは60歳代で65.1%だった。

【問３】あなたのまちの良いところはなんですか。３つまで選んで〇印をつけてください。
・全体と性別



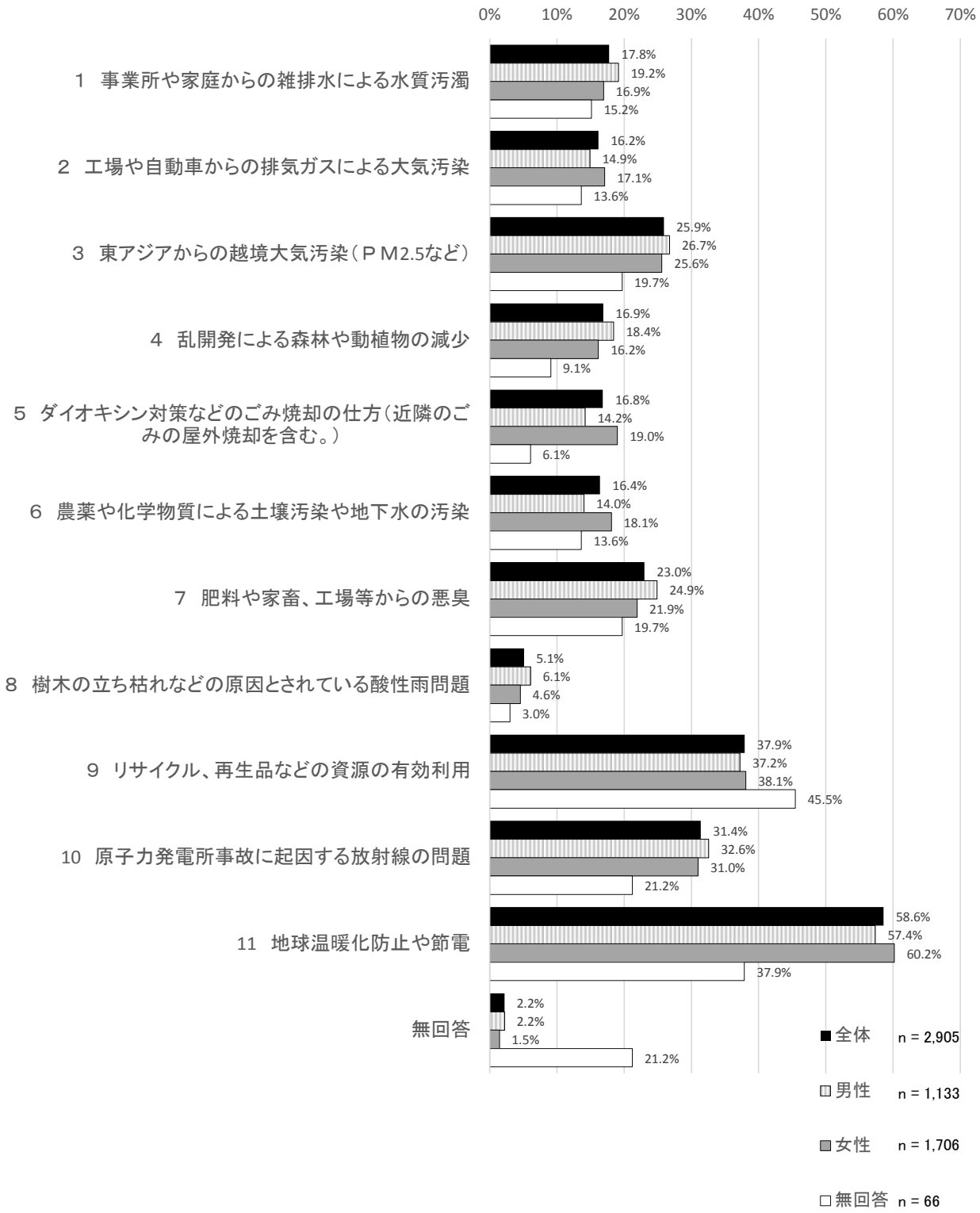
◆「田園や河川、山林などの自然環境を大切にしている」と回答した人の割合が男女ともに最も高かった。

・年代別



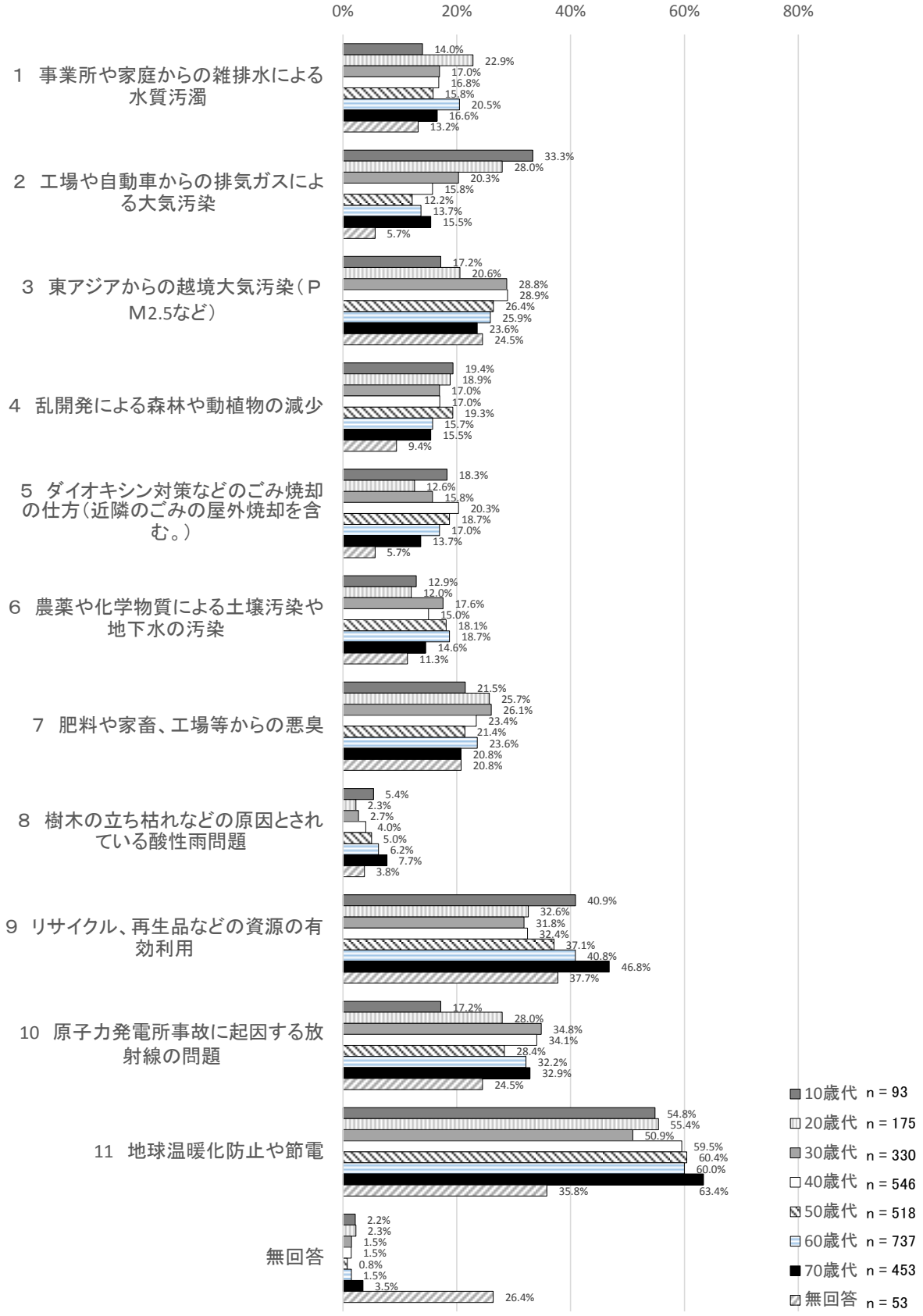
◆全体では「1. 田園や河川、山林などの自然環境を大切にしている」の回答が多く、全ての年代で50%を越えた。
◆「7. 子育て環境に適している」と回答したのは特に30歳代が54.2%と高かった。

■（環境との共生）について
【問４】日々の生活における環境問題で、あなた自身が特に関心のあるものは何ですか。３つまで選んで〇印をつけてください。
・全体と性別



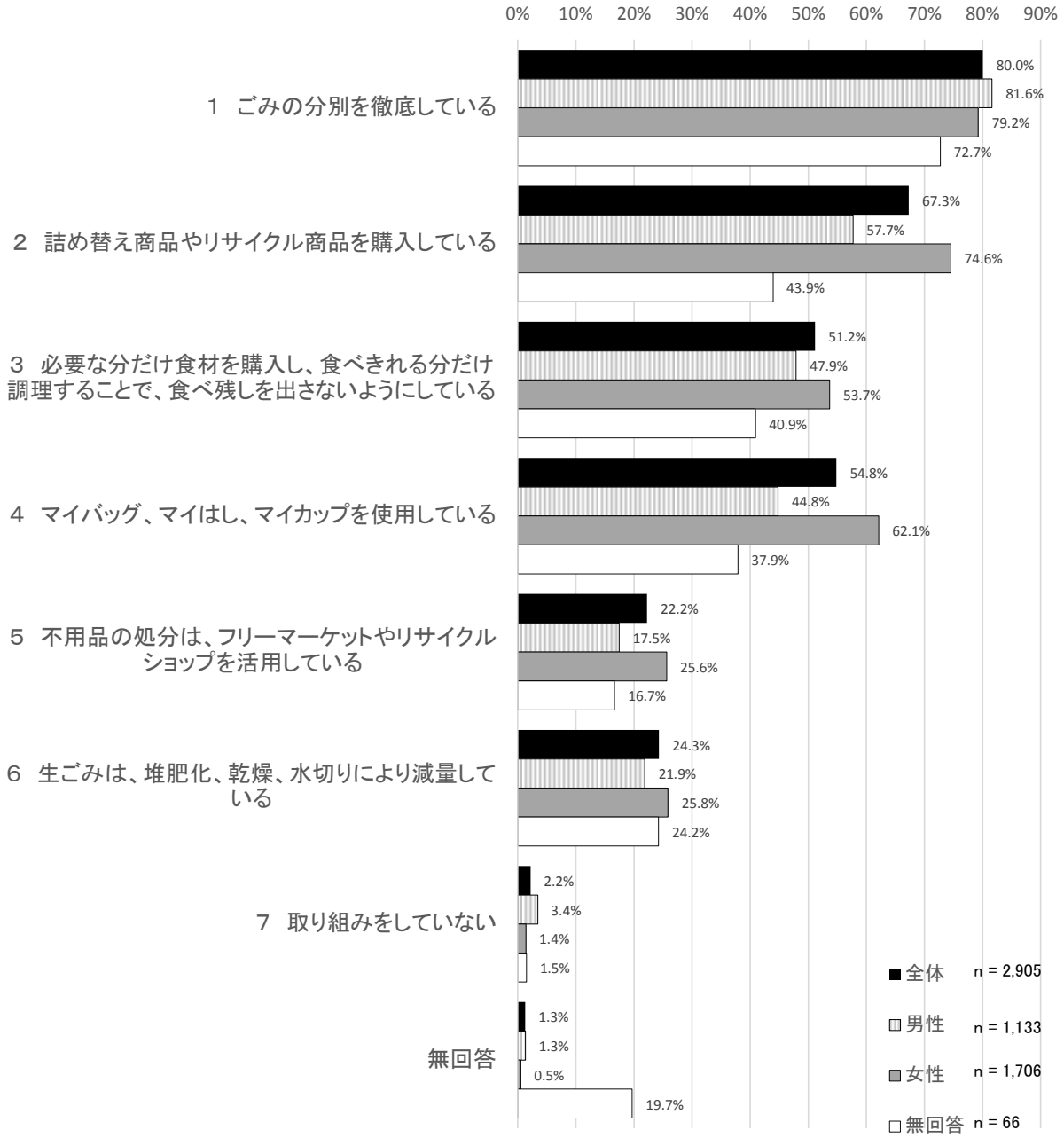
◆全体では「11 地球温暖化防止や節電」の回答が男女問わず多かった。

・年代別



◆「11 地球温暖化防止や節電」は、すべての年代で50%を超えた。

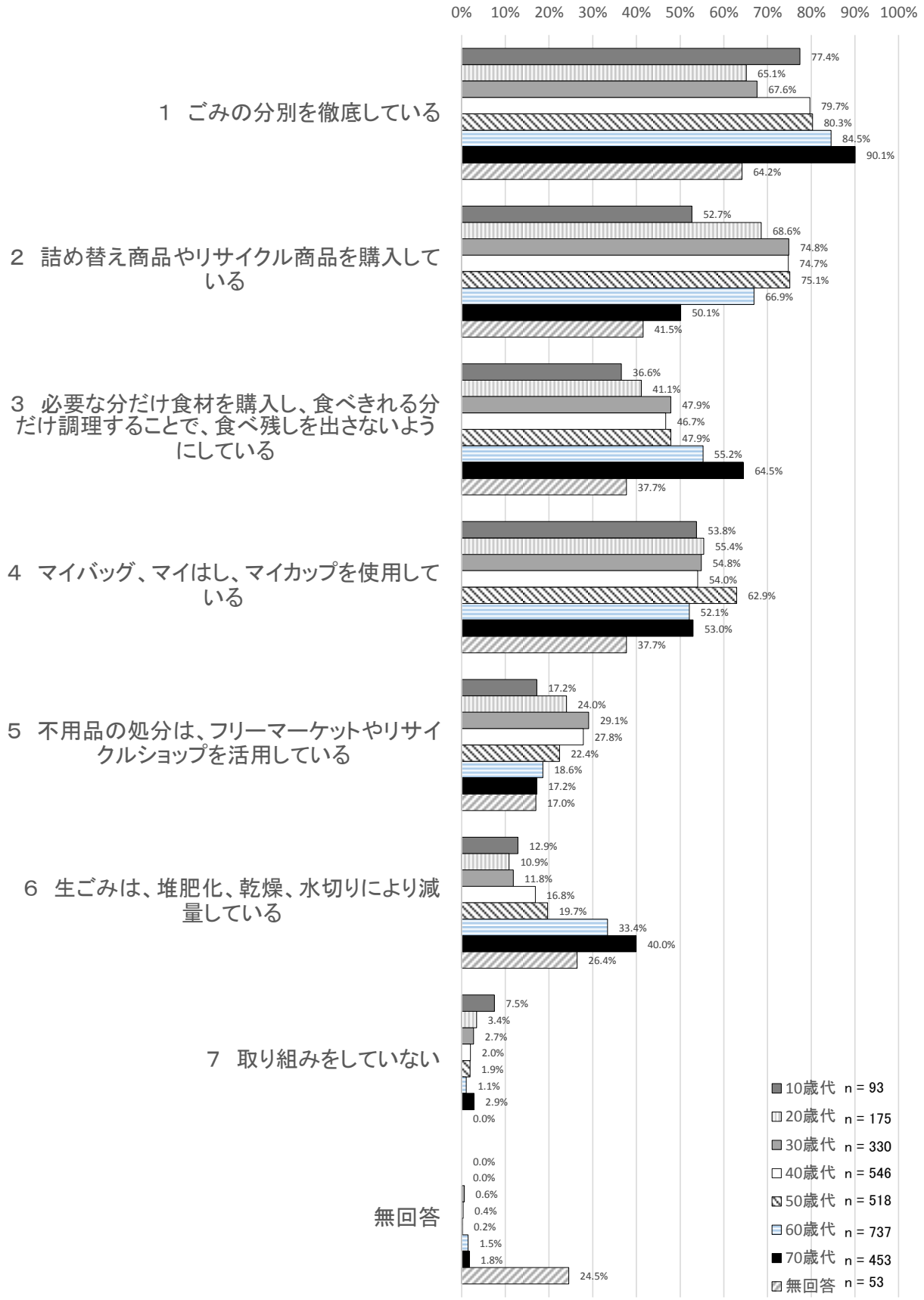
【問５】日ごろからごみを減らすために、どのような取組みをしていますか。あてはまるものすべてに〇印をつけてください。
・全体と性別



◆全体で最も割合が多かったのは、「１　ごみの分別を徹底している」で80.0%だった。

◆項目内で男女差が大きく出たのは「２　詰め替え商品やリサイクル商品を購入している」と「４マイバッグ、マイはし、マイカップを使用している」で、いずれも女性の方が高かった。

・年代別

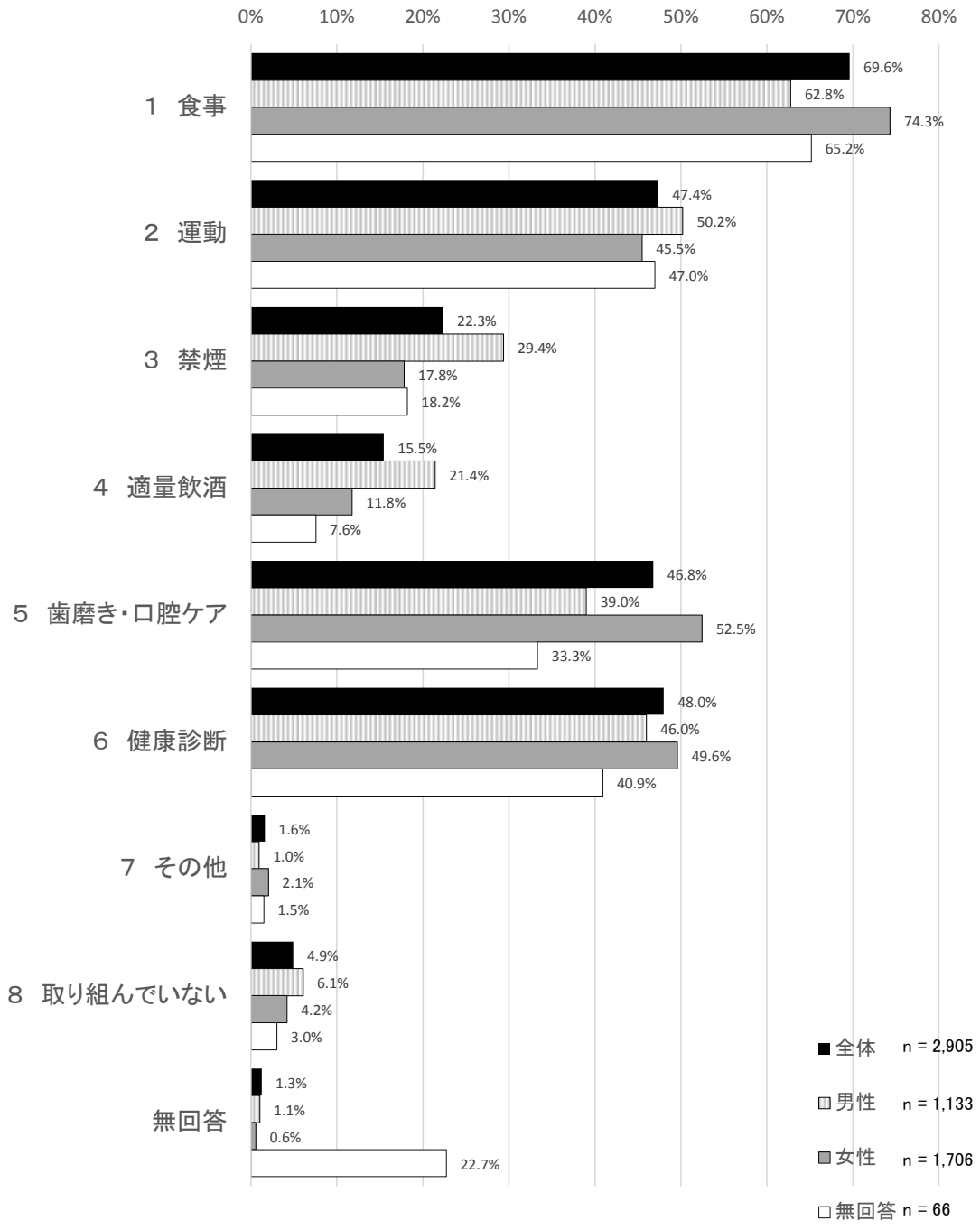


◆「１　ごみの分別を徹底している」、「２　詰め替え商品やリサイクル商品を購入している」、「４　マイバッグ、マイはし、マイカップを使用している」はすべての年代で50%を超えた。

■（健康・福祉）について

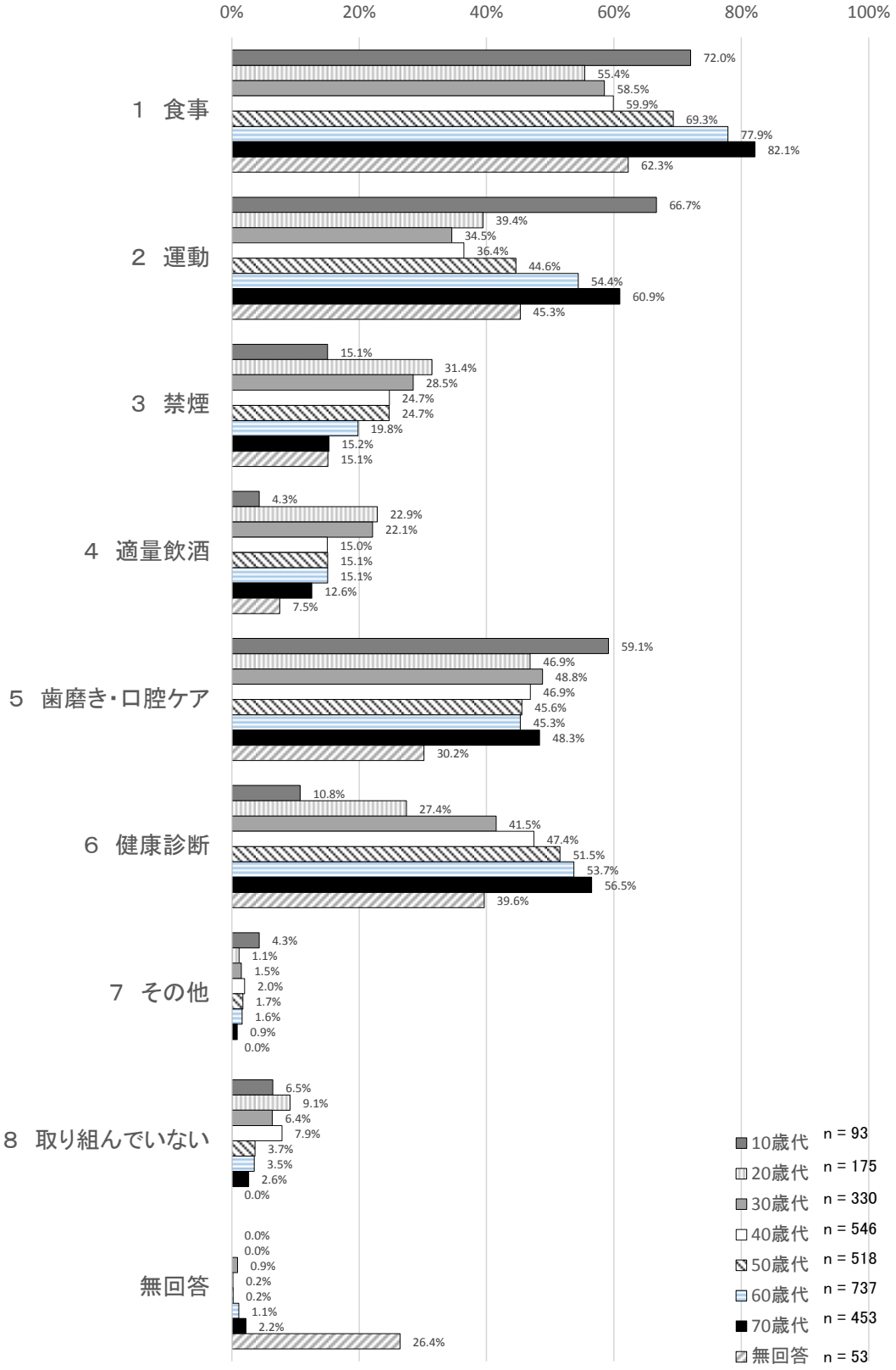
【問６】健康づくりのために取組んでいることがありますか。３つまで選んで〇印をつけてください。

・全体と性別



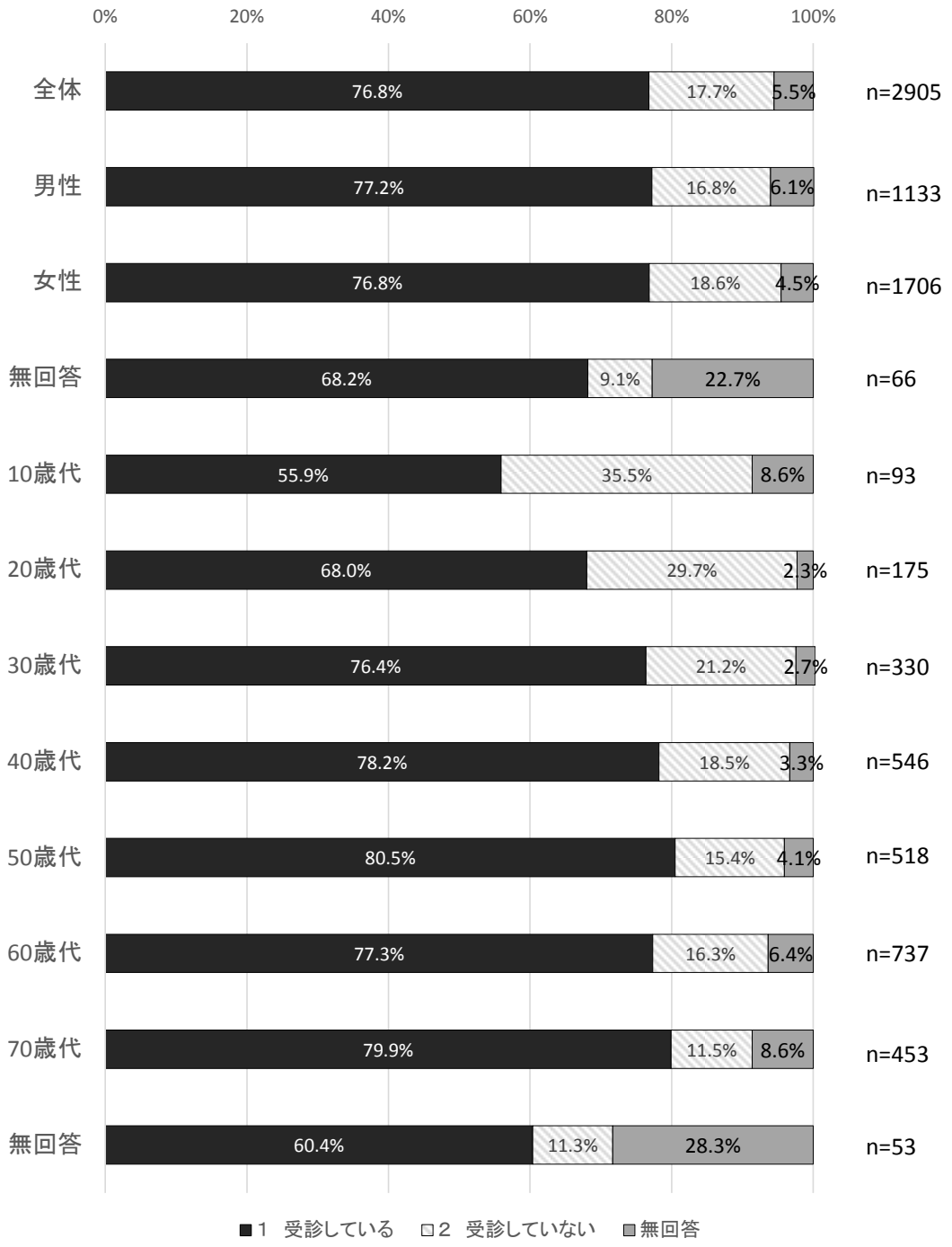
◆全体で多かったのは「１ 食事」だった。

・年代別



◆「１　食事」、「２　運動」は、10歳代と60歳代、70歳代が高かった。
◆「６　健康診断」は年代が上がるにつれて割合が高かった。

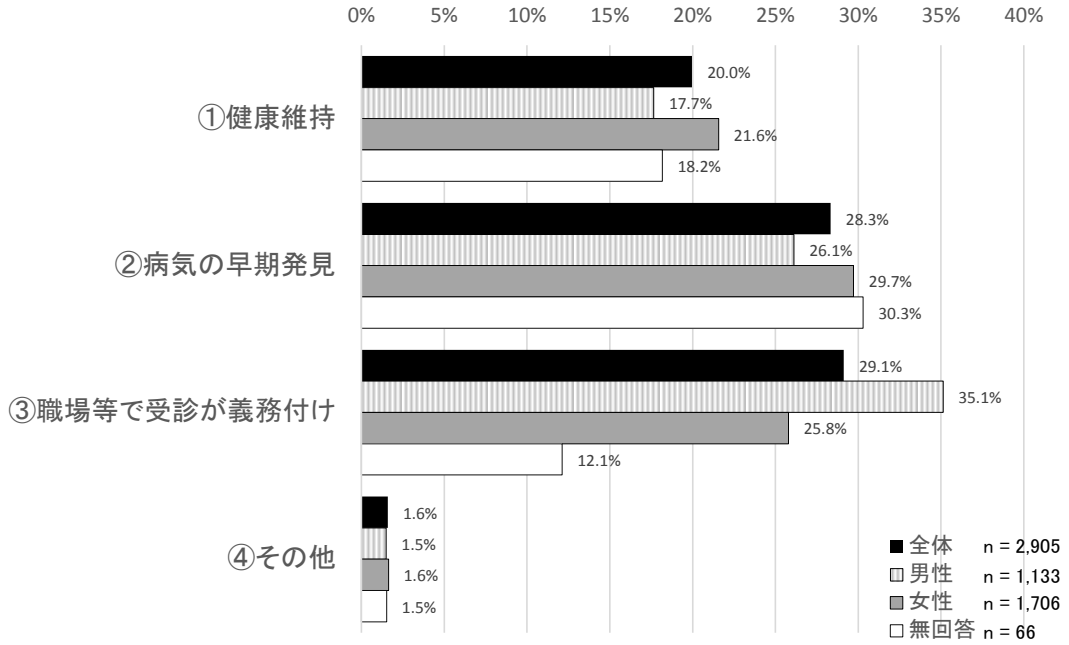
【問７】健診（検診）を受けていますか。その理由も１つ選んで〇印をつけてください。
●受診の有無



◆全体では、76.8%が受診していると答えた。

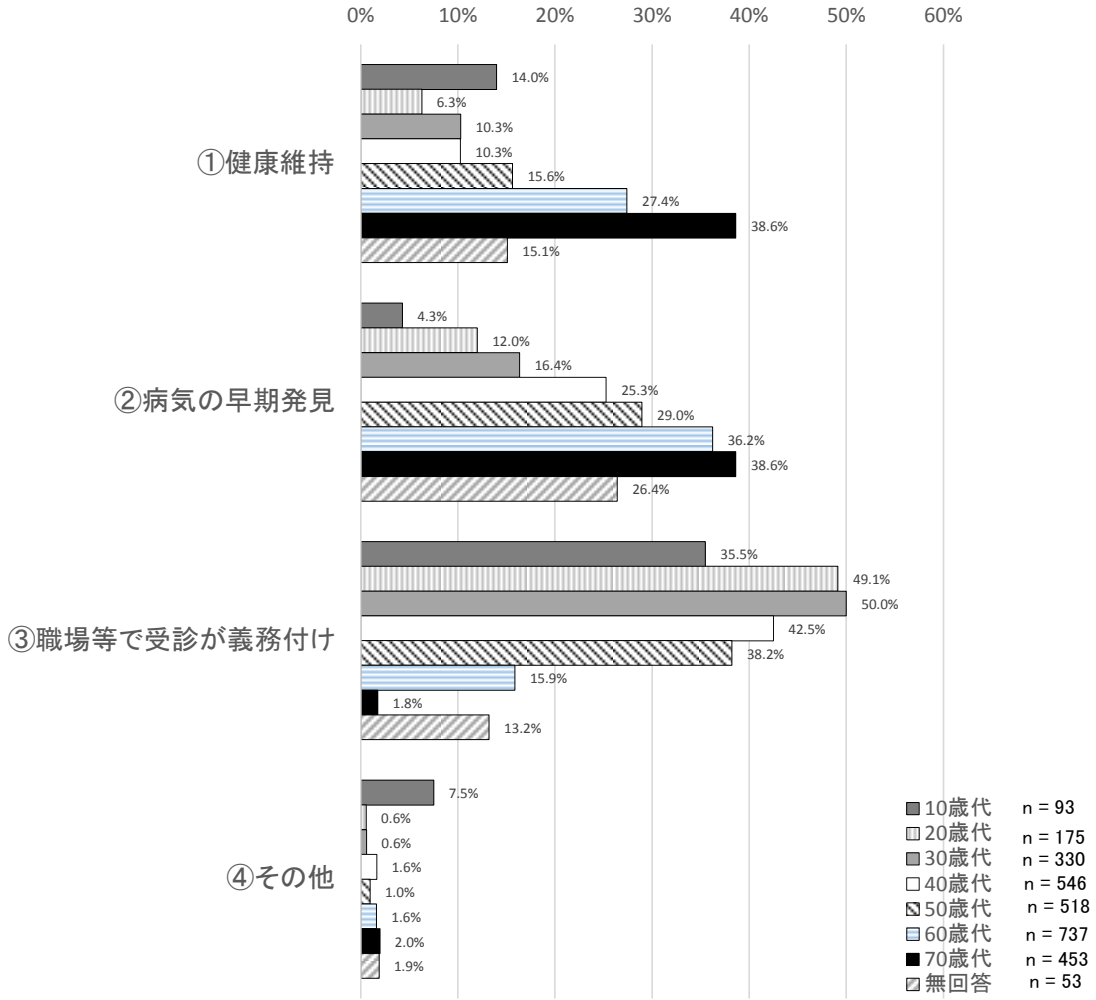
●受診の理由

・全体と性別



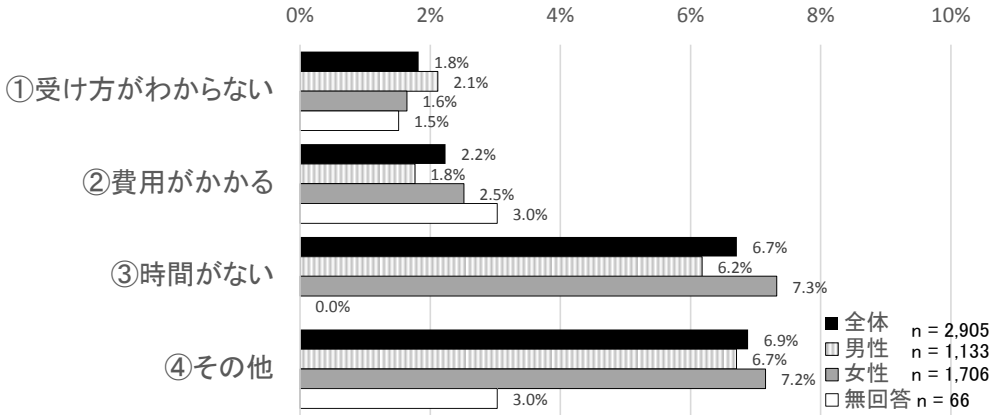
◆全体では「③職場等で受診が義務付け」が最も高かった。

・年代別



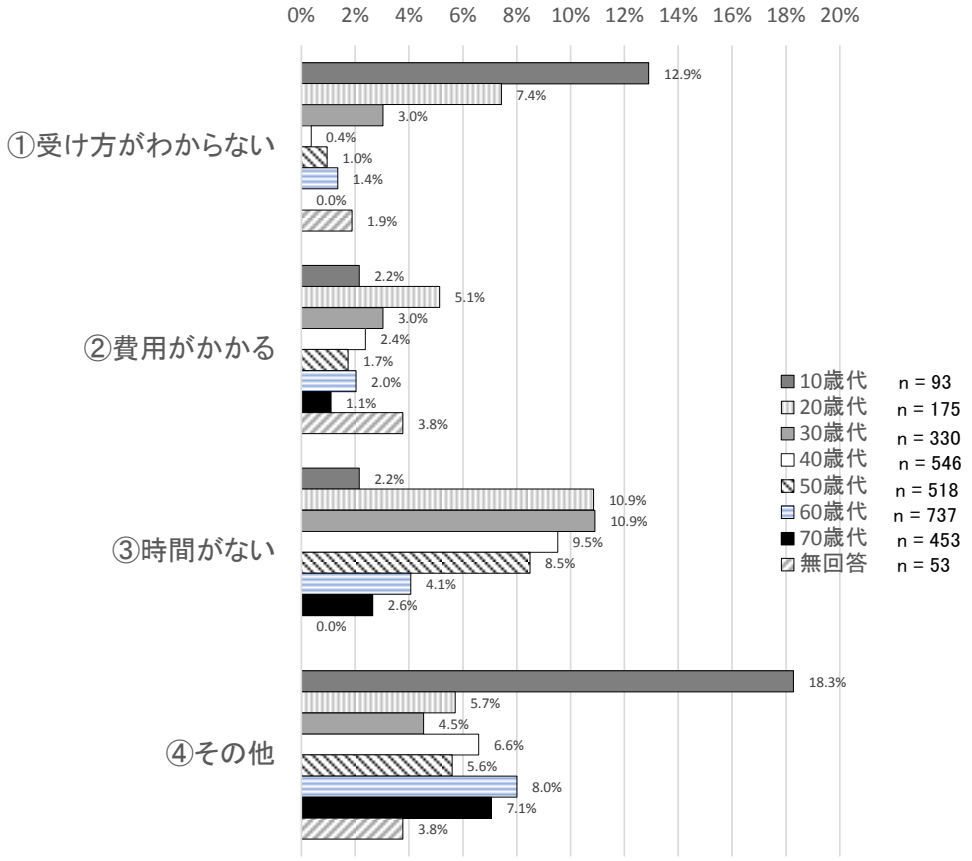
◆「①健康維持」と「②病気の早期発見」は年齢が高くなるにつれて割合が高かった。

●無受診の理由
・全体と性別



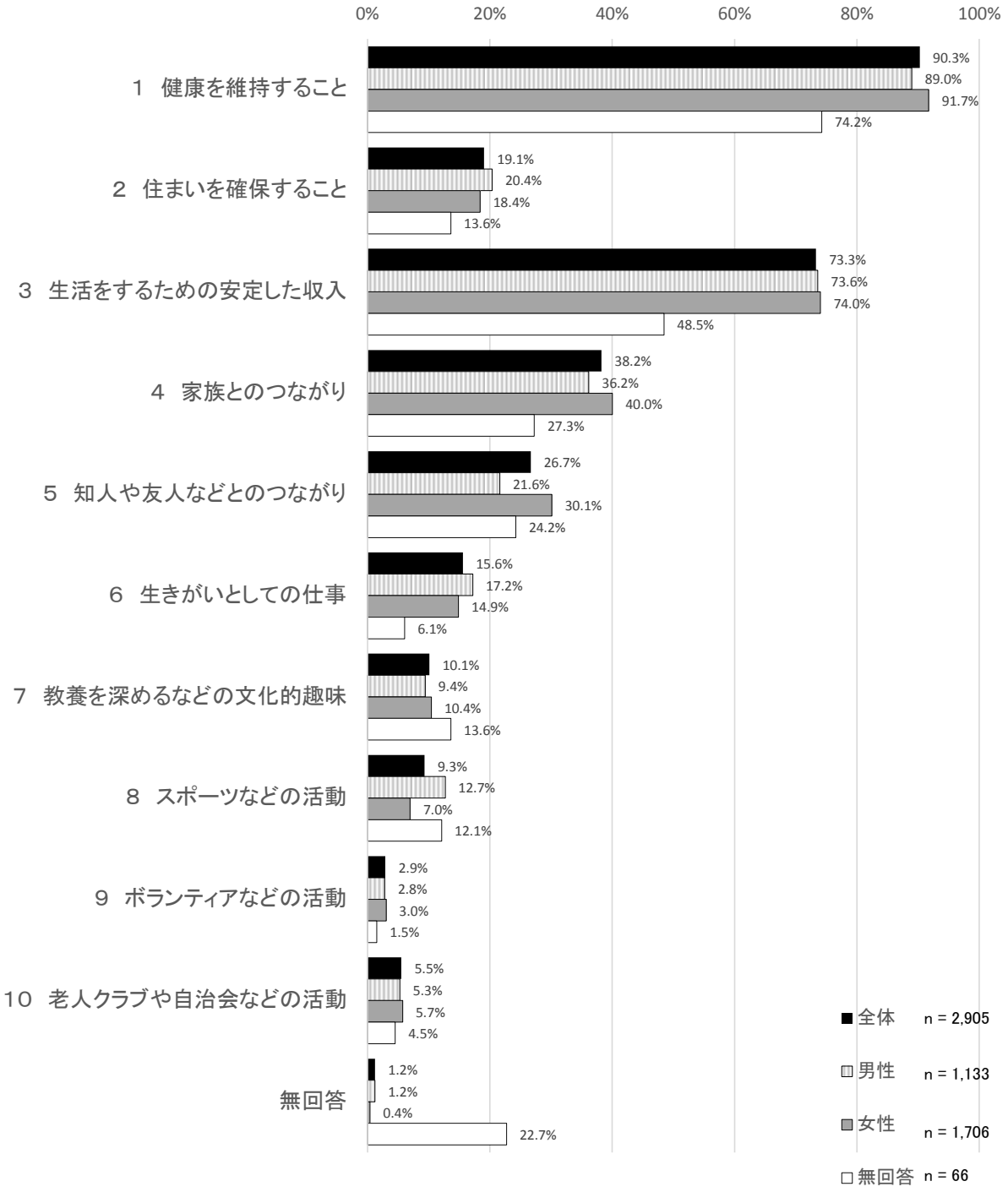
◆全体では「③時間がない」が最も高かった。
◆「③時間がない」では、男性が女性よりも高かった。

・年代別



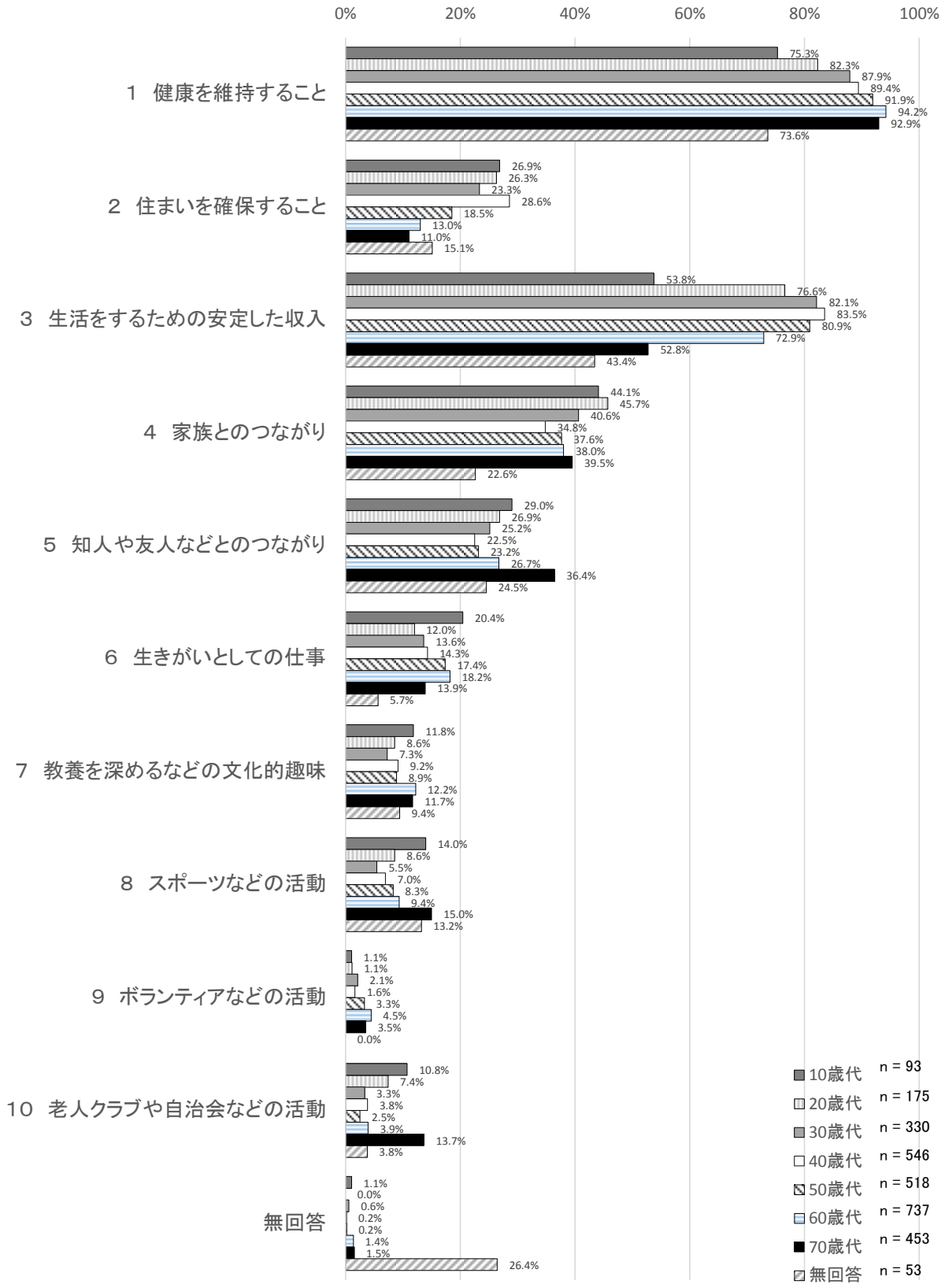
◆「①受け方が分からない」は10歳代が12.9%と高かった。

【問８】充実した老後を送るために必要だと思うことは何ですか。３つまで選んで〇印をつけてください。
・全体と性別



◆全体では「１ 健康を維持すること」が最も高かった。
◆「4 家族のつながり」、「５ 知人や友人などのつながり」は特に女性が男性より高く、「８ スポーツなどの活動」は特に男性が女性より高かった。

・年代別

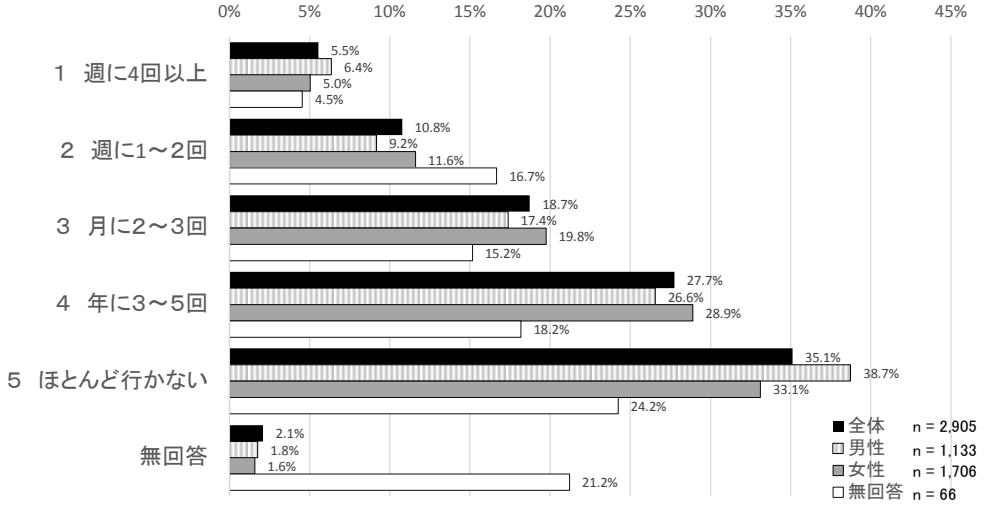


◆「１ 健康を維持すること」は年代が高くなるにつれて高くなる傾向であった。
◆「３ 生活をするための安定した収入」は20代から60代にかけて高かった。

■（産業活力）について

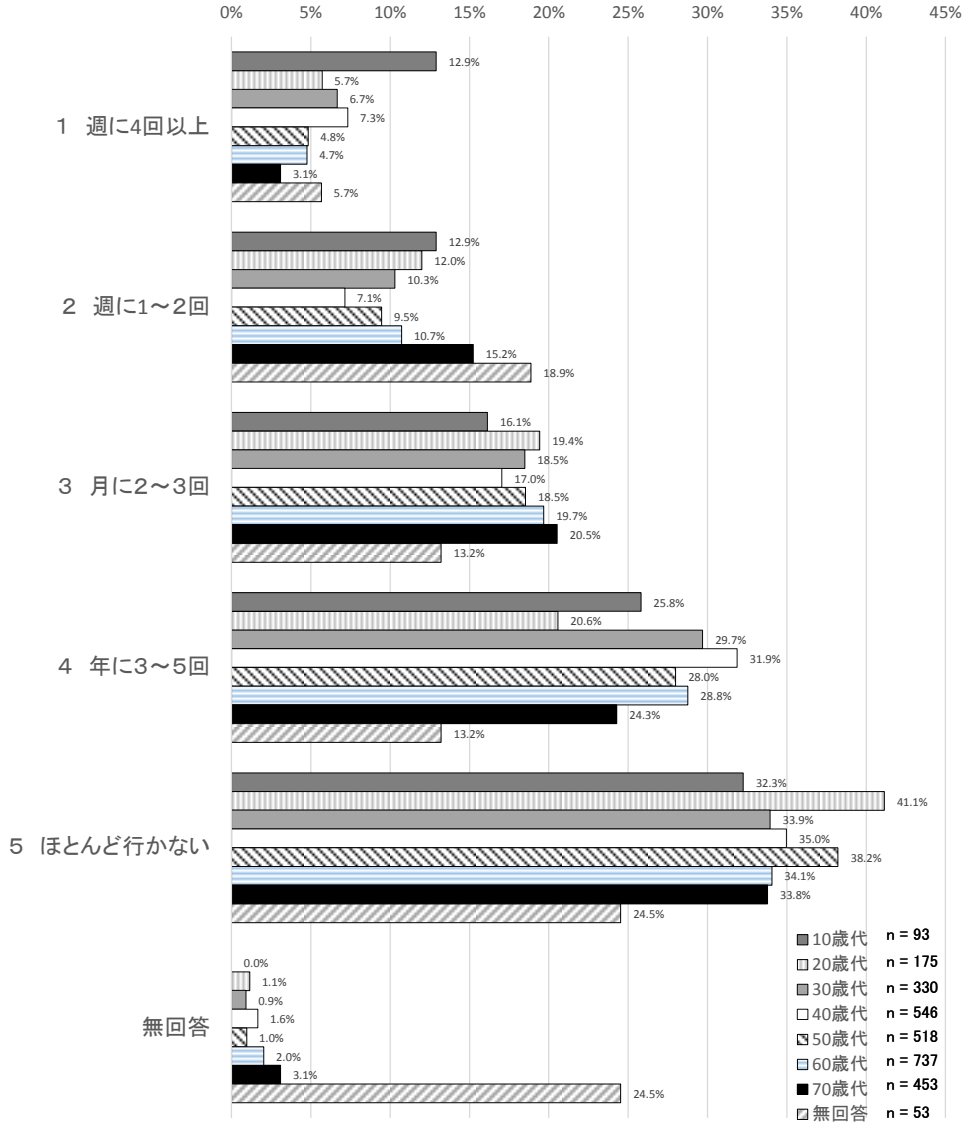
【問９】中心市街地には、どのくらいの頻度で訪れますか。

・全体と性別



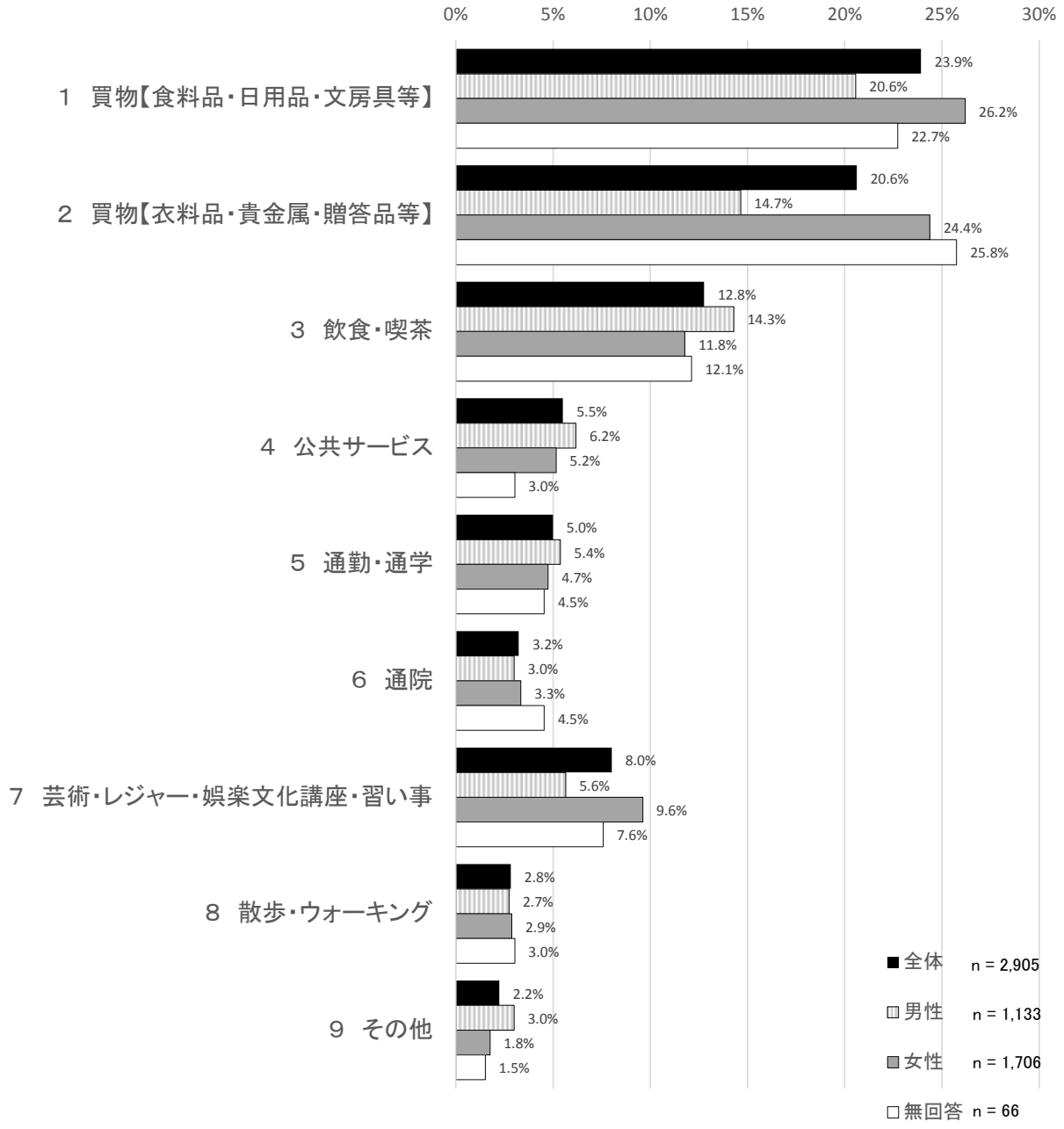
◆全体では、「５ ほとんど行かない」が多かった。

・年代別



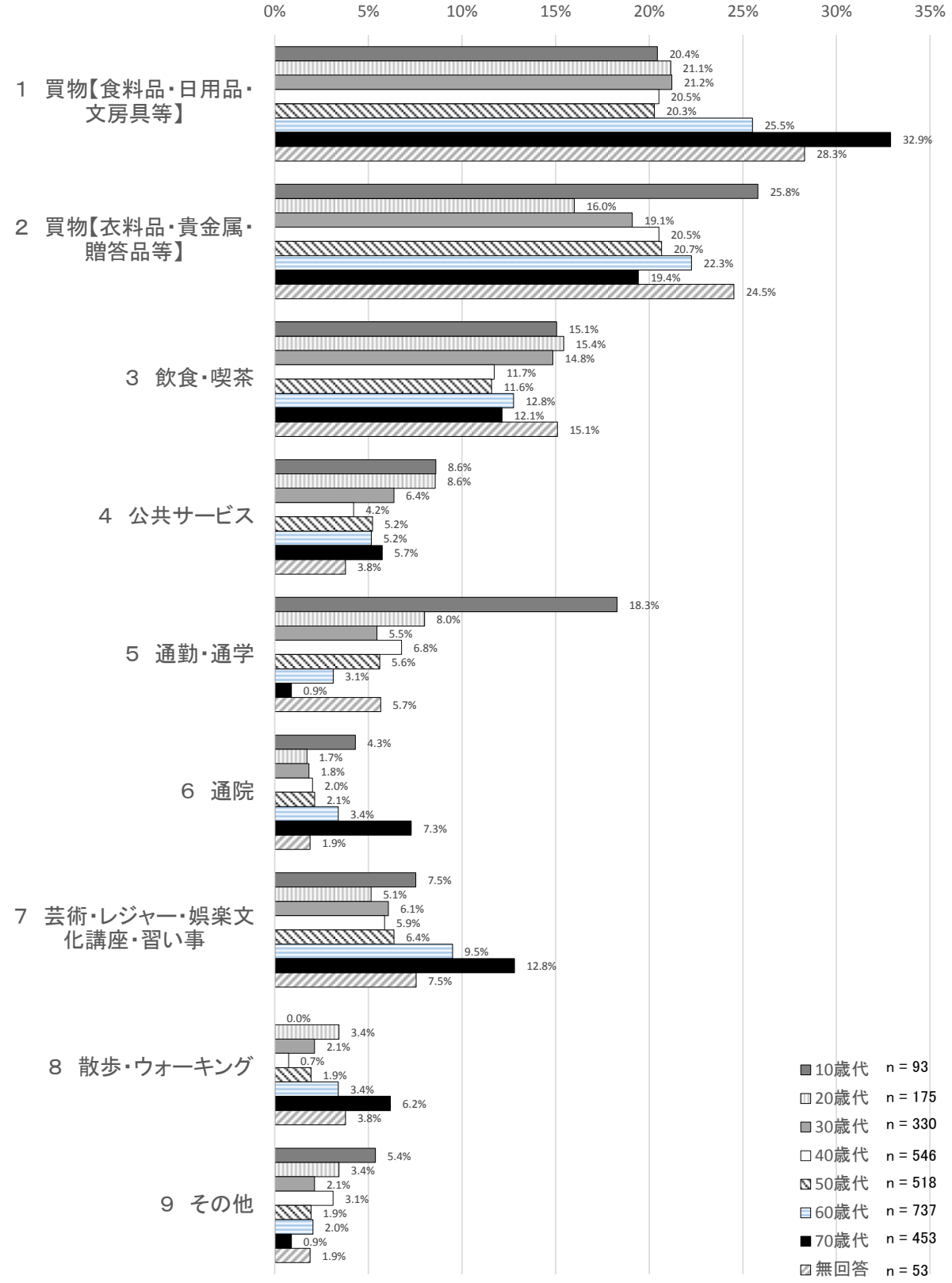
◆「１ 週に4回以上」は、10歳代が高かった。

【問１０】（問９）で１～３と回答された方にお伺いします。中心市街地へ行く目的として、どのようなものがありますか。あてはまるものすべてに〇印をつけてください。
・全体と性別



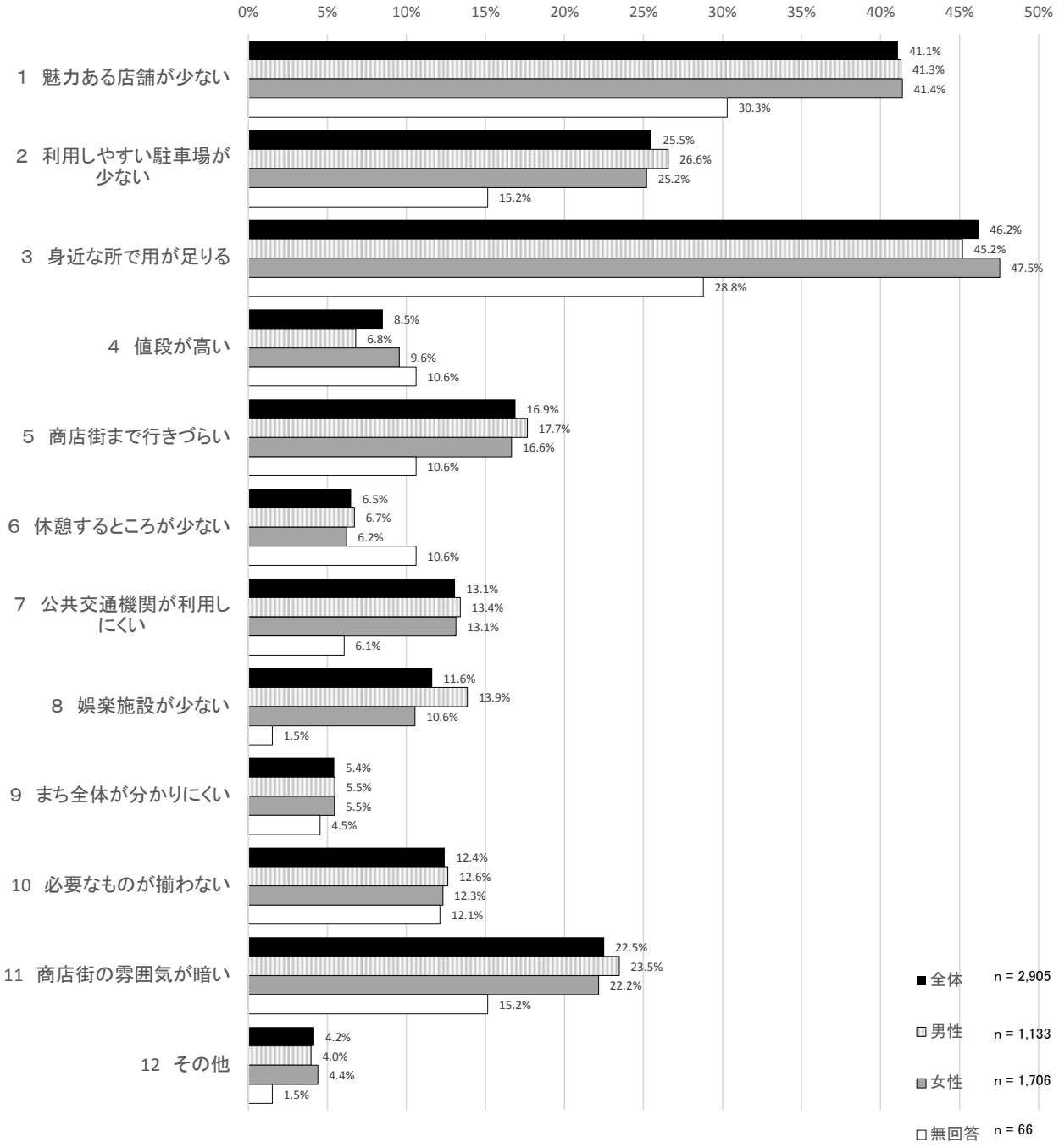
◆全体では「１ 買物【食料品・日用品・文房具等】」が高かった。

・年代別



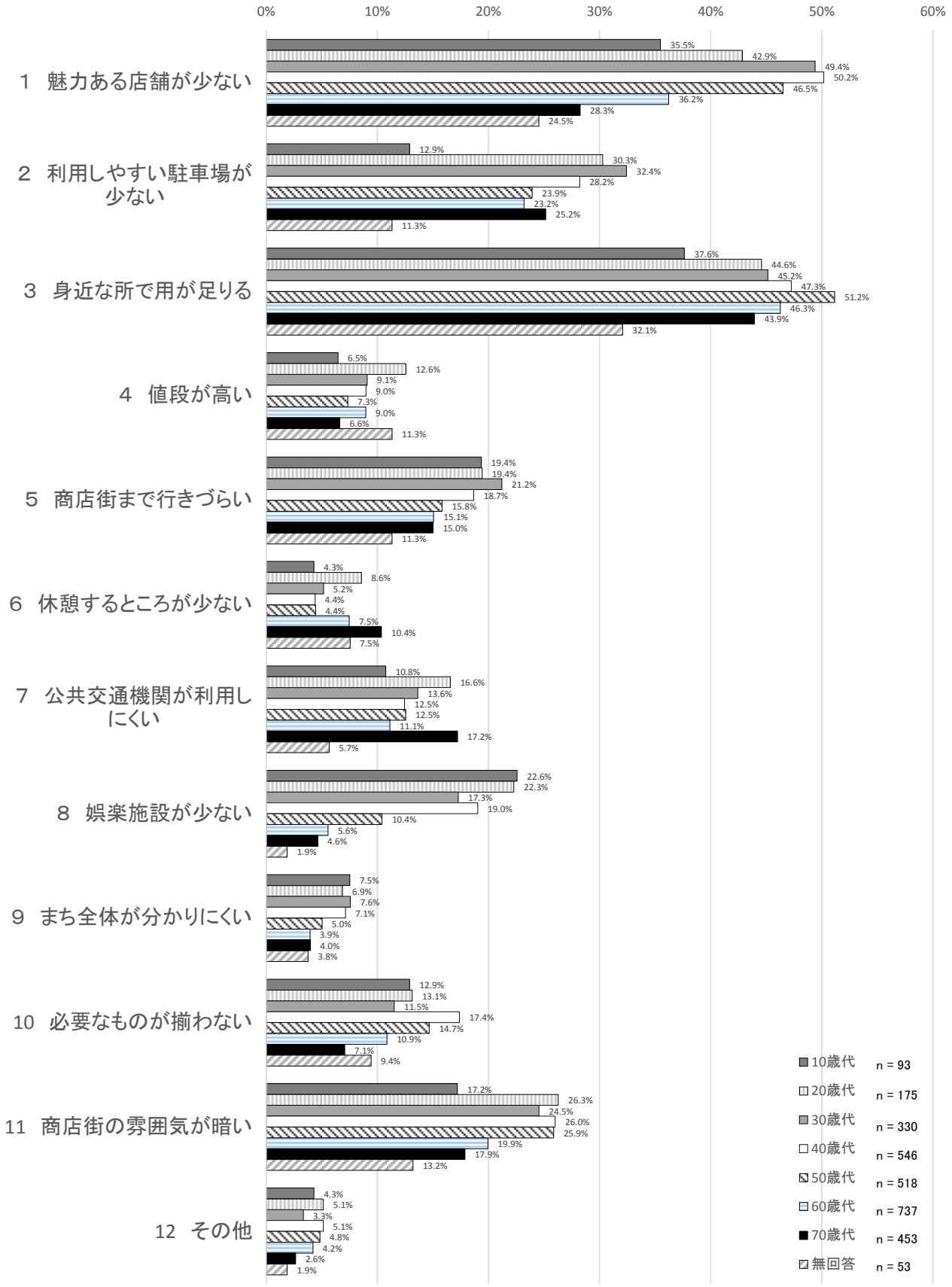
◆「５ 通勤・通学」は10歳代が特に高かった。
◆「１ 買物（食料品・日用品・文房具等）」、「６ 通院」、「７ 芸術・レジャー・娯楽文化講座・習い事」は70歳代が特に高かった。

【問１１】（問９）で４，５と回答された方にお伺いします。中心市街地に行かない理由として、どのようなものがありますか。あてはまるものすべてに〇印をつけてください。
・全体と性別



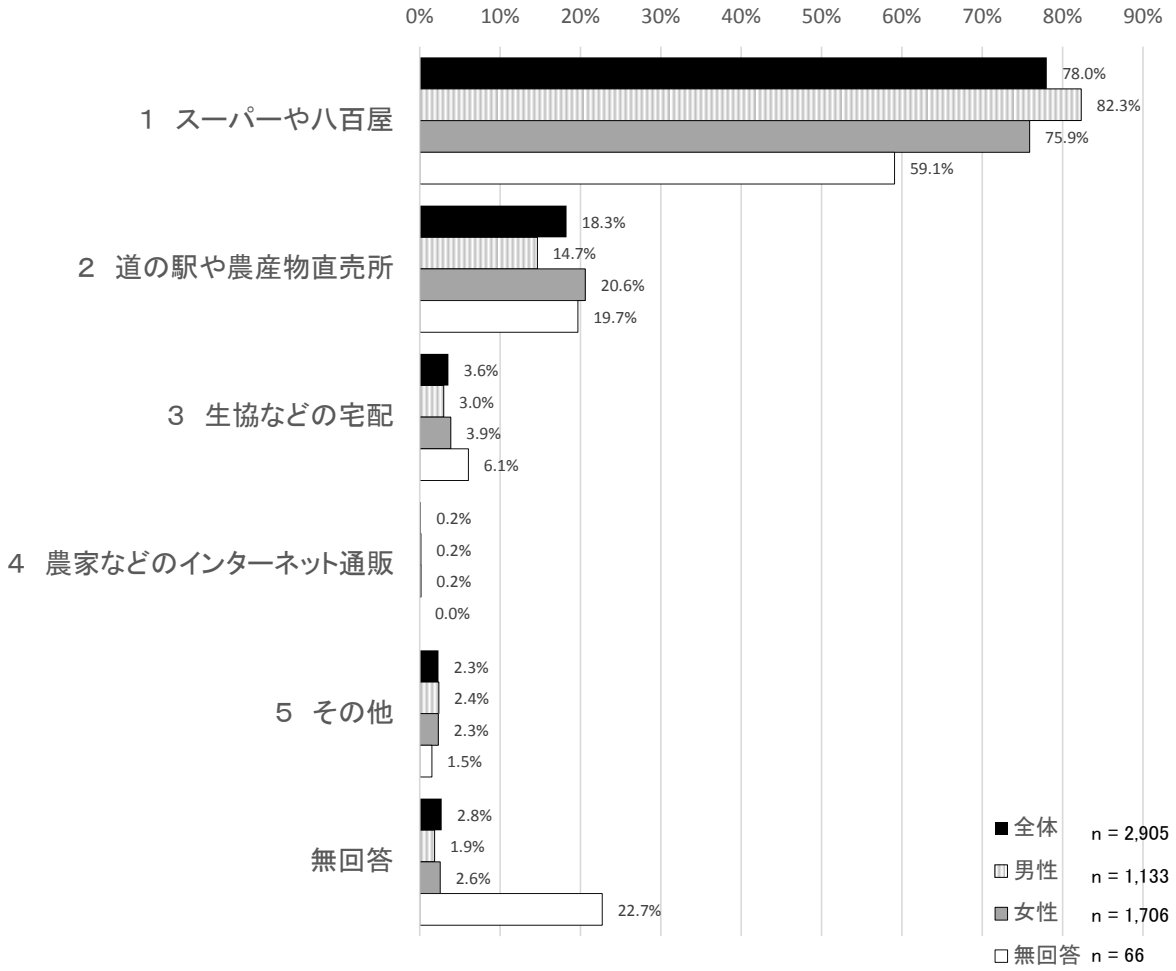
◆全体で高かったのは「１ 魅力ある店舗が少ない」と「３ 身近な所で用が足りる」だった。

・年代別



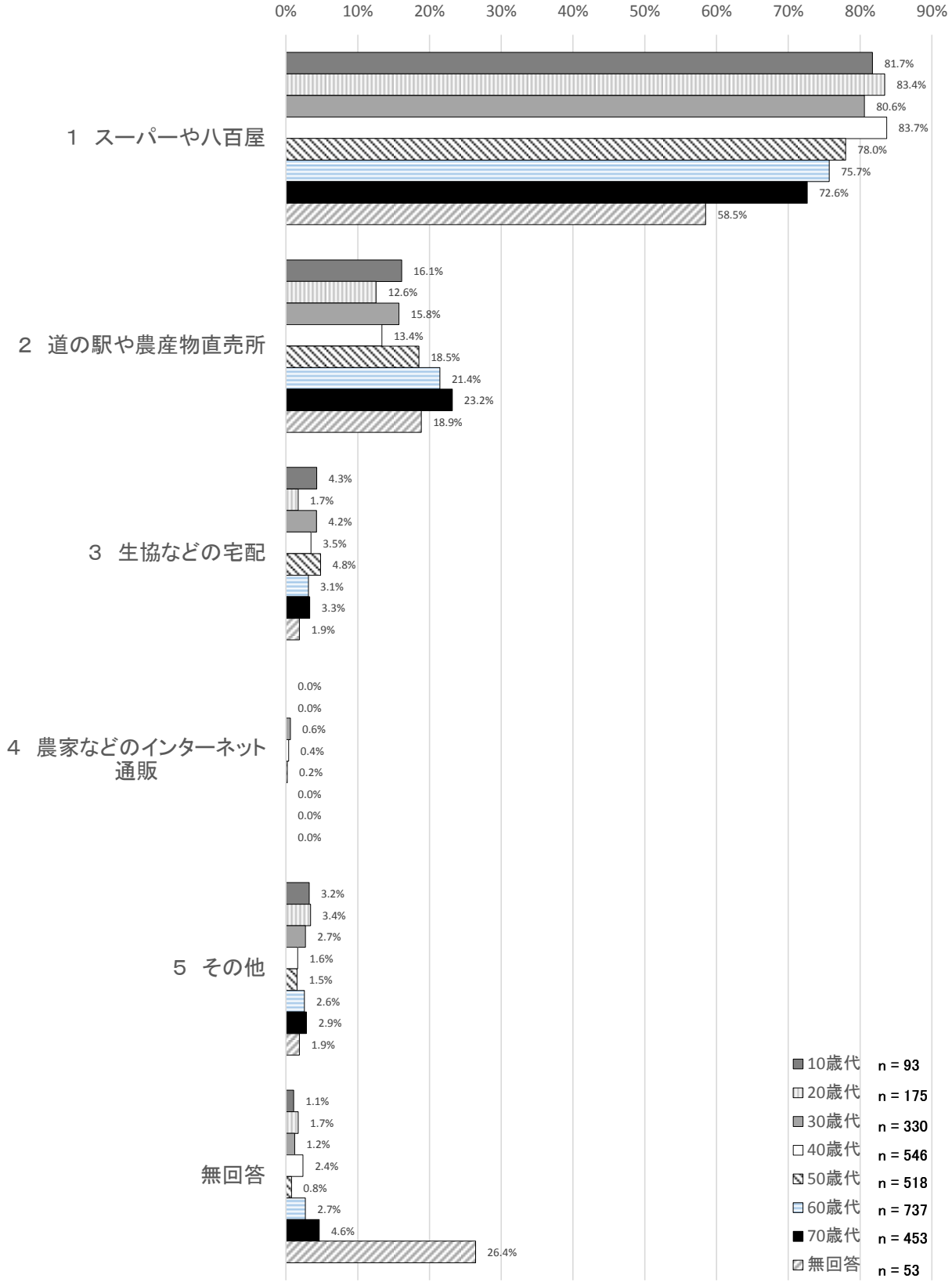
◆「１ 魅力ある店舗が少ない」と答えたのは、30歳代から50歳代が高かった。
◆「３ 身近な所で用が足りる」と答えたのは、20歳代から60歳代が高く、10歳代と70歳代は低かった。

【問１２】農産物は、主にどこで購入していますか。あてはまるものを１つ選んで〇印をつけてください。
・全体と性別



◆全体では「１ スーパーや八百屋」が高く、78.0%だった。

・年代別

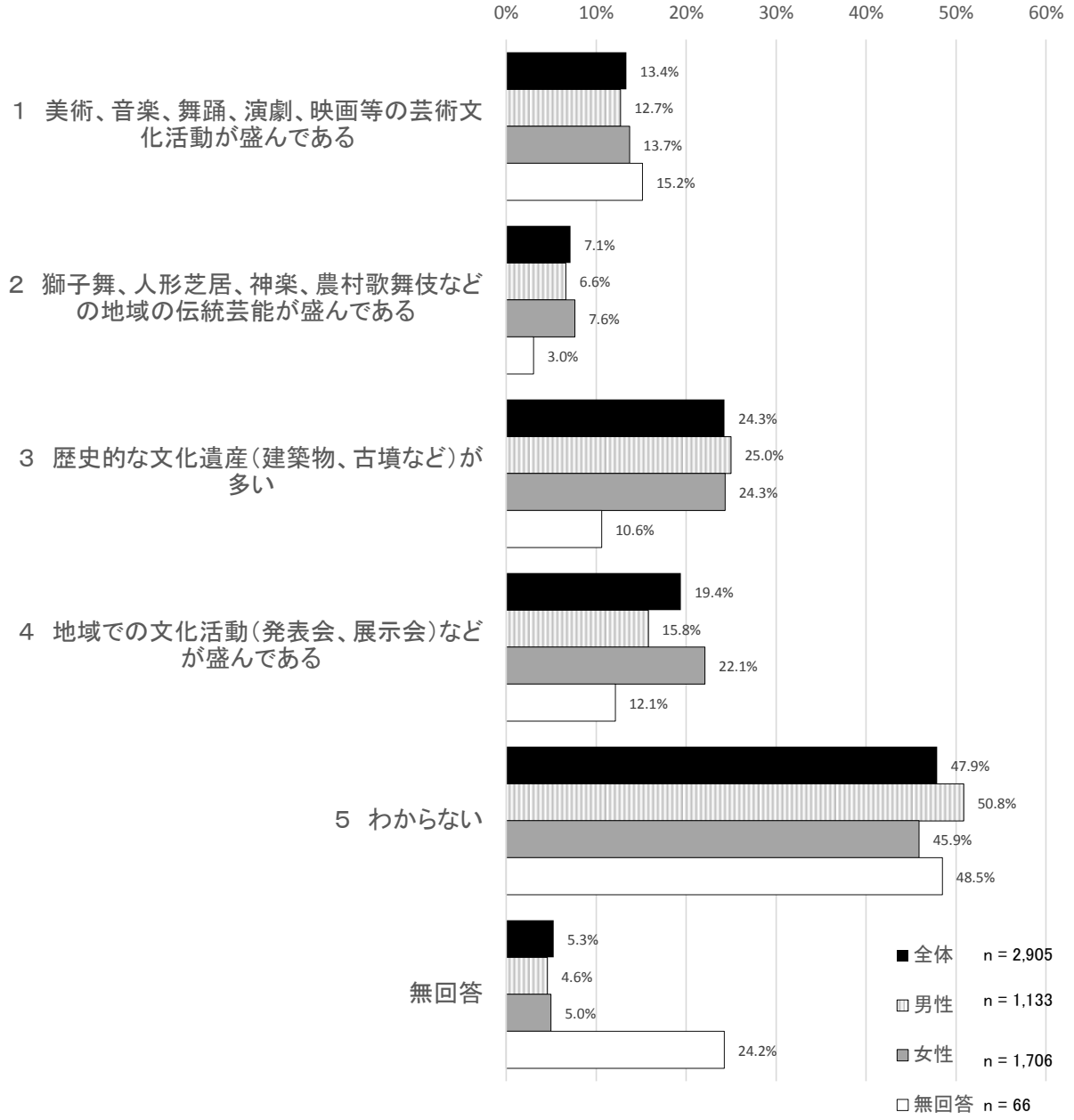


◆「１ スーパーや八百屋」はすべての年代で70%を超えた。

■（教育・文化）について

【問１３】前橋市の文化にどんなイメージをお持ちですか。あてはまるものすべてに〇印をつけてください。

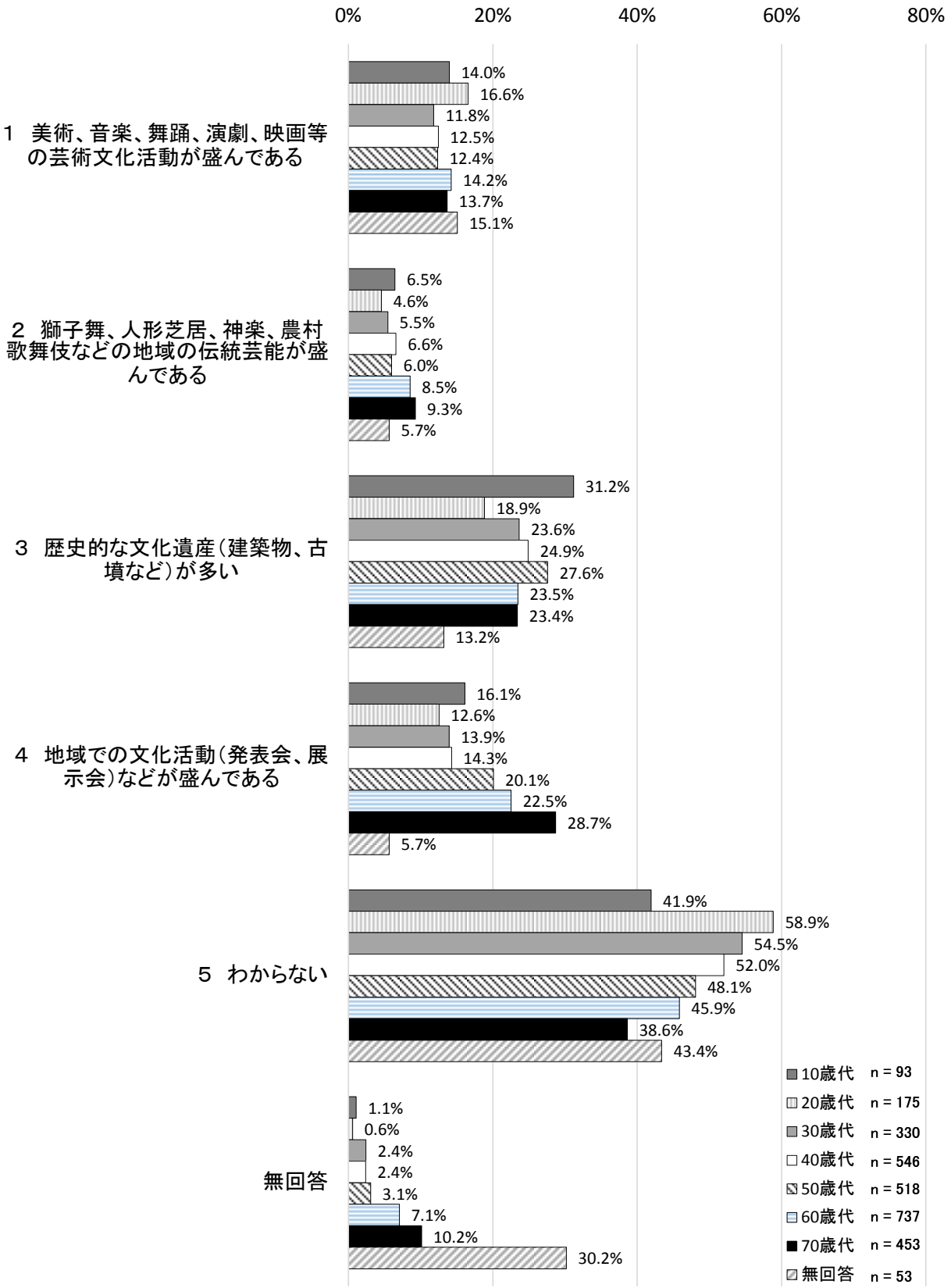
・全体と性別



◆全体では、「５ わからない」が最も高かった。

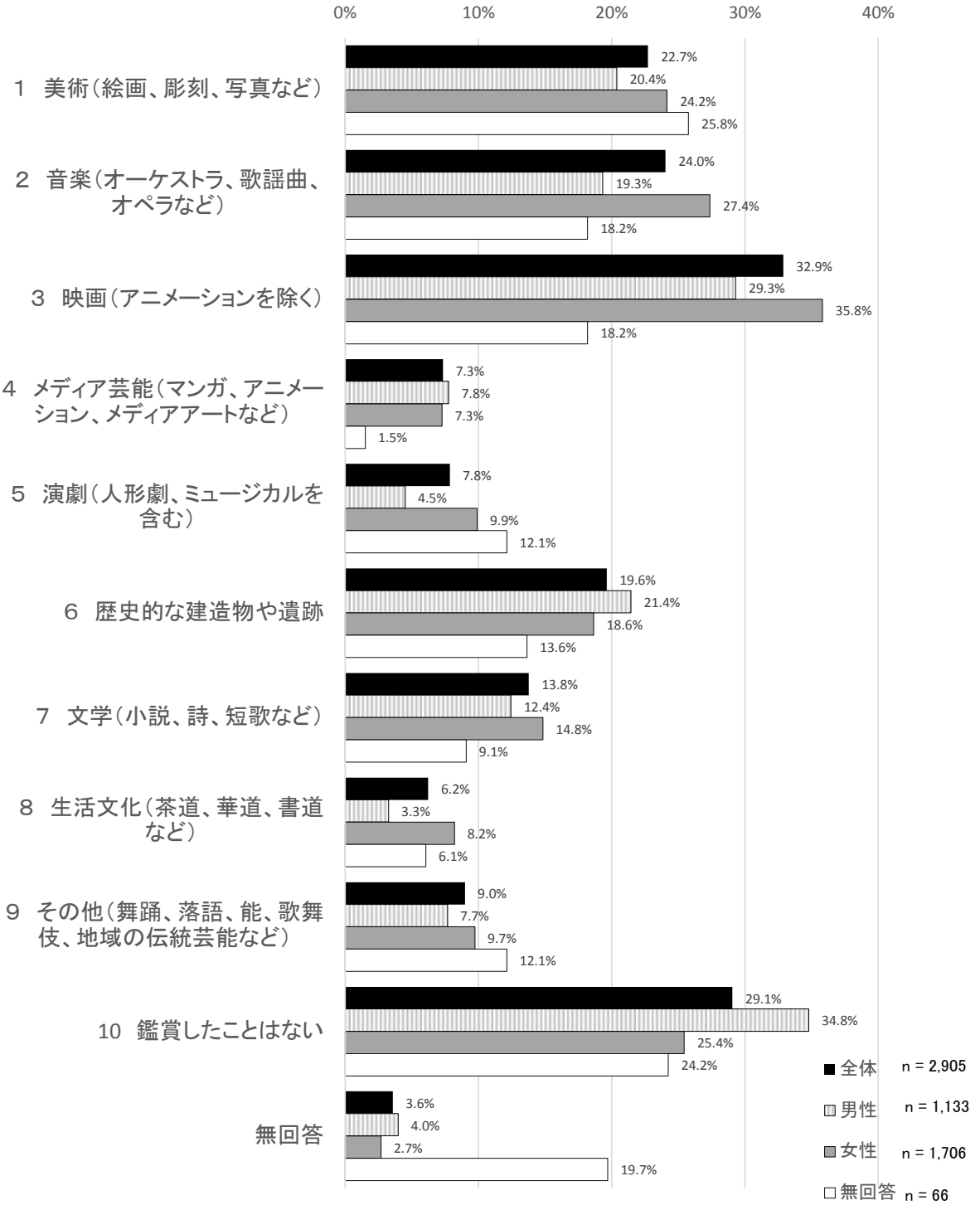
◆「４ 地域での文化活動（発表会、展示会）などが盛んである」は他の項目に比べ特に女性が男性よりも高かった。

・年代別



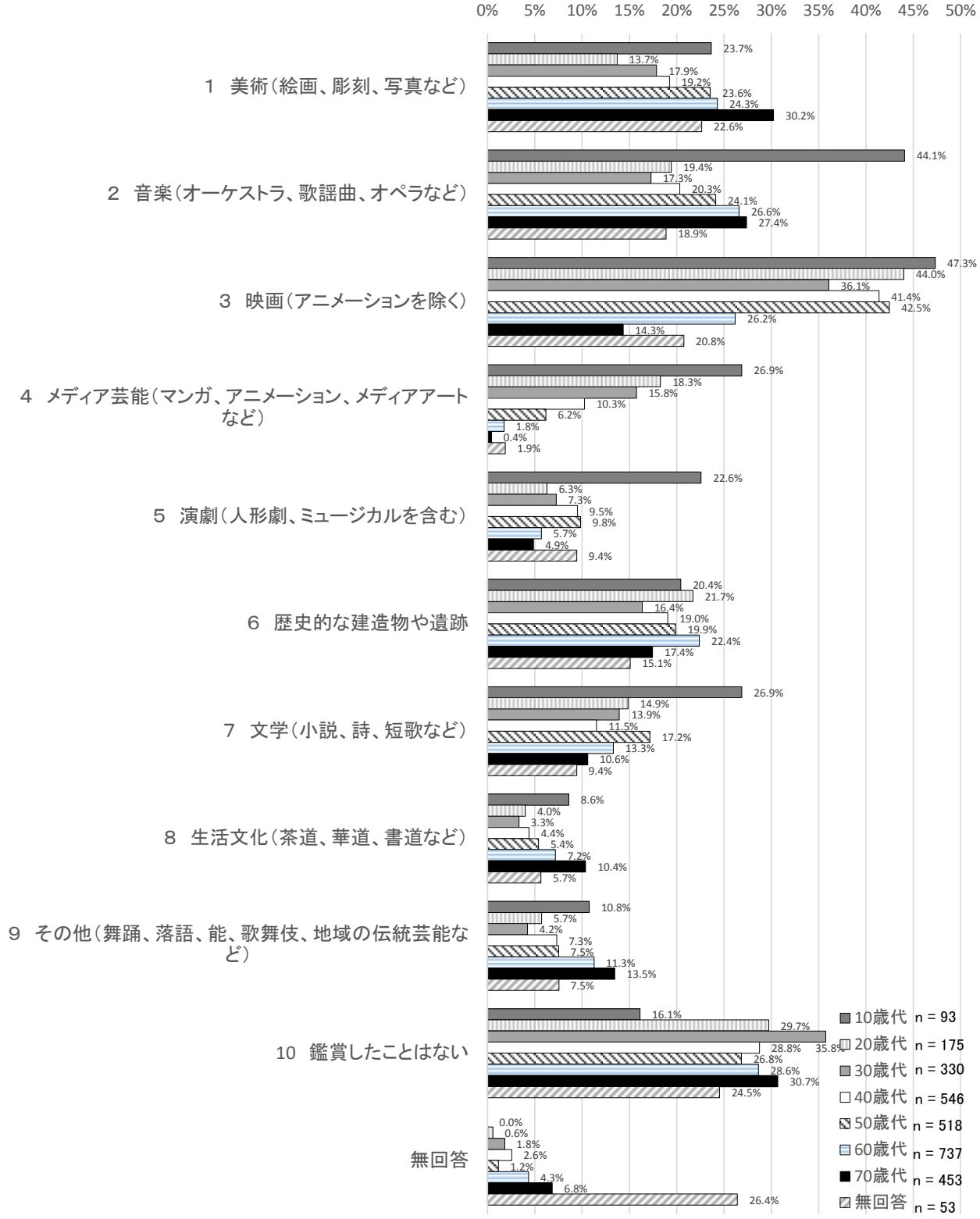
◆「４　地域での文化活動（発表会、展示会）などが盛んである」は、年代が高くなるにつれて高かった。

【問１４】過去１年間にどのような文化芸術の鑑賞や体験をしましたか。あてはまるものすべてに〇印をつけてください。
・全体と性別



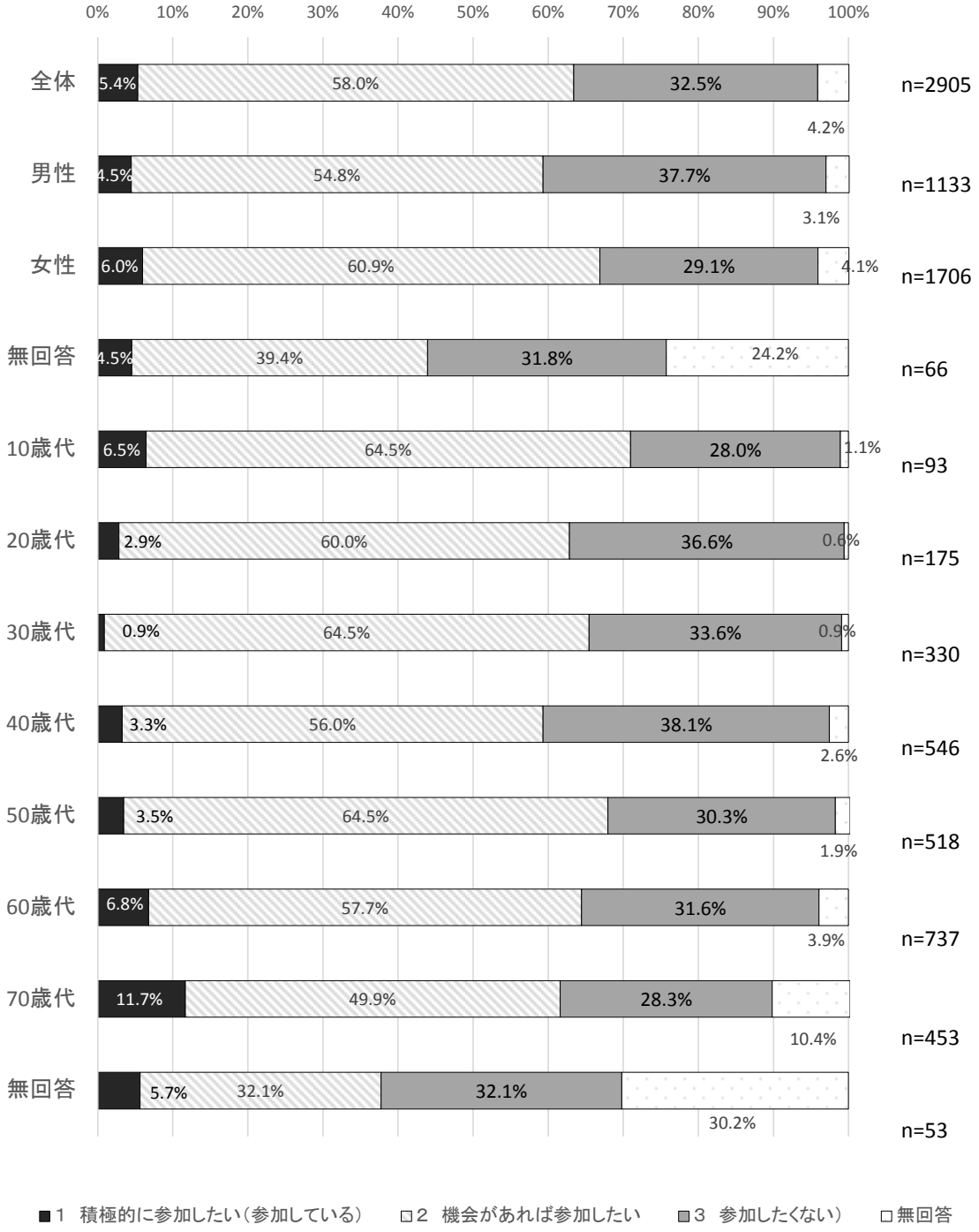
◆全体では「３ 映画（アニメーションを除く）」が最も高かった。
◆９項目中、７項目（項目№１・２・３・５・７・８・９）において女性が男性より高かった。

・年代別



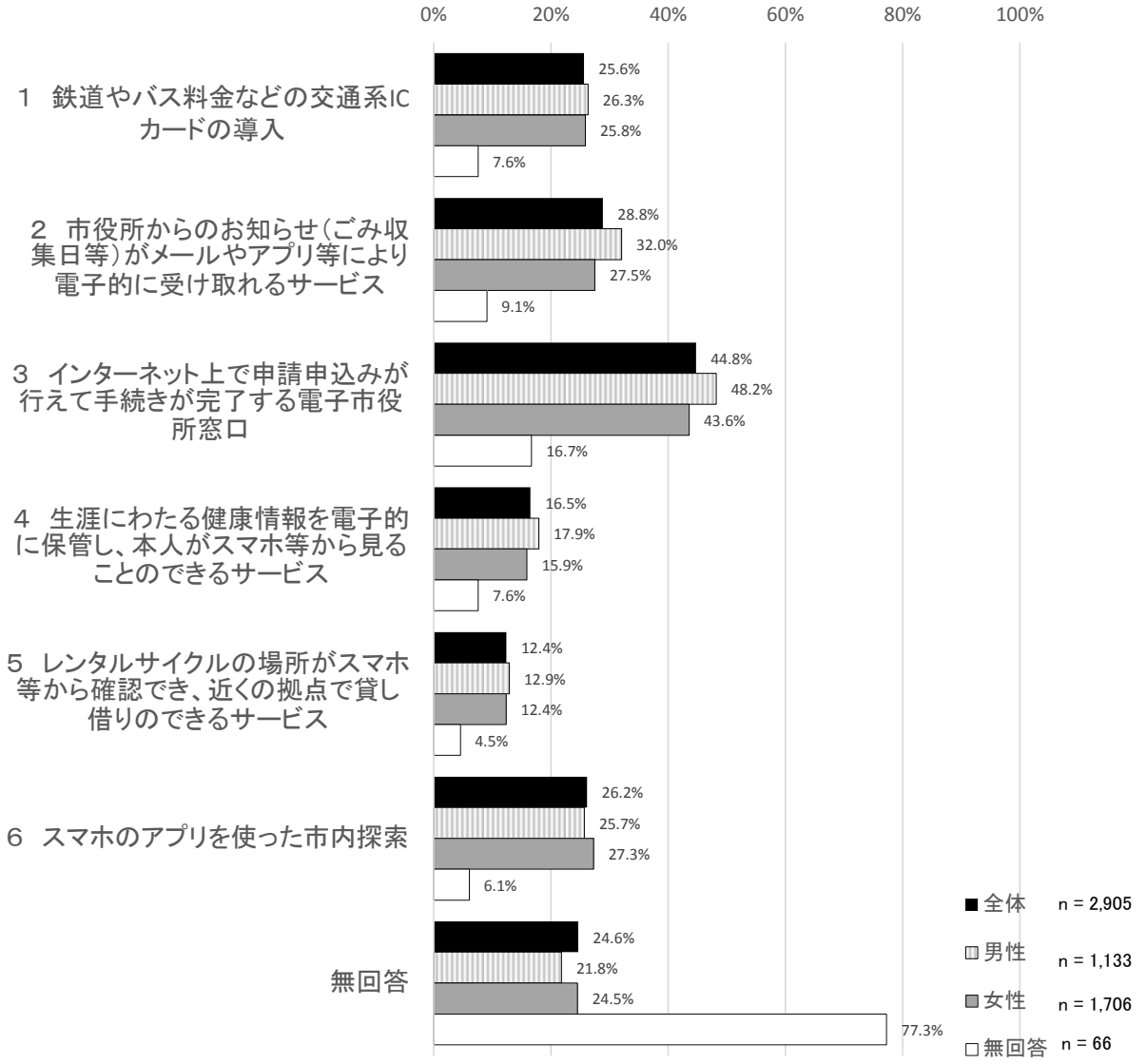
◆「２ 音楽（オーケストラ、歌謡曲、オペラなど）」、「４ メディア芸能（マンガ、アニメーション、メディアアートなど）」、「５ 演劇（人形劇、ミュージカルを含む）」、「７文学（小説、詩、短歌など）」は10歳代が他の年代に比べ特に高かった。
◆「４ メディア芸能（マンガ、アニメーション、メディアアートなど）」は年齢が高くなるにつれて低かった。

■（協働・行政経営）について
【問１５】地域の高齢者を支援するためのボランティア活動等に参加したいと思いますか。



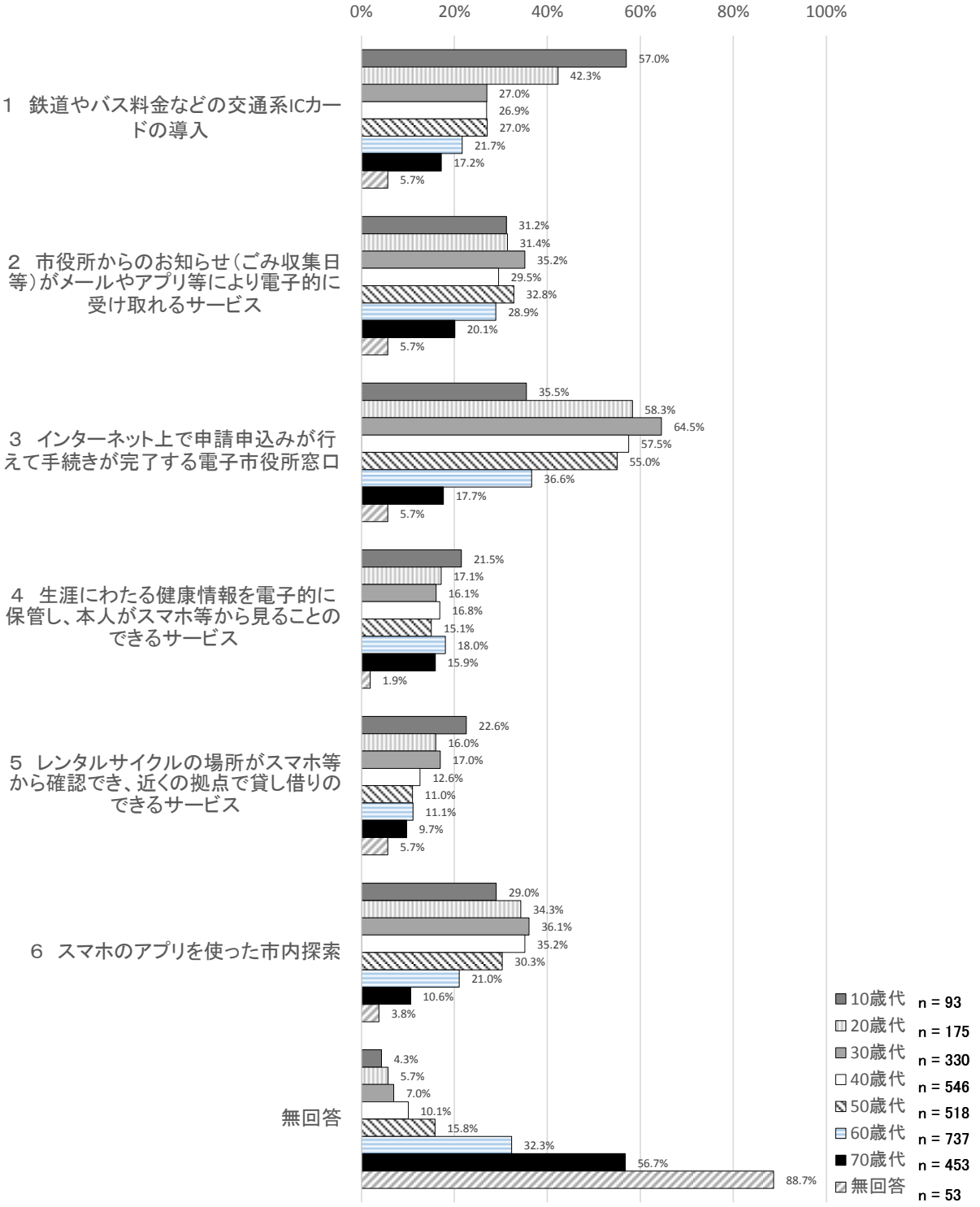
◆全体では「２　機会があれば参加したい」が58.0%と最も高かった。
◆「２　機会があれば参加したい」は女性の方が高く、60.9%であった。
◆「２　機会があれば参加したい」は、70歳代が低く、49.9%であった。

【問１６】インターネット等を活用したサービスについて、利用したいと思うものを３つまで選んで〇印をつけてください。
・全体と性別



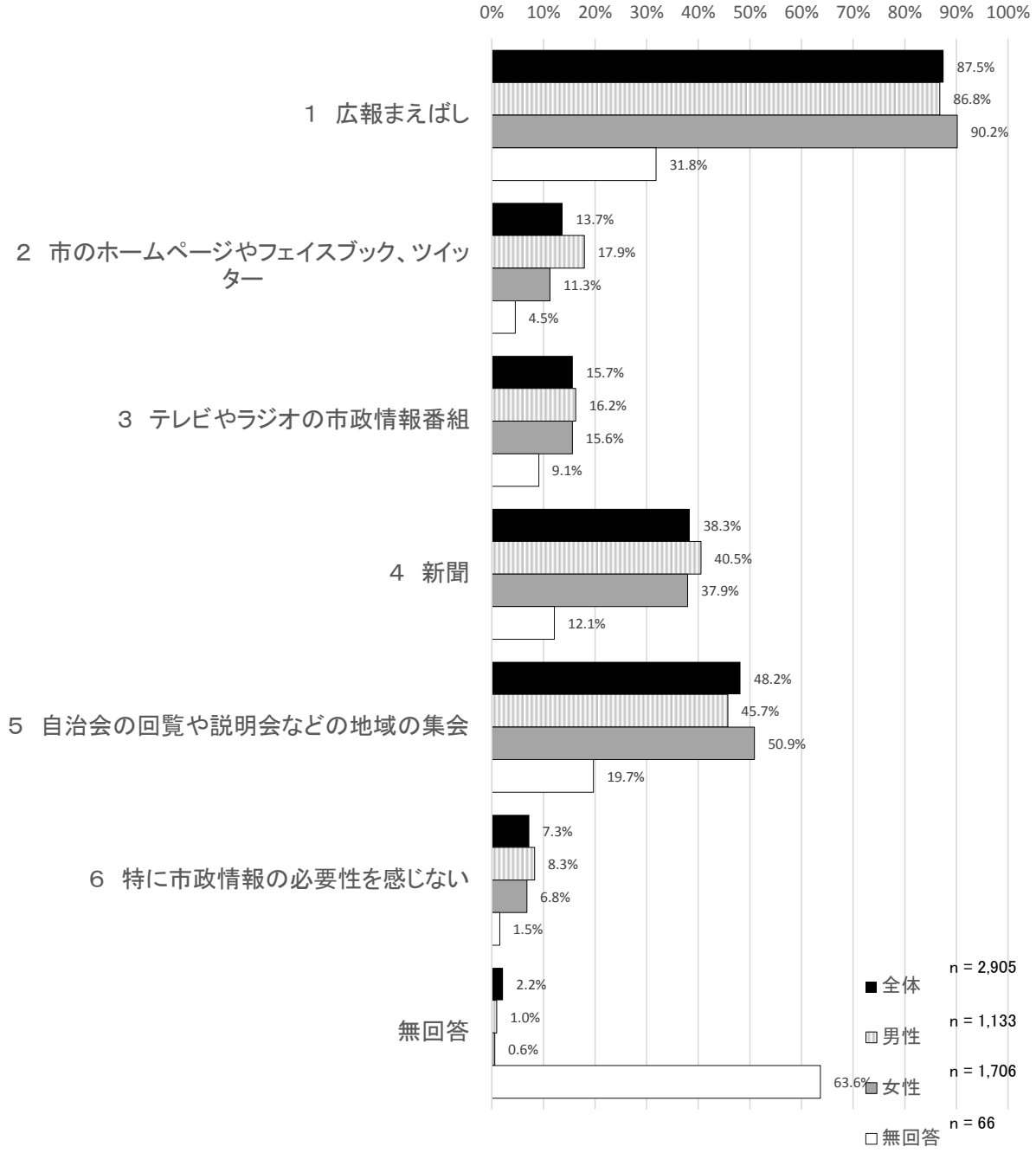
◆全体では「３　インターネット上で申請申込みが行えて手続きが完了する電子市役所窓口」が最も高く44.8%だった。

・年代別



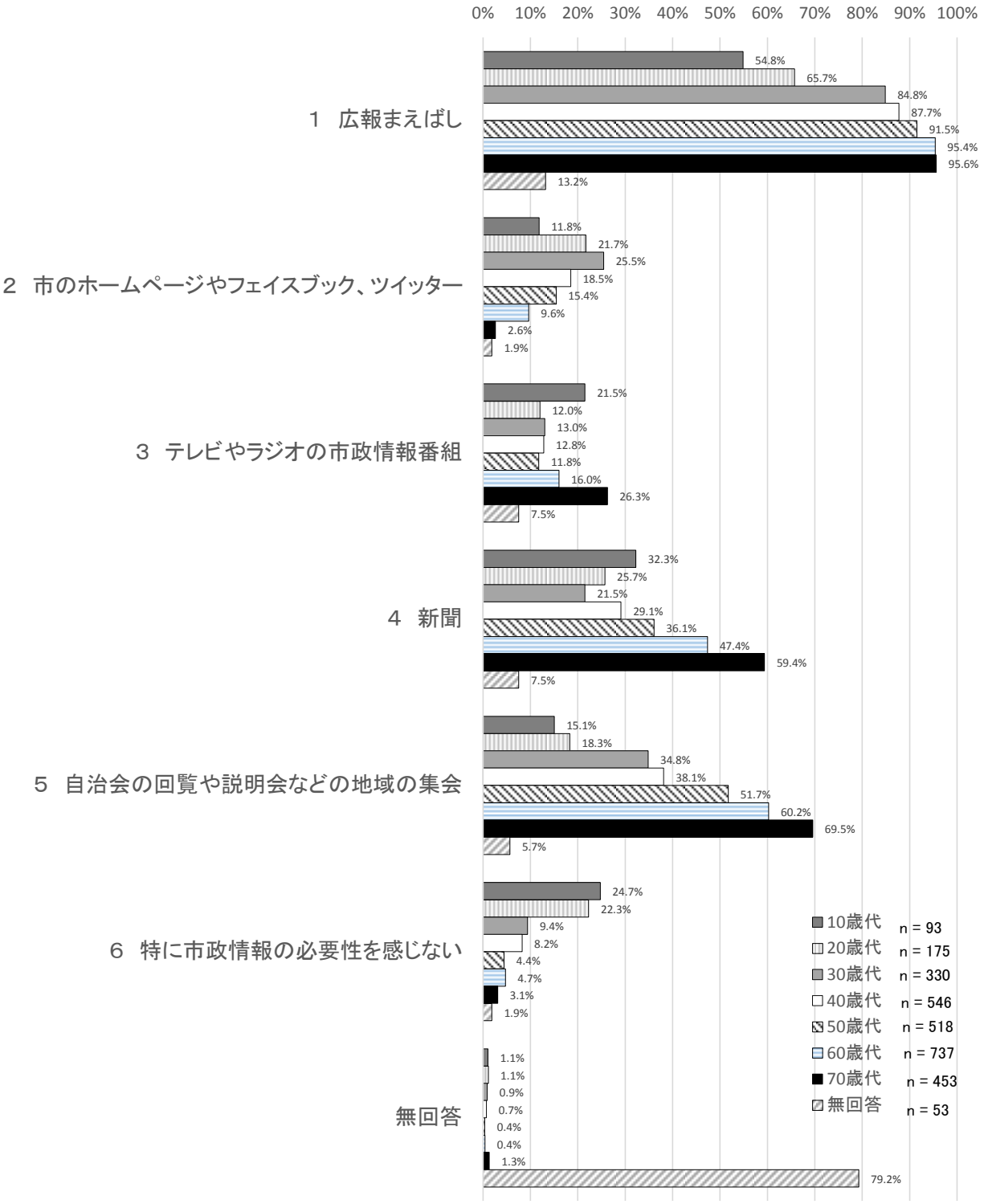
◆「１　鉄道やバス料金などの交通系ICカードの導入」は年齢が高くなるにつれて低かった。
◆「３　インターネット上で申請申込みが行えて手続きが完了する電子市役所窓口」は20歳代から50歳代にかけて高かった。
◆「５　レンタルサイクルの場所がスマホ等から確認でき、近くの拠点で貸し借りのできるサービス」は年齢が高くなるにつれて低かった。

【問１７】市政情報をどのような方法で得ていますか。３つまで選んで〇印をつけてください。
・全体と性別



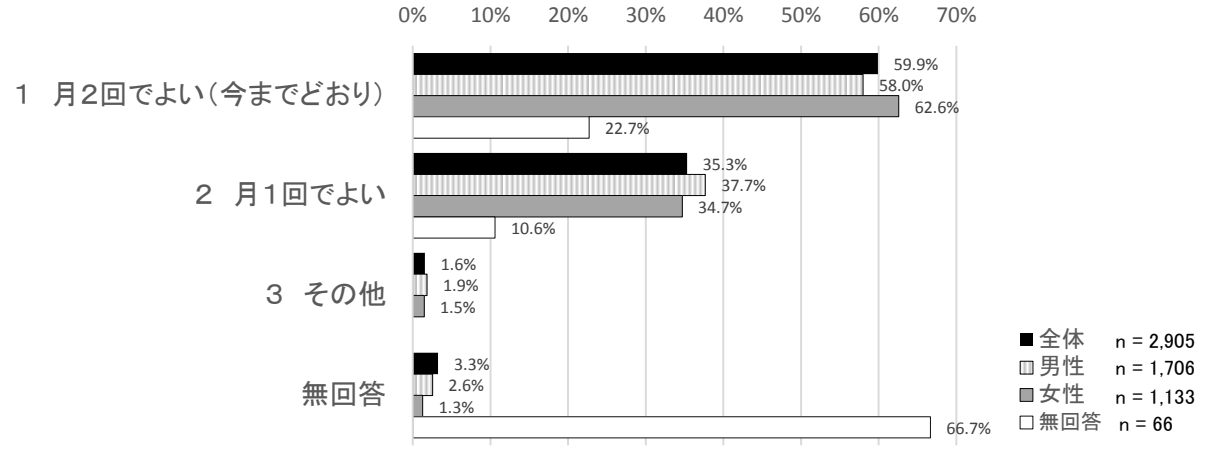
◆全体では「１　広報まえばし」が最も高かった。

・年代別



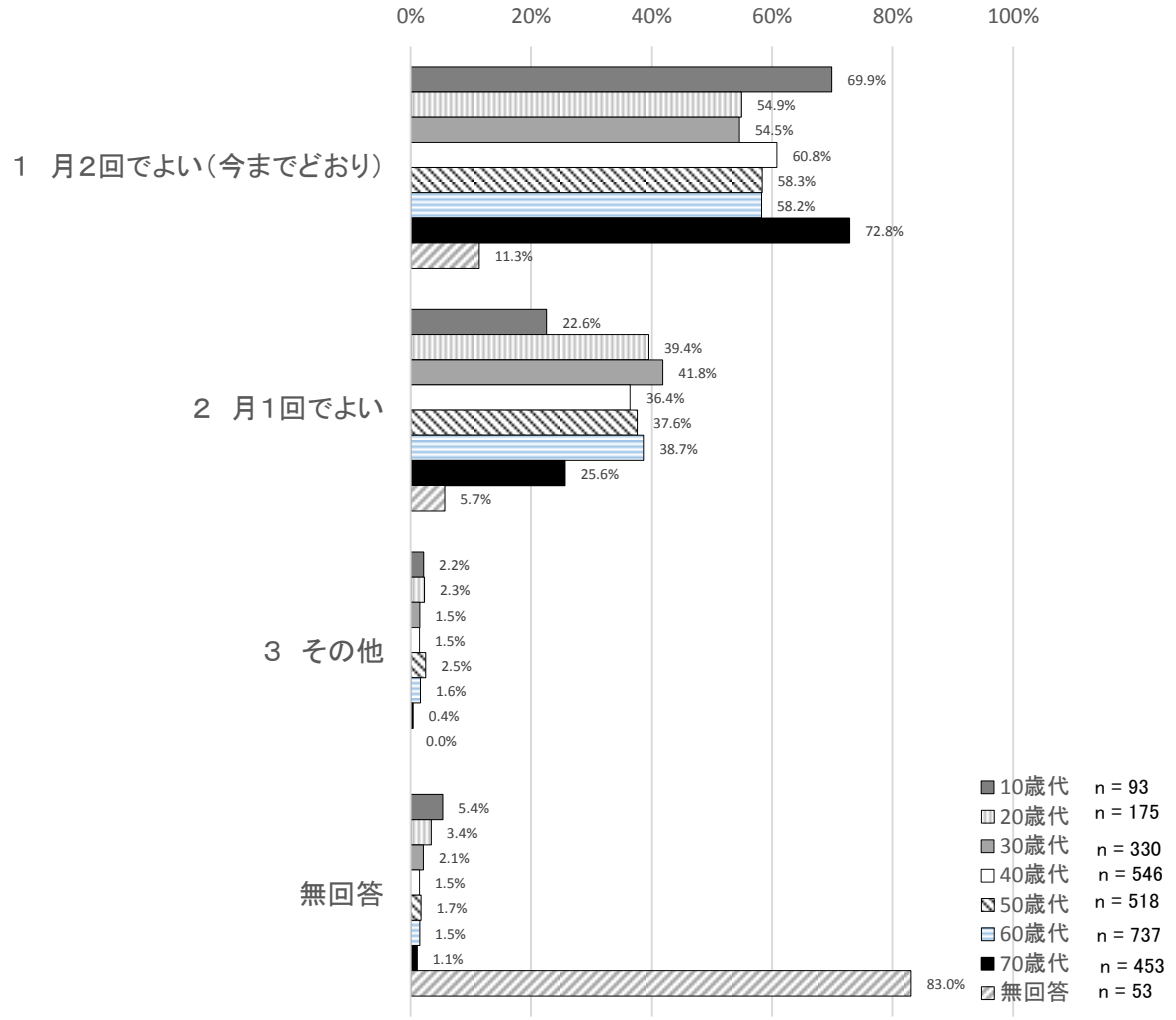
◆「１　広報まえばし」、「５　自治会の回覧や説明会などの地域の集会」は年齢が高くなるにつれ高かった。
◆「２市のホームページやフェイスブック、ツイッター」は20歳代と30歳代が高かった。
◆「４　新聞」は30歳代が低かった。
◆「６　特に市政情報の必要性を感じない」は年齢が高くなるにつれ低かった。

【問１８】市政情報は（問１７）のような媒体で発信されていますが、「広報まえばし」の発行回数は、何回が良いと感じますか。
・全体と性別



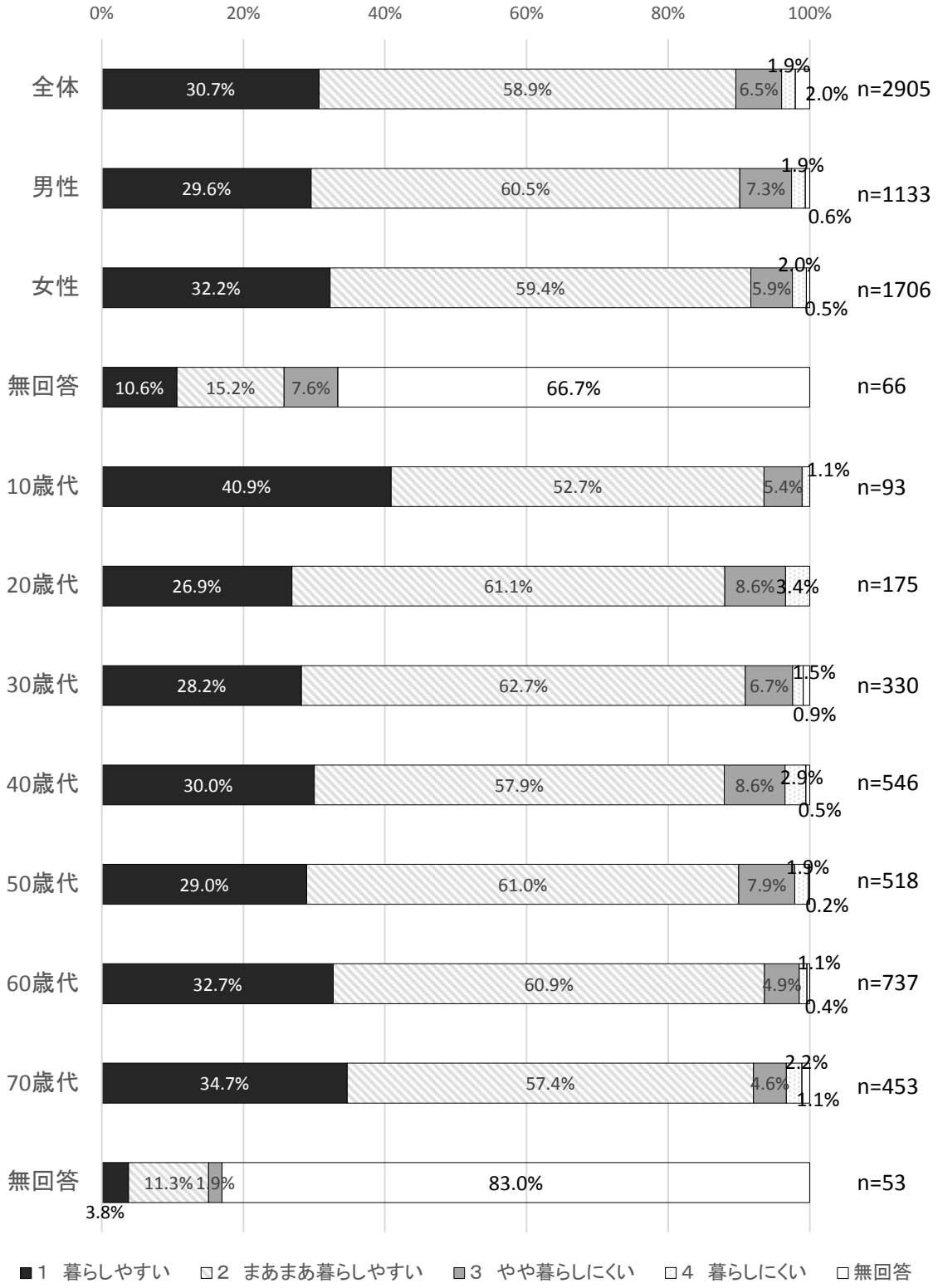
◆全体では「１　月２回でよい（今までどおり）」が最も高かった。

・年代別



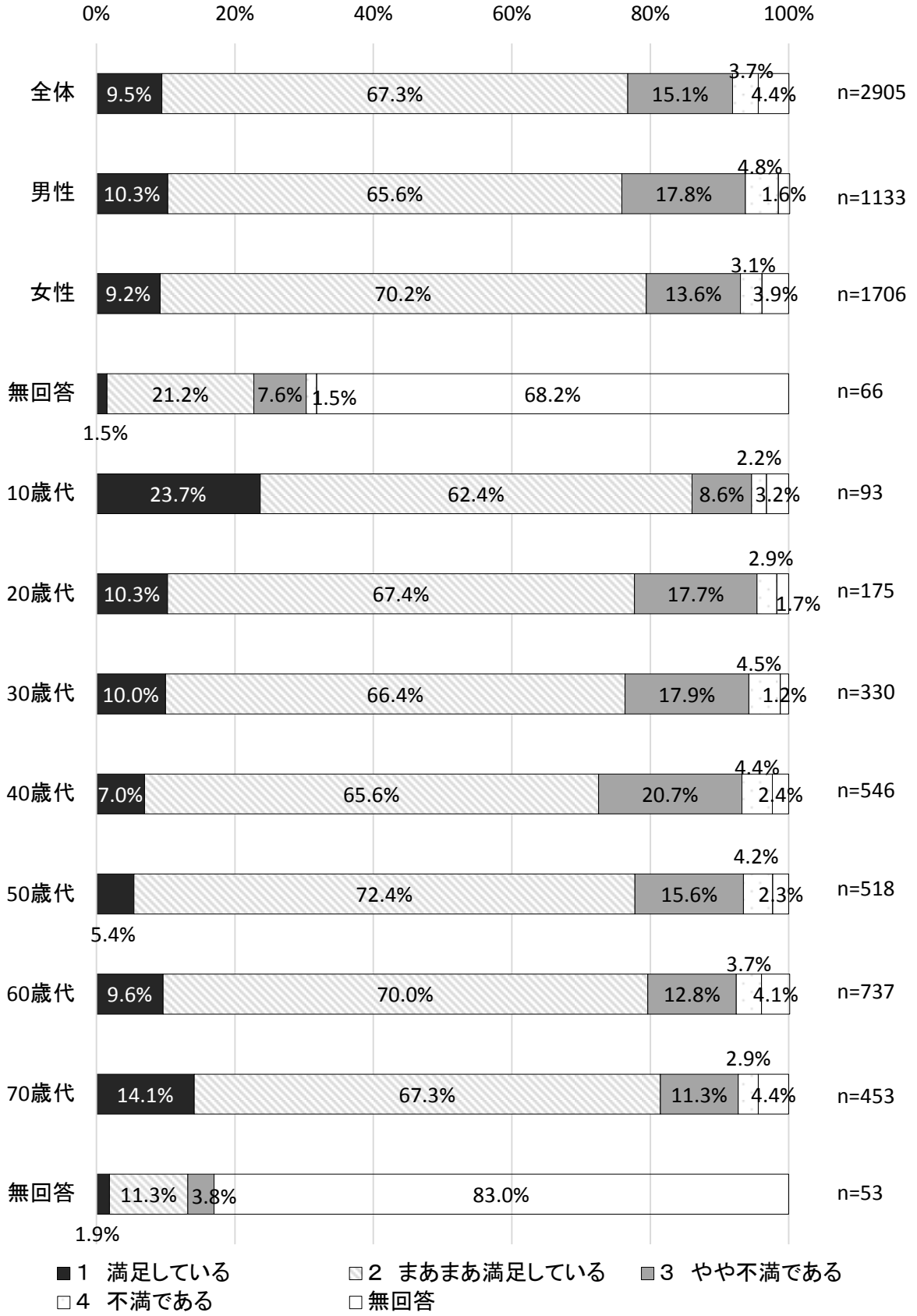
◆「１　月２回でよい（今までどおり）」は10歳代と70歳代が多かった。
◆「２　月１回でよい」は２０歳代から６０歳代で多かった。

■暮らしやすさについて
【問１９】前橋市は、暮らしやすいところだと思いますか。



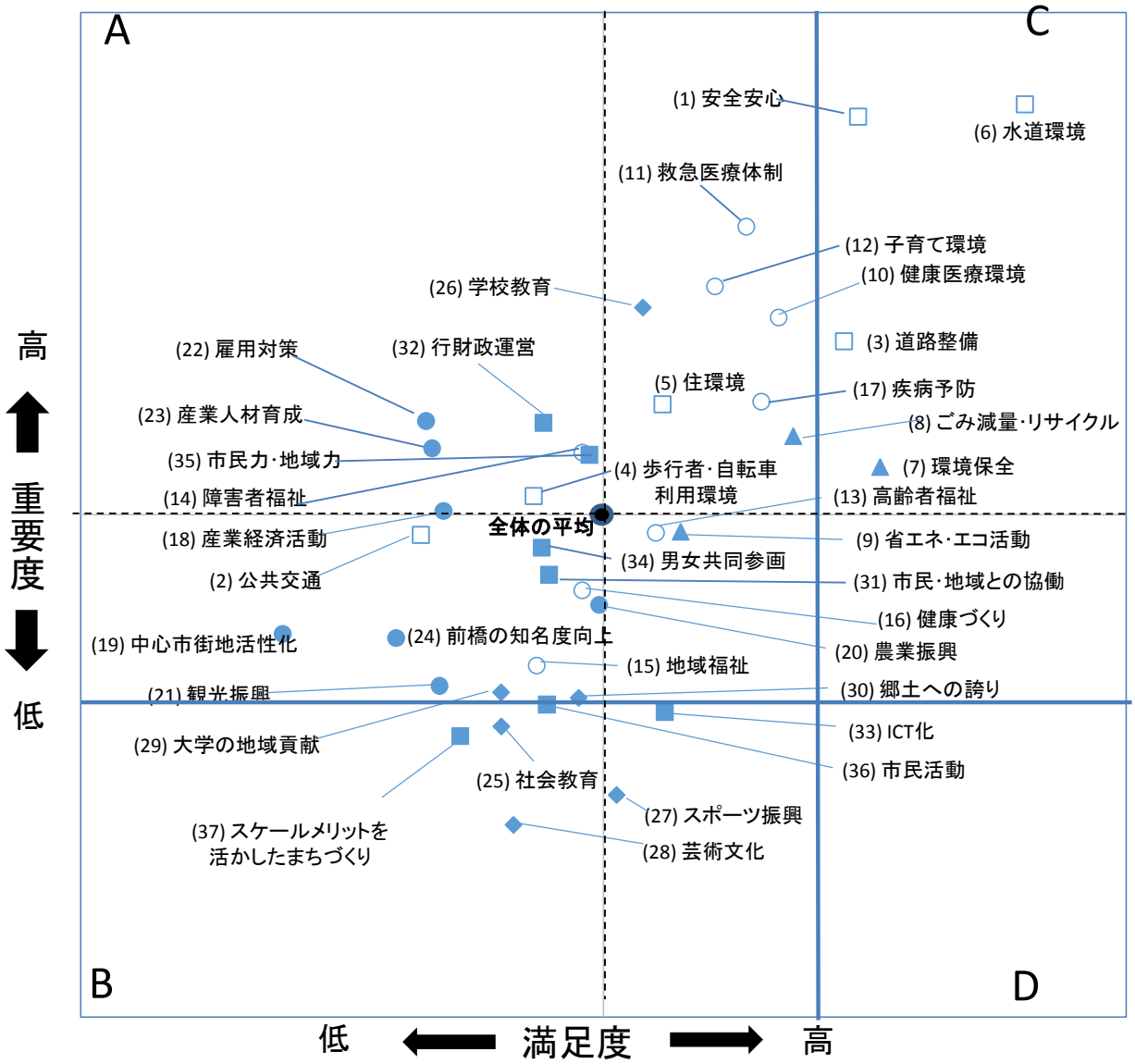
◆最も高かったのは「２　まあまあ暮らしやすい」で58.9%だった。
◆「１　暮らしやすい」が最も高いのは10歳代で、40.9%だった。20歳代は26.9%で最も低かった。

【問２０】あなたは、全体として市の行政サービスに満足していますか。



◆全体で最も多かったのは「まあまあ満足している」で67.3%だった。
◆「１ 満足している」が最も高かったのは10歳代で23.7%。最も低かったのは50歳代で5.4%だった。

◎市政へのニーズと課題の把握



□「暮らしの基盤･安全安心」の分野　▲「環境と共生」の分野　○「健康･福祉」の分野
●「産業活力」の分野　◆「教育･文化」の分野　■「協働･行政経営」の分野

【ポートフォリオについて】

【問1】(1)～(37)の満足度と重要度の回答を数値化し、各項目ごとの平均値と全体の平均値の差をグラフにしたもの

●各項目の積算方法

・満足度の平均

感じる4点　やや感じる3点　あまり感じない2点　感じない1点

(4点×○人＋3点×△人＋2点×□人＋1点×◇人)÷項目の回答者総数

・重要度の平均

重要4点　やや重要3点　あまり重要でない2点　重要でない1点

(4点×○人＋3点×△人＋2点×□人＋1点×◇人)÷項目の回答者総数

-------- 全体の平均

━━━ 満足度「やや感じる」、重要度「やや重要」に該当するところ。この線より上は重要度が高く、この線より右が満足度が 高い項目

●太線(━━━)を境に以下の4つのエリアに分類される。

A ： 満足度を引き上げる項目　　B ： Aとの優先順位を見ながら満足度を引き上げる項目

C ： 現状の水準を維持する項目　　D ： 効果を検証しつつ事業内容を確認する項目

■今後の前橋市のまちづくりについての提案・意見等（自由記述方式）

1，571人から、意見・要望等が寄せられました。多かった項目は、中心市街地活性化に関して、公共交通について、道路整備について、などでした。

〇主な意見は次のとおりです。

■「暮らしの基盤・安全安心」の分野に関すること

・公共交通機関を充実させてほしい。高齢になり車の運転をしなくなった時の交通手段が必要。

・前橋駅～中央前橋駅間、病院や県庁などの主要施設がＬＲＴなどの運行でつながるとよい。

・ＩＣカードでバスに乗れるとよい。電車は使えるのに、バスに使えないのは不便。

・ＪＲ前橋～新前橋間複線化、前橋発着の列車本数増、新幹線の乗りかえアクセスが向上するとよい。

・電車、路線バス、マイバス、デマンドバスを充実（運行範囲拡大、増便、運行時間の延長など）させてほしい。

・公共の駐車場を増やしてほしい。

・歩道の整備（適切な幅、段差解消、点字ブロック整備、雨天時の排水など）をしてほしい。

・自転車専用の道路やサイクリングロードの整備をしてほしい。

・車と自転車がギリギリで通行するような狭い道を広くしてほしい。

・道路脇の雑草の除草、樹木の剪定をしてほしい。

・街灯が少ないので増やしてほしい。

・公園が少ないので子どもから高齢者までが利用できるような公園を作ってほしい。

・積雪時には早急に除雪をしてほしい。

・空き家対策を徹底して取り組んでほしい。

・不審者情報の多い地区は、見回りや防犯カメラの設置をすすめてほしい。また、交通指導員の数を増やしてほしい。

・夜間の違法駐車を排除してほしい。

・災害時の避難場所などの災害に対する情報が誰でもわかるよう周知してほしい。

・安全対策のため、曲がり角などへミラーを設置してほしい。

・自転車、自動車の交通マナーが悪い。

■「環境との共生」の分野に関すること

・ごみの集積所が家から遠い。

・ごみ出しのマナーが悪い、ルールを守れない人がいる。

・誰もが取り組みやすいリサイクルの仕組みがあるとよい。

・緑が多く、空気も水もきれいで、安らぎのある生活が送れるようなまちづくりをしてほしい。

・用水路の中や、用水路の雑草をきれいにしてほしい。

・下水道区域を広げてほしい。

・肥料や家畜の臭気対策をしてほしい。

■「健康・福祉」の分野に関すること

・高齢者が孤独を感じることなく、安心して生活出来るような環境（独居老人対策、買い物支援など）を整えてほしい。

・安い経費で入居できる介護付き施設をつくってほしい。

・介護従事者の待遇が向上してほしい。

・子育てしやすい環境を整えてもらいたい。

・貧困家庭の学習支援（学校の授業を補うような塾のようなもの）や、栄養のある食事の提供により親の負担を軽くする取り組みをしてほしい。

・雨天時や暑い日寒い日などに利用できる室内の遊び場を増やしてほしい。

・高校生まで医療費を無料化してほしい

・さわやか健診はとても良いので継続してほしい。

・障害を持っている人が生活しやすく安心して暮らせる環境を整えてほしい。

・犬猫の殺処分をなくし、動物の避妊、去勢費用の一部負担を増額するなど、動物にも優しいまちづくりを考えてほしい。

■「産業活力」の分野に関すること

・駅前、駅前通りが閑散としているので活性化を強く望む。

・前橋駅から中心市街地までの間に、魅力的な店舗などの楽しめて距離を感じさせない仕掛けがあったらよい。

・中心市街地がさびしいので、昔のように活気を取り戻し、若い世代から高齢者まで楽しめる街になってほしい。

・中心街の駐車場の整備、無料化、一方通行が多いため道路の整備をしてほしい。

・観光面、イベントや文化芸術の充実などにより前橋の魅力をＰＲし、他県からの訪問客を安定的に呼び込む取り組みをしてほしい。

・前橋には、「是非行ってみたい！」と思えるような人をひきつける魅力がない。

・世帯収入の安定と雇用機会の増加が必要。企業の誘致あるいは企業への支援などにより雇用の創出に取り組んでほしい。

■「教育・文化」の分野に関すること

・子供が活動の幅を広げられるような取り組み（質のよい教育が受けられる環境の充実）をしてほしい。

・小中学校などの教育施設の充実、整備をしてほしい。

・図書館はインターネット検索や予約が出来てとても便利。本はもう少し増やしてほしい。

・文化･芸術面での取り組みをすすめてほしい。

・建造物などの文化遺産が活かされていない。

・スポーツイベントの充実を図ってほしい。

■「協働・行政運営」の分野に関すること

・土曜、日曜祝日や夜間でも窓口で手続きが行えるとよい。

・市役所職員の態度が悪い。職員は市民に対して気軽に声かけを行い、コミュニケーションを取る努力したり、わかりやすい説明をしてほしい。

・税金が高い。

・税金の使い方をもっと細かく市民に伝えてほしい。

・市政情報（様々な制度、イベントなど）が得にくい。広く情報を発信して市民へ届くようにしてほしい。

・限られた財源の中で前橋の性質を生かし、市民力による人が集まる活気あるまちづくりを望む。

・地域によって差が生まれないような取り組みをしてほしい。（地区ごとの様々な整備要望から）

■その他

・人口減少社会のため、移住促進などの人口増や交流人口増となる取り組みをお願いします。

・災害も少なく比較的住みやすい。活気があり、今後も継続的に発展していけるような市政をお願いします。

■「その他」として自由記述欄を設けた設問（問6・問10・問11・問12・問18）の主な意見

■「問６　健康づくりのために取り組んでいることがありますか。」　のその他意見

・睡眠

・禁酒

・規則正しい生活を送る（早寝早起きなど）。

・ストレスを溜め込まないようにしている。

・サプリメントの服用

・（回答項目「２運動」の詳細として）ウォーキング、ストレッチ、筋トレ

■「問１０　問９で１～３と回答した方にお伺いします。中心市街地へ行く目的としてどのようなものがありますか。」　のその他意見

・イベントやおまつり

・ボランティア活動

・サイクリング

・仕事の用務

・住んでいる、または実家がある。

■「問１１　問９で４～５と回答した方にお伺いします。中心市街地へ行かない理由としてどのようなものがありますか。」　のその他意見

・子ども連れ、ペット同伴だと行きにくい。

・営業時間などが生活スタイルに合わない。

・郊外の大型店舗（モール）の方が便利。

・駐車するのに料金がかかる。

・ネット通販で買い物をするため。

・居住地が他市に近い。

■「問１２　農産物は主にどこで購入していますか。」　のその他意見

・家庭菜園、自給自足

・コンビニエンスストア

・実家や親戚からもらう。

・無農薬野菜を扱う店

■「問１８　広報まえばしの発行回数は何回が良いと感じますか。」　のその他意見

・（現在の回数（月2回）よりも多い回数の意見）月3回、月4回、週1回、毎月0のつく日に発行など

・（現在の回数（月2回）よりも少ない回数の意見）年1回、年2回、3ヶ月に1回など

・年末やお盆、などのように時期を決め、その時期のみ2回、それ以外は1回

・ページ数を増やして月1回でよい。

・ホームページを充実すればなくても良い。必要な情報は回覧板で足りる。

・必要性を感じない。